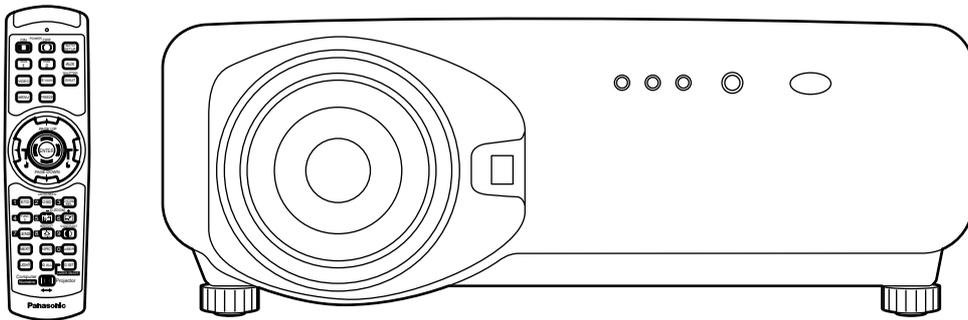


Panasonic

取扱説明書

高輝度DLP™方式プロジェクター 業務用

品番 **TH-D7700**



このたびは、パナソニック 高輝度DLP™方式プロジェクターをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

- この説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。特にこの説明書の「安全上のご注意」(4～7ページ)は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。お読みになったあとは、保証書と一緒に保管し、必要なときにお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。
- 製造番号は安全確保上重要なものです。
お買い上げの際は製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。

上手に使って上手に節電

保証書別添付

設置する	18
セット脚の調整	18
投写方式	18
投写関係	18
投写レンズ（別売品）ごとの投写距離	19
接続する	22
接続する前に	22
映像機器との接続例	23
パソコンとの接続例	24
シグナルセレクターなどの接続例	25

入力モジュール(別売品)の取り付け	26
入力モジュールの取り付け	26
入力モジュールへの信号の接続	28
アナログRGB信号用入力モジュールへの信号の接続	29
ビデオ信号用入力モジュールへの信号の接続	30
シリアルデジタル信号用入力モジュールへの信号の接続	32
DVI信号入力モジュールへの信号の接続	35
投写レンズ(別売品)の取り付け／取りはずしかた	36
投写レンズの取り付けかた	36
投写レンズの取りはずしかた	36

準
備

メニュー画面の表示について	48
調整値を工場出荷状態に戻す	48
映像の調整	49
映像モードの切り換え	49
ピクチャー／黒レベル／色の濃さ／色あいの調整	50
映像モード設定の既定値登録	51
ダイナミックアイリスの設定	52
色温度設定	53
シャープネス／ガンマ選択／ノイズリダクション	54
sRGBに準拠した映像にするには	54
位置調整	55
シフト調整	55
サイズ調整	56

クロックフェーズ調整	57
台形補正	58
アドバンスドメニューの使いかた	59
デジタルシネマリアリティ	59
フォーマット(YCoCr480iでベータカムを入力する場合)	59
ブランキング調整	60
入力解像度調整	61
クランプ位置調整	62
エッジブレンディング調整	63
同期信号の入カインピーダンス(信号レベル)の切り換えかた	64
ラスタ位置	65
表示言語の切り換え	66

使
い
か
た

通信条件	80
基本フォーマット	80
制御コマンド	81
ケーブル仕様	81
リモート2端子を使う	82
内蔵テストパターンを表示	83
内蔵テストパターンの表示チャート	83
RS-422制御機能	83
セキュリティの設定	84
パスワードの設定	84
パスワードの変更	85
テキストの設定	85

テキストの変更	85
CPオプションの使いかた	86
オンスクリーン表示機能の設定	86
システム方式の設定	87
ネットワークモジュール(別売品)の使いかた	88
ネットワークモジュールの初期設定	89
Webブラウザからのアクセスのしかた	91
ネットワークモジュールの設定を工場出荷状態に戻す	96

応
用

修理を依頼される前に	102
仕様	103
付録	105

保証とアフターサービス	106
外形寸法図	107

そ
の
他

安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、物的損害を未然に防止するため、必ずお守りいただきたいことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や物的損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度」です。
 注意	この表示の欄は、「傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度」です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

(下表は絵表示の一例です)

	この絵表示は、気をつけていただきたい「注意」内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただきたい「指示」内容です。

警告

■故障（画像が映らないなど）や煙が出ている、へんな臭いや音がしたら電源プラグを抜く



そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

電源プラグを抜く

- 煙が出なくなるのを確認して修理を販売店にご依頼ください。
- お客様による修理は危険ですからおやめください。

■内部に異物や水などが入ったり、落としたり、キャビネットが破損したら、電源プラグを抜く



火災・感電の原因となります。

電源プラグを抜く

- 修理は販売店にご依頼ください。

■荷重に耐えられない場所に設置しない



設置場所の強度が弱いと、落下などで大きな事故やけがの原因となります。

禁止

■天井取り付け（天つり）などの設置工事は専門の技術者に依頼する



工事の不備があると事故の原因となります。

警告

■ カバーを外したり、改造したりしない



内部には、電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。

分解禁止



高圧注意

サービスマン以外の方は、ケースをあけないでください。
内部には高電圧部分が多くあり、万一さわると危険です。

「本体に表示した事項」

- 内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

■ 電源コードは本機に付属のもの以外は使用しない



付属の3端子付コードを使い、コンセント側でアースを取らないと感電の原因となります。

禁止

■ 電源プラグは根元まで確実に差し込む



差し込みが不完全ですと感電や発熱による火災の原因となります。

- 痛んだプラグ・ゆるんだコンセントは使用しないでください。

■ めれた手で電源プラグを抜き差ししない



感電の原因となります。

ぬれ手禁止

■ 電池の+・-部に金属物（ネックレスやヘアピンなど）を接触させない



液もれ・発熱・破裂・発火の原因となります。

禁止

- ビニール袋などに入れ、金属と接触させないようにしてください。

■ コンセントや配線器具の定格を超える使い方や交流100V以外での使用はしない



禁止

たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因となります。

■ 電源プラグのほこりは定期的に掃除をする



電源プラグにほこりがたまると、湿気等で絶縁不良になり火災の原因となります。電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

- 長期間使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

■ 電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない



禁止

傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を載せたり、束ねたりしないでください。

- 傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因となります。

- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

■ エアフィルター部や吸排気孔をふさがない



禁止

内部に熱がこもり、火災の原因になります。

■ ランプユニットを分解しない



禁止

ランプ部が破裂すると、けがの原因になります。

警告

■ 不安定な場所に置かない



禁止

ぐらついた台の上や傾いた所など落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。

■ 水をかけたり、ぬらしたりしない



水ぬれ禁止

火災・感電の原因となります。

■ 上に水などが入った容器を置かない



禁止

水がこぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

- 水が内部に入ったときは、販売店にご相談ください。

■ 異物を入れない



禁止

内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落としたりしないでください。

火災・感電の原因となります。

注意

■ 湿気やほこりの多い所、油煙や湯気が当たるような所に置かない



禁止

火災・感電の原因となることがあります。

■ 電源プラグを抜くときは、コードを持たずに必ずプラグを持って抜く



コードを引っ張るとコードが破損し、感電・ショート・火災の原因となることがあります。

■ 移動させる場合は、必ず接続線をはずす



接続したまま移動させると、コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

■ レンズシフト動作中は、レンズ周辺の開口部に手を入れない



禁止

レンズシフト動作中にレンズ周辺の開口部に手を入れないでください。手をはさみけがの原因となることがあります。

■ 上に重い物を置かない



禁止

バランスがくずれて倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

■ 乾電池は以下のことを守り正しく取り扱う



- ・電池の+、-を正しく入れる。
- ・指定の乾電池を使用する。
- ・新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使わない。
- ・乾電池は分解しない。
- ・加熱・分解したり、水・火の中へ入れたりしない。
- ・長期間使用しないときは、取り出しておく。

- 取り扱いを誤ると、乾電池の液漏れにより、火災や感電、周辺汚損の原因となることがあります。
- 万一液漏れが起こったら、販売店にご相談ください。
- 液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

⚠ 注意

■ ご使用中は投写レンズをのぞかない



禁止

投写レンズからは強い光が出ます。直接、中をのぞくと目を痛める原因となることがあります。

■ ランプユニットの交換は、ランプが十分に冷えてから行なう



やけどの原因となることがあります。

■ ランプが破裂したときには以下のことを守り正しく取り扱う



本機の内部やランプハウス内にはガラス片が散乱している可能性があります。

- 販売店にランプの交換と内部の点検を依頼ください。
- 通風口よりガスや粉塵が出たりすることがあります。ガスには水銀が含まれています。万が一吸い込んだり、目に入ったり、口に入った場合は直ちに医師にご相談ください。

■ 古いランプユニットは使用しない



禁止

破裂する場合があります。

■ お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜く



電源プラグを抜く

感電の原因となることがあります。

■ 排気孔には手や物を近づけない



禁止

空気吹き出し口からは熱風が出ています。手や顔を近づけたり熱に弱いものを置くとやけどや変形の原因となることがあります。

■ 1年に1度は内部の清掃を販売店に依頼する



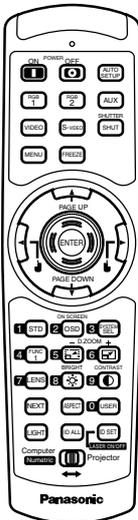
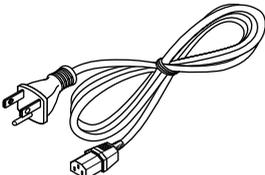
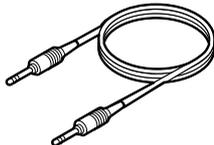
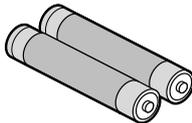
本機の内部にほこりがたまったまま、長い間清掃しないと火災の原因となることがあります。

- 特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと効果的です。販売店にご依頼ください。なお、内部清掃費用については販売店にご相談ください。

準備

付属品の確認

以下の付属品が入っていることをご確認ください。

<p>リモコン 1個</p> 	<p>電源コード 1本</p> 	<p>リモコンケーブル 1本 (15 m)</p> 	<p>リモコン用単3形乾電池 2個</p> 
--	---	--	---

取り扱い上の留意点

■ 運搬上の留意点

投写レンズは振動や衝撃に対して影響を受けやすい部品です。運搬時に振動や衝撃を与えないようご注意ください。

■ 設置に関する留意点

本機の設置については下記の事項を必ずお守りください。

● 振動や衝撃が加わる場所への設置は避けてください

動力源などの振動が伝わる所に設置したり、車両・船舶などに搭載すると、本機に振動や衝撃が加わって内部の部品がいたみ、故障の原因となります。振動や衝撃の加わらない場所に設置してください。

● 高圧電線や動力源の近くに設置しないでください

高圧電線や動力源の近くに本機を設置すると妨害を受ける場合があります。

● ビニールシートやじゅうたんの上には設置しないでください

エアフィルター部にビニールシートなどがはり付き、本機内部温度が上昇するため保護回路が働き、電源が切れる場合があります。

● 本機を天井に取り付ける場合は必ず専門の技術者にご依頼ください

天井からつり下げて設置される場合は、別売の天吊り金具(高天井用品番：TY-PKD75)(低天井用品番：TY-PKD75S)をお買い求めのうえ、取り付け工事を専門の技術者にご依頼ください。

● 海拔2 700 m以上の場所に設置しないでください

また海拔1 400 m以上でご使用になるときは、76ページの「ファン制御」を「高地」に設定してください

そのまま使用すると、製品の寿命に影響する恐れがあります。

■ 使用上の留意点

● 美しい映像をご覧いただくために

- スクリーン面に外光や照明などの光が入ると、ハイコントラストで美しい映像を見ることができません。窓のカーテンやブラインドなどを閉め、スクリーン面近くの照明を消すなどの配慮をしてください。
- 使用環境によっては排気孔からの熱せられた空気の影響で、まれに画面に「ゆらぎ」が発生する場合があります。

● 投写レンズ面は素手でさわらないでください

投写レンズ面に指紋や汚れがつくと、拡大されてスクリーンに映りますのでレンズ面には手をふれないでください。また本機を使用されないときは、付属のレンズキャップを被せておいてください。

● スクリーンについて

ご使用のスクリーンに汚れ、傷、変色などが発生すると、きれいな映像が見られません。スクリーンに揮発性のものをかけたり、傷や汚れが付かないよう取り扱いにご注意ください。

● ランプについて

本機の光源には、内部圧力の高い水銀ランプが使われています。高圧水銀ランプにはつぎのような特性があります。

- 衝撃やキズ、使用時間の経過による劣化などで大きな音をともなって破裂したり、不点灯状態となって寿命が尽きたりすることがあります。
- 個体差や使用条件によって寿命に大きなバラツキがあります。
- ごくまれに使用後まもなく破裂することがあります。
- 交換時期を越えると破裂の可能性が高くなります。

■ 廃棄について

本機を廃棄する場合は、販売店に依頼するか専門の業者に依頼してください。

注意

パソコンや外部機器に接続する際、シールドされたインターフェースケーブルを使用してください。

お掃除とお手入れ

必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

キャビネットはやわらかい乾いた布で

汚れがひどいときは水で薄めた台所用洗剤(中性)にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。化学ぞうきんをご使用の際はその注意書に従ってください。

レンズ面は毛羽だつ布やほこりのついた布でふかないでください

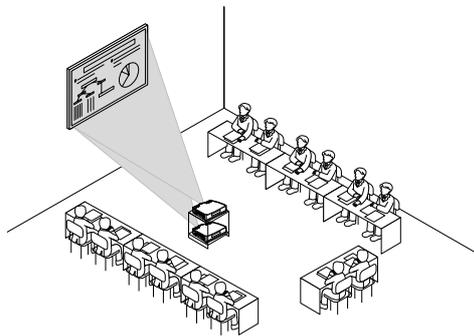
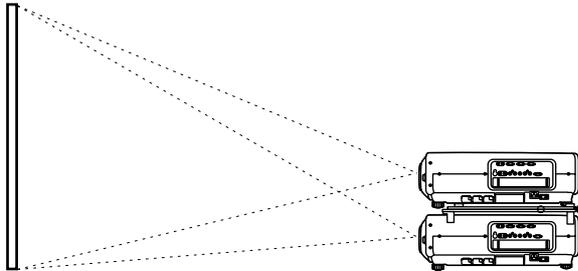
レンズにゴミやほこりが付着しますとスクリーン面へ、ゴミやほこりが拡大されて映ります。やわらかいきれいな布でふいてください。

システムアップ例

本機には、豊富な端子群とオプション（別売品）が準備されており、様々なシステムアップに対応しています。下図にその一例を示しています。

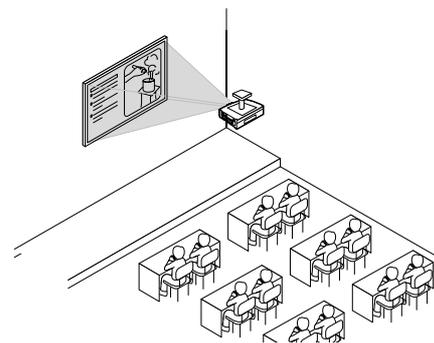
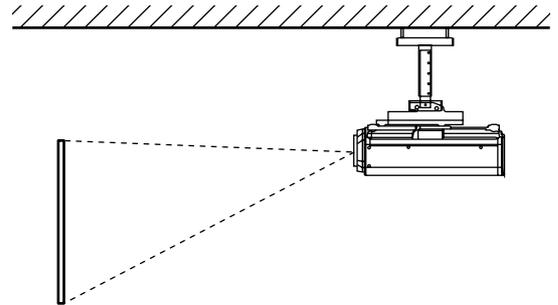
システム 1

デュアル金具(別売品)と本機2台を使用し、明るさが向上



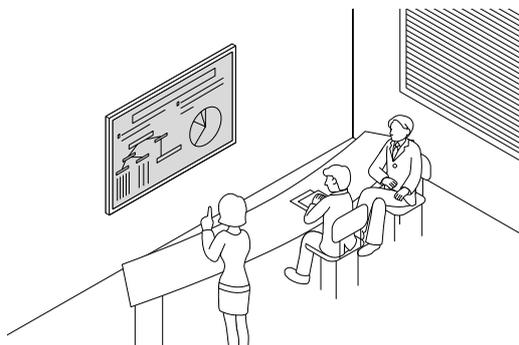
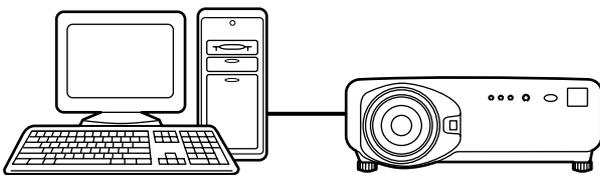
システム 2

天つり金具(別売品)を使用し、スペースを有効活用



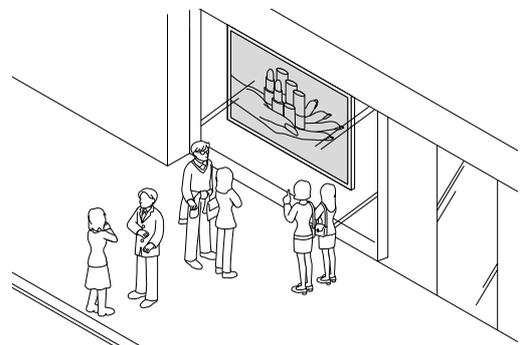
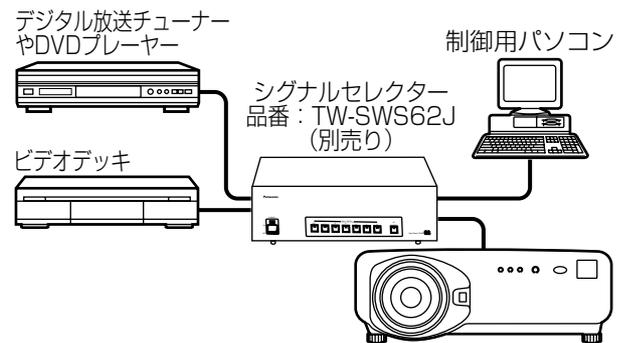
システム 3

DVI-D入力モジュール(別売品)を使ったデジタル対応パソコンとの接続(高画質の実現)



システム 4

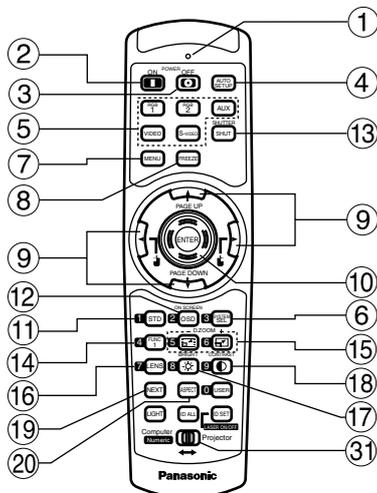
シグナルセレクターの接続で、豊富な映像ソースに対応



準備

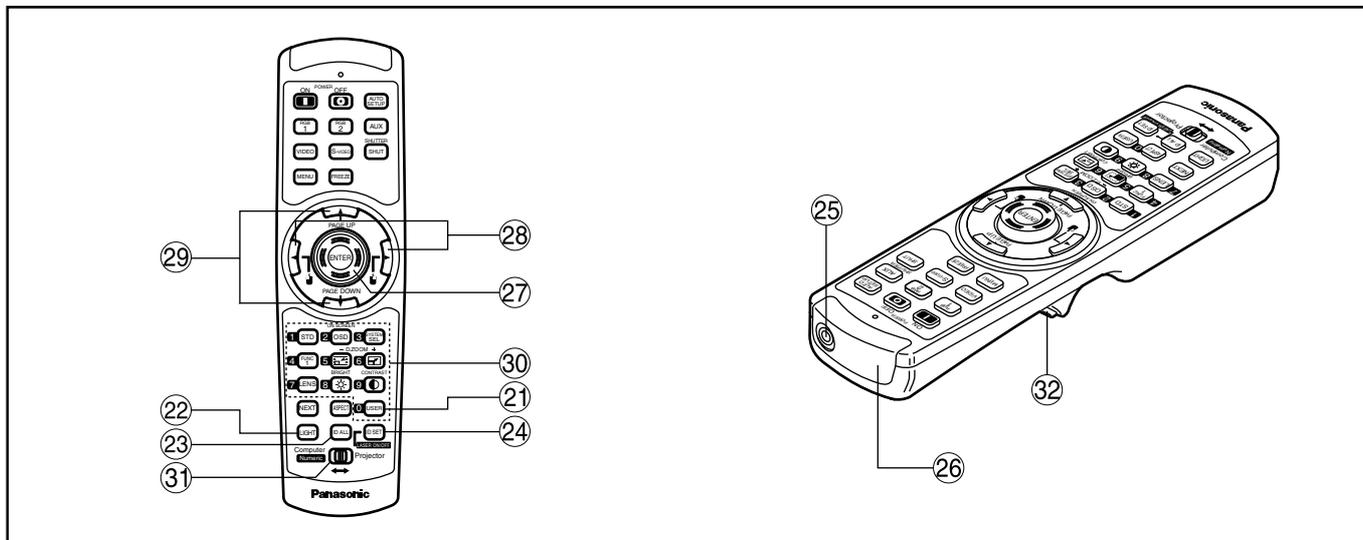
各部の名前と働き

リモコン



<操作モード切り換え③をプロジェクター (Projector)側に行っているとき>

- ① **リモコン操作表示ランプ**
リモコンボタンを押すと点滅します。
- ② **電源入(|)ボタン(37ページ)**
本体の主電源(MAIN POWER)が「 | 」側のとき、電源の「入」ができます。
- ③ **電源切(|)ボタン(38ページ)**
本体の主電源(MAIN POWER)が「 | 」側のとき、電源の「切」ができます。
- ④ **オートセットアップ(AUTO SETUP)ボタン(41ページ)**
映像を投写して、このボタンを押すと画面表示位置が自動調整されます。自動調整中は画面に「実行中」と表示されます。
- ⑤ **入力切り換え(RGB1、RGB2、AUX、VIDEO、S-VIDEO)ボタン**
RGB1、RGB2、AUX(モジュール入力)、VIDEO、S-VIDEOの入力切り換えができます。
- ⑥ **システム方式切り換え(SYSTEM SELECTOR)ボタン(67ページ)**
システム方式の切り換えができます。
- ⑦ **メニュー(MENU)ボタン(48ページ)**
メインメニューを表示したり、消したりします。メニューが表示されているときは1つ前の画面に戻したりすることができます。
- ⑧ **フリーズ(FREEZE)ボタン(46ページ)**
映像を一時的に静止させたいとき押します。
- ⑨ **▲ ▼ ◀ ▶ ボタン(48ページ)**
メニュー画面の項目の選択や、設定の切り換え、およびレベルの調整ができます。また、「セキュリティ」のパスワード入力にも使用します。
- ⑩ **エンター(ENTER)ボタン(48ページ)**
メニュー画面の項目の決定や実行をすることができます。
- ⑪ **スタンダード(STD)ボタン(48ページ)**
設定を工場出荷時に戻したいとき押します。
- ⑫ **オンスクリーン(ON SCREEN)ボタン(47、86ページ)**
オンスクリーン表示機能を「入」「切」します。
- ⑬ **シャッター(SHUTTER)ボタン(46ページ)**
映像を一時的に消したいとき押します。
- ⑭ **ファンクション1(FUNC1)ボタン(78ページ)**
メインメニュー内から「オプション」画面の「FUNC1」で設定した機能をこのボタンで操作できます。
- ⑮ **デジタルズーム(- D.ZOOM +)ボタン(46ページ)**
映像を部分的に拡大することができます。
- ⑯ **レンズ(LENS)ボタン(39ページ)**
投写レンズを調整するモードに設定します。
- ⑰ **ブライト(BRIGHT)ボタン(50ページ)**
黒レベルを調整するモードに設定します。
- ⑱ **コントラスト(CONTRAST)ボタン(50ページ)**
映像の濃さを調整するモードに設定します。
- ⑲ **ネクスト(NEXT)ボタン**
本体にシグナルセレクターを複数台接続して使用するシステム時、2台目以降のシグナルセレクターを指定します。IDセット(ID SET)ボタンを押した状態では、押すごとにIDナンバーの10の位を切り換えます。
- ⑳ **アスペクト(ASPECT)ボタン**
映像のアスペクト比率を4:3と16:9に切り換えます。



- ②① ユーザー(USER)ボタン
信号登録のサブメモリー画面を表示します。
- ②② ライト(LIGHT)ボタン (③② クリックボタン)
ボタンを押すと、リモコンボタンに照明がつきます。リモコン操作をやめると約30秒後に消灯します。
- ②③ IDオール(ID ALL)ボタン(16、69ページ)
本体を複数台使用するシステム時、ひとつのリモコンで同時制御するモードに設定します。
- ②④ IDセット(ID SET)ボタン(16、69ページ)
本体を複数台使用するシステム時、リモコンのIDを設定します。
- ②⑤ リモコンワイヤード端子(17ページ)
ワイヤード出力端子を使用する場合はケーブル(付属品)でリモコンと本体を接続します。
- ②⑥ リモコン発信部
本体のリモコン受光部に向けて操作してください。

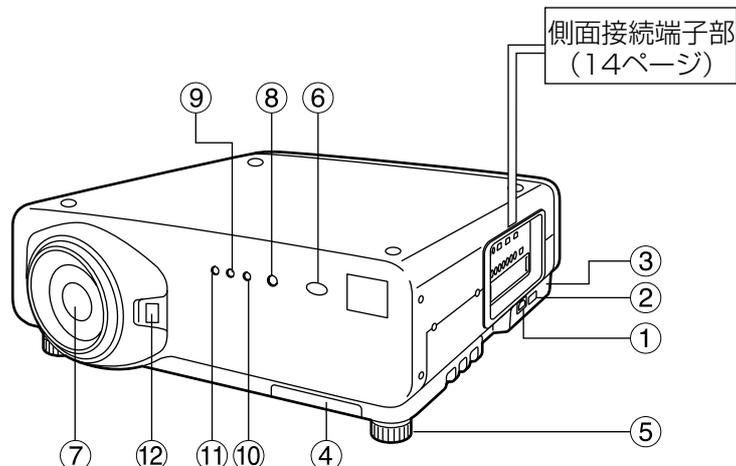
<操作モード切り換え③①をコンピューター(Computer)側に行っているとき>

- ②⑦ エンター(ENTER)ボタン
マウスカーソルを移動させることができます。
- ②⑧ 上下(◀ ▶)ボタン
マウス左ボタン/右ボタンに相当します。
- ②⑨ PAGE UP/PAGE DOWNボタン
パソコンのキーボードのPAGE UP/PAGE DOWNボタンに相当します。
- ③① 数字(0~9)ボタン
本機を複数台使用するシステムや別売のシグナルセクターを接続するシステムで、本機の指定やシグナルセクターの入力を指定するボタンです。また、ID選択時にはID番号の入力、サービスマンのパスワード入力時にはパスワードの入力にも使用します。
- ③① 操作モード切り換え(Computer/Numeric, Projector)スイッチ(17ページ)
プロジェクターを操作するときは右側に、パソコンを操作するときや数字ボタンを使うときは左側に切り換えます。
- ③② クリックボタン(17ページ)
操作モード切り換えをコンピューター(Computer)側に行っているときはマウス左ボタンに相当します。

お知らせ ・リモコンをパソコンのマウス代わりに使用する場合は、別売のワイヤレスマウスレシーバー(品番：TW-RMRC2)をお買い求めください。

・入力切り換えのAUXボタンは、オプション入力モジュールが装着されていない場合は無効です。

本体前面・側面



① AC入力(AC IN)端子(37ページ)

付属の電源コードを接続する端子です。
付属のもの以外は接続しないでください。

② 主電源(MAIN POWER)スイッチ(37ページ)

主電源を「I」(入)、「O」(切)にすることができます。

③ 盗難防止用ロック

市販の盗難防止用ケーブル(Kensington社製)などを接続することができます。

また、Kensington社製のマイクロセーバーセキュリティシステムに対応しています。

日本国内総代理店の連絡先は下記の通りです。

日本ポラデジタル株式会社 第3営業部
〒104-0032 東京都中央区八丁堀1丁目5番2号
はごろもビル
TEL:03-3537-1070 FAX:03-3537-1071

* 連絡先は変更になる可能性がありますので
ご了承ください。

④ エアーフィルター部(98ページ)

⑤ 高さ調整機能付セット脚(18ページ)

本体の傾き調整に使用します。
(セット脚は前後左右にあります)

⑥ リモコン受光部(前)(15ページ)

リモコン信号の受光部です。

⑦ 投写レンズ(別売品)

スクリーンに映像を投写するレンズです。

⑧ 電源表示ランプ(37ページ)

主電源(MAIN POWER)スイッチが「I」(入)のとき赤色に点灯します。このとき本体またはリモコンの電源入(I)ボタンを押すと緑色に点灯します。

⑨ ランプ1モニター(LAMP1)(97ページ)

ランプユニット1の交換時期になると点灯します。
またランプ回路に異常が発生すると点滅します。

⑩ ランプ2モニター(LAMP2)(97ページ)

ランプユニット2の交換時期になると点灯します。
またランプ回路に異常が発生すると点滅します。

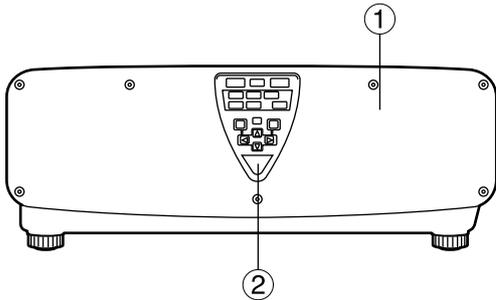
⑪ 温度モニター(TEMP)(97ページ)

本体内の内部温度の異常を点灯や点滅で表示します。

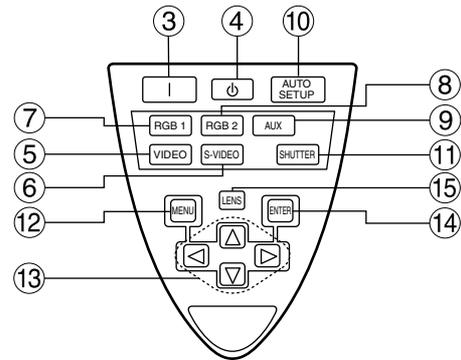
⑫ 投写レンズカバーロックボタン

投写レンズ(別売品)用着脱式カバーをロック/ロック解除します。

本体後面

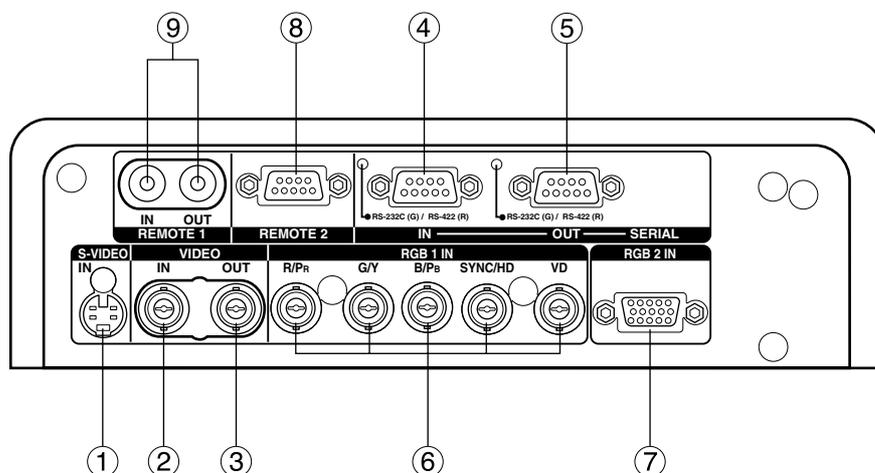


後面操作部



- ① **ランプユニット収納扉**
ランプユニットが収納されています。
- ② **リモコン受光部(後) (15ページ)**
リモコン信号の受光部です。
- ③ **電源入(|)ボタン(37ページ)**
電源の「入」を行います。
- ④ **電源切(⏻)ボタン(38ページ)**
電源の「切」を行います。
- ⑤ **ビデオ(VIDEO)ボタン(37ページ)**
ビデオに入力切り換えができます。
- ⑥ **S-VIDEOボタン(37ページ)**
S-VIDEOに入力切り換えができます。
- ⑦ **RGB1ボタン(37ページ)**
RGB1に入力切り換えができます。
- ⑧ **RGB2ボタン(37ページ)**
RGB2に入力切り換えができます。
- ⑨ **AUXボタン(37ページ)**
オプション入力モジュールに入力切り換えができます。
- ⑩ **オートセットアップ(AUTO SETUP)ボタン (41ページ)**
映像を投写して、このボタンを押すと画面表示位置の自動調整がされます。自動調整中は画面に「実行中」と表示されます。
- ⑪ **シャッター(SHUTTER)ボタン(46ページ)**
映像を一時的に消すことができます。
- ⑫ **メニュー(MENU)ボタン (48ページ、86、87ページ)**
メインメニューを表示したり、消したりします。メニューが表示されているときは1つ前の画面に戻したりすることができます。オンスクリーン表示が「切」の状態でもメニューキーを3秒以上長押しすると、メニューを表示することができます。
- ⑬ **▲ ▼ ◀ ▶ 選択ボタン(48ページ)**
メニュー画面の項目を選択したり、設定の切り換えおよびレベルの調整ができます。また、「セキュリティ」のパスワード入力にも使用します。
- ⑭ **エンター(ENTER)ボタン(48ページ)**
メニュー画面の項目の決定や実行をすることができます。
- ⑮ **レンズ(LENS)ボタン(39ページ)**
レンズのフォーカス、ズーム、シフト(位置)の調整モードに設定します。

側面接続端子部



- ① **Sビデオ入力(S-VIDEO IN)端子**
(22、23ページ)
Sビデオ信号の入力端子です。(MIN4ピン DIN)
S1信号に対応しており入力信号のサイズに合わせて16:9と4:3の自動切り換えを行います。
- ② **ビデオ入力(VIDEO IN)端子(23ページ)**
ビデオ信号の入力端子です。(BNC)
- ③ **ビデオ出力(VIDEO OUT)端子(23ページ)**
ビデオ信号の出力端子(アクティブスルー)です。
(BNC)
- ④ **シリアル入力(SERIAL IN)端子**
(23~25、72、80、81ページ)
パソコンを接続して本体を外部制御するためのRS-232C/RS-422準拠の入力端子(切り換え必要)です。(D-SUB 9ピン メス型)
- ⑤ **シリアル出力(SERIAL OUT)端子**
(24、25、72、80、81ページ)
シリアル入力端子に接続されている信号を出力するRS-232C/RS-422準拠の出力端子(切り換え必要)です。(D-SUB 9ピン オス型)
- ⑥ **RGB(YPbPr)1入力端子(24、25ページ)**
RGB信号またはYPbPr信号を入力する端子です。
(BNC)
- ⑦ **RGB2入力端子(24ページ)**
RGB信号またはYPbPr信号を入力する端子です。
(D-SUB 15ピン メス型)
- ⑧ **リモート2(REMOTE2)端子(82ページ)**
本体を外部制御回路を使用して遠隔操作することができます。(D-SUB 9ピン メス型)
- ⑨ **リモート1入力/出力(REMOTE1 IN/OUT)端子**
(17ページ)
本体を複数台使用するシステム時にワイヤードリモコンケーブルで連結制御することができます。
(M3ジャック)

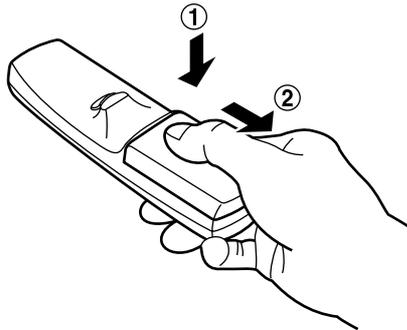
リモコンの使いかた

■ 乾電池の入れかた

付属の単3形乾電池を極性に注意して入れてください。

1. 電池ふたを開ける

①②の順でふたを開ける。



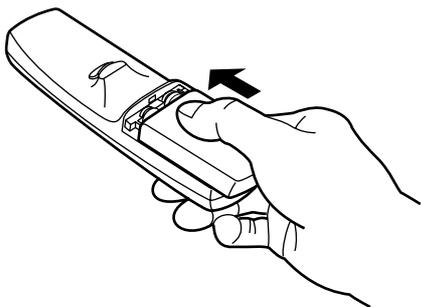
2. 乾電池を入れる

極性表示 (+、-) に合わせて乾電池を入れます。



3. 電池ふたを閉める

ふたを元どおりにカチッと音がするまで閉めます。

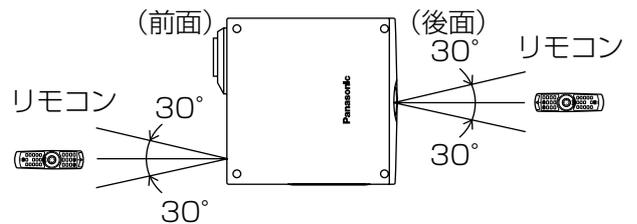


- お願い**
- リモコンは落とさないようにしてください。
 - リモコンに液状のものをかけないようにしてください。
 - ニカド電池は使用しないでください。

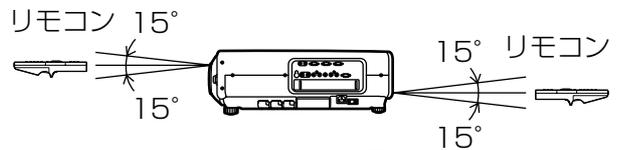
■ リモコンの有効操作範囲

リモコンの操作は、直接本体の前面・後面のリモコン受光部に向けて操作します。(図1)
また、図2のようにスクリーンの反射を利用して操作することもできます。

操作可能距離は前面または後面受光部の正面より約7m以内です。



[上からみた図]



[横からみた図]

図1

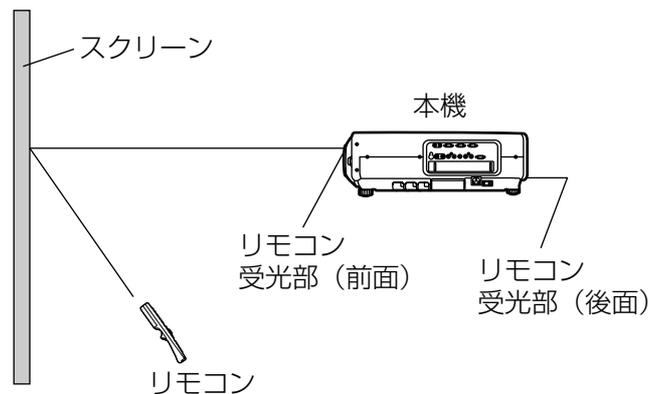


図2

- お知らせ**
- スクリーンに向けて操作する場合は、スクリーン特性による光反射ロスで操作有効範囲に制限がでる場合があります。
 - リモコンと受光部の間に障害物があると正しく動作しない場合があります。
 - リモコン受光部に蛍光灯などの強い光があたるとリモコンが誤動作する場合があります。できるだけ光源から離して設置してください。

準備

■ リモコンのIDナンバーを指定する

本機にはIDナンバーが設定されており、リモコンを使用するためには、事前に制御する本機のIDナンバーをリモコンに指定しないと操作できません。なお、**本機のIDナンバーは工場出荷時は「オール」に設定されていますので1台だけでご使用の場合は、リモコンはIDオール(ID ALL)ボタンをご使用ください。**

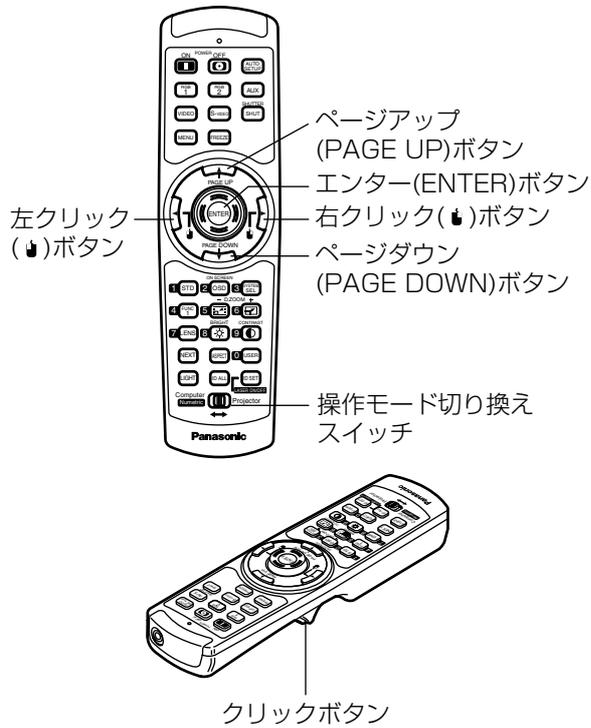
設定方法

IDセット(ID SET)ボタンを押した後、5秒以内に、本機側で設定されているIDナンバーの10の桁をネクスト(NEXT)ボタンで設定し、1の桁を数字(0~9)ボタンで設定する。

ただし、IDオール(ID ALL)ボタンを押した場合は、本機のIDナンバー設定に関係なく制御できます。(同時制御モード)

- IDセット(ID SET)ボタンを押した場合は、5秒以内にネクスト(NEXT)ボタンおよび数字ボタンを押さないとIDセット(ID SET)ボタンを押す以前のIDナンバーに戻ります。
- リモコンのIDナンバー指定は、本機がなくても可能なため、IDセット(ID SET)ボタンは不用意に押さないでください。
- リモコンに入力されたIDナンバーの指定は、再度指定しない限り記憶しています。ただし、リモコンの電池が消耗したまま放置しておくと消去されます。乾電池を交換した場合は、同じIDナンバーを再度設定してください。

■ リモコンをパソコンのマウス代わりに使う



操作モード切り換えスイッチ

コンピューター (Computer) 側に切り換えます。

• エンター (ENTER) ボタン

ボタンの前後左右の端を押すと、マウスカーソルを上下左右に移動できます。

• 右クリック (右ボタン)

マウスの右ボタンとして使用できます。

• 左クリック (左ボタン) / クリックボタン

マウスの左ボタンとして使用できます。

• ページアップ (PAGE UP) ボタン

パソコンのキーボードの Page Up ボタンとして使用できます。

• ページダウン (PAGE DOWN) ボタン

パソコンのキーボードの Page Down ボタンとして使用できます。

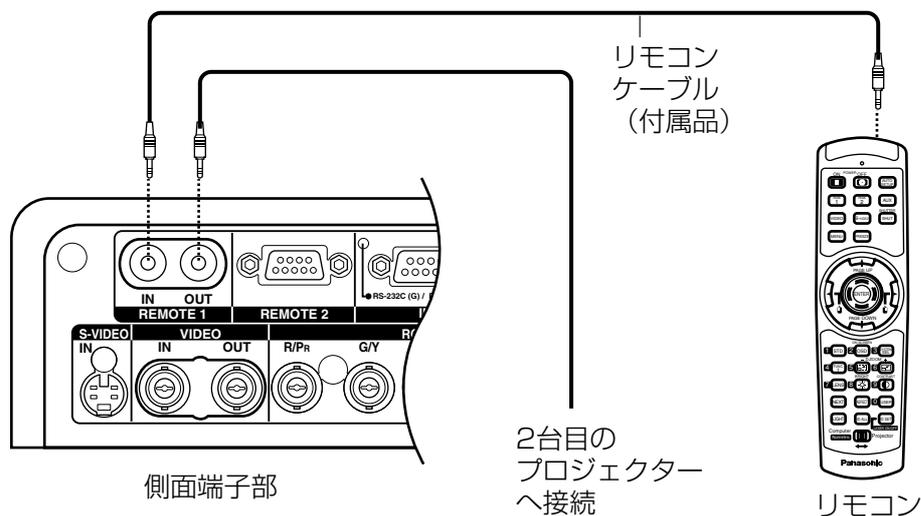
• クリックボタン

マウスの左ボタンとして使用できます。

お知らせ • リモコンをマウスがわりに使用する場合は別売品のワイヤレスマウスレシーバー (品番 : TW-RMRC2) をお買い求めください。

■ ワイヤードリモコンで使う

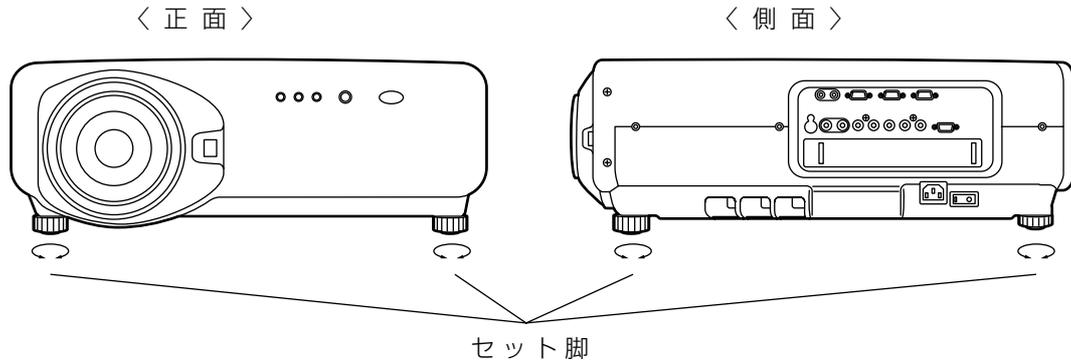
本体を複数台接続するシステムでリモート1入出力 (REMOTE 1 IN/OUT) 端子を利用して複数台を1つのリモコンで同時制御したい場合は、付属のリモコンケーブルを接続して制御します。また本機の設置環境によっては、本機とリモコンの間に障害物があったり外光の影響を受けやすい場所で使用する場合など効果的です。



設置する

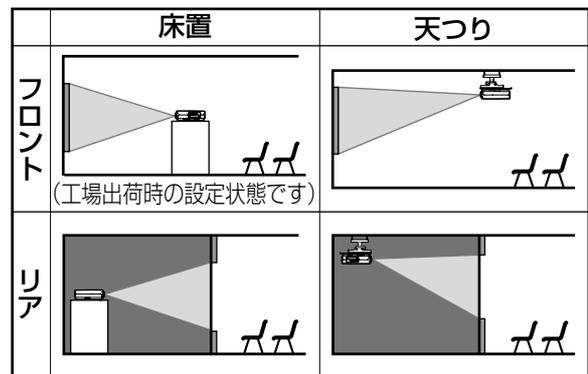
■ セット脚の調整

本機底面に取り付けられた4個のセット脚には高さ調整機能(0 mm~33 mm)があり、床置き設置面が水平でない場合の調整用に使用できます。



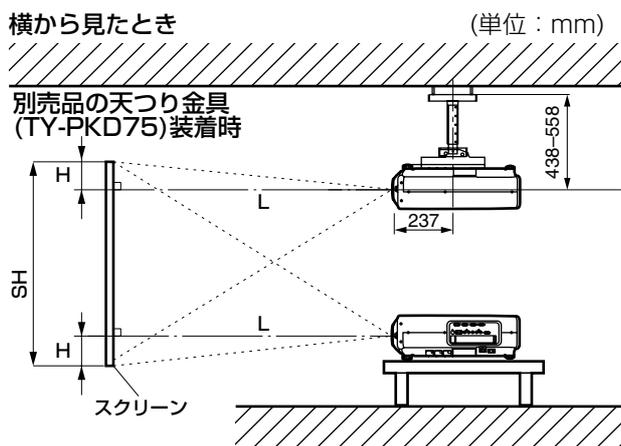
■ 投写方式

本機は、右図の4通りの投写方式が可能です。設置場所に合った投写方式を選択してください。投写方式の設定方法については、メニュー画面のオプションメニューで行うことができます。(70ページ参照)

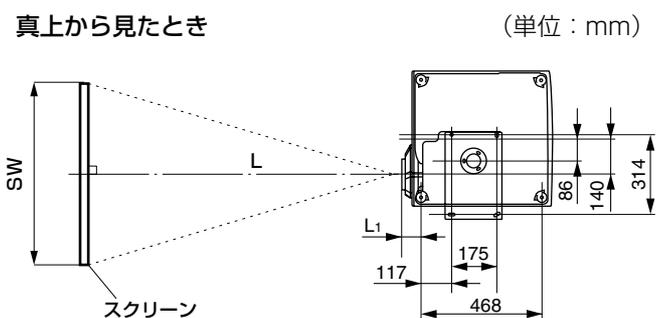


■ 投写関係

本機の設置は、下図や次ページを参考にして設置してください。なお、電動ズームレンズの採用により画面サイズの調整と、レンズ位置移動機能による画面位置の高さ調整が可能です。



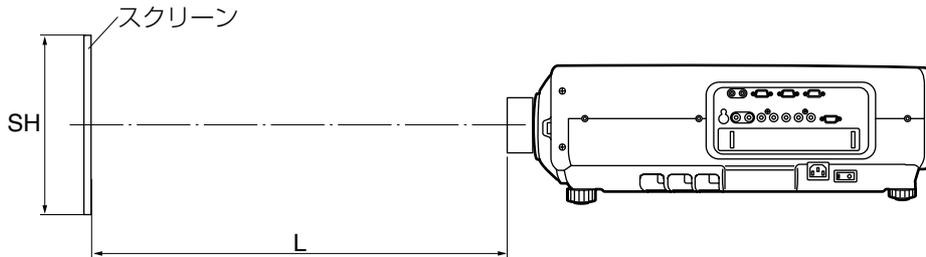
L : 投写距離
 SH : 画像高さ
 SW : 画像幅
 H(0~SH) : レンズセンターと画像下端の距離



レンズ	L1の寸法(概略値)
TY-D75LE1	102
TY-D75LE2	86.5
TY-D75LE3	90
TY-D75LE4	113.9
TY-D75LE5	190

■ 投写レンズ（別売品）ごとの投写距離

別売品の投写レンズは同じ画面サイズを得るにも、種類によりそれぞれ投写距離が異なります。下表や次ページの各投写レンズごとの投写距離をご参照のうえ、設置場所の広さに合った投写レンズをお買い求めください。



L : 投写距離
SH : スクリーン有効高さ

投写レンズごとの投写距離

• スクリーンアスペクト比が4:3のとき

単位 : m

画面 サイズ (型)	スクリーン寸法		投写距離(L)								
			ズームレンズ								
	有効高さ (SH)	有効幅 (SW)	TY-D75LE1(1.5-2.0 : 1)		TY-D75LE2(2.0-3.0 : 1)		TY-D75LE3(3.0-5.0 : 1)		TY-D75LE4(5.0-8.0 : 1)		TY-D75LE5 (0.8 : 1)
最短			最長	最短	最長	最短	最長	最短	最長		
70	1.066	1.422	2.07	2.77	2.80	4.21	4.23	7.09	7.10	11.37	1.02
80	1.219	1.625	2.38	3.18	3.21	4.83	4.84	8.13	8.13	13.01	1.18
90	1.371	1.828	2.68	3.59	3.62	5.45	5.46	9.16	9.16	14.65	1.34
100	1.524	2.032	2.99	4.00	4.04	6.07	6.08	10.19	10.19	16.29	1.50
120	1.828	2.438	3.60	4.82	4.86	7.30	7.31	12.25	12.26	19.57	1.81
150	2.286	3.048	4.53	6.05	6.09	9.15	9.16	15.34	15.35	24.49	2.29
200	3.048	4.064	6.06	8.10	8.15	12.24	12.25	20.50	20.50	32.69	3.08
250	3.810	5.080	7.59	10.15	10.21	15.33	15.34	25.65	25.66	40.88	3.87
300	4.572	6.096	9.13	12.19	12.27	18.41	18.42	30.81	30.81	49.08	4.66
350	5.334	7.112	10.66	14.24	14.32	21.50	21.51	35.96	35.97	57.28	-----
400	6.096	8.129	12.19	16.29	16.38	24.58	24.60	41.12	41.12	65.47	-----
500	7.620	10.160	15.26	20.39	20.50	30.76	30.77	51.42	51.43	81.87	-----
600	9.144	12.192	18.33	24.49	24.61	36.93	36.94	61.73	61.74	98.26	-----

- お知らせ**
- 記載の投写距離は±5 %の誤差が発生します。
 - キーストン（台形歪）補正は、所定の画面サイズよりも小さくなる方向で補正されます。

(次ページへつづく)

■ 投写レンズ（別売品）ごとの投写距離(つづき)

• スクリーンアスペクト比が16:9のとき

単位：m

画面 サイズ (型)	スクリーン寸法		投写距離(L)								
			ズームレンズ								固定焦点レンズ
			TY-D75LE1(1.5-2.0:1)		TY-D75LE2(2.0-3.0:1)		TY-D75LE3(3.0-5.0:1)		TY-D75LE4(5.0-8.0:1)		
有効高さ (SH)	有効幅 (SW)	最短	最長	最短	最長	最短	最長	最短	最長		
70	0.871	1.549	2.26	3.03	3.06	4.60	4.61	7.74	7.75	12.40	1.12
80	0.996	1.771	2.60	3.47	3.51	5.27	5.28	8.86	8.87	14.19	1.29
90	1.120	1.992	2.93	3.92	3.96	5.95	5.96	9.99	9.99	15.97	1.47
100	1.245	2.214	3.27	4.36	4.40	6.62	6.63	11.11	11.11	17.76	1.64
120	1.494	2.657	3.93	5.26	5.30	7.96	7.97	13.35	13.36	21.33	1.98
150	1.868	3.321	4.94	6.60	6.65	9.98	9.99	16.72	16.73	26.69	2.50
200	2.491	4.428	6.61	8.83	8.89	13.34	13.35	22.34	22.34	35.61	3.36
250	3.113	5.535	8.28	11.06	11.13	16.70	16.71	27.95	27.96	44.54	4.22
300	3.736	6.641	9.95	13.29	13.37	20.07	20.08	33.57	33.57	53.47	5.08
350	4.358	7.748	11.62	15.53	15.61	23.43	23.44	39.18	39.19	62.40	----
400	4.981	8.855	13.29	17.76	17.85	26.79	26.80	44.80	44.80	71.33	----
500	6.226	11.069	16.63	22.22	22.33	33.51	33.53	56.03	56.03	89.19	----
600	7.472	13.282	19.97	26.69	26.82	40.24	40.25	67.26	67.26	107.04	----

お知らせ

- 記載の投写距離は±5%の誤差が発生します。
- キーストン（台形歪）補正は、所定の画面サイズよりも小さくなる方向で補正されます。

本書に記載のない画面サイズで、ご使用の場合は、使用されるスクリーンの対角寸法（型）をご確認のうえ、下記計算式で投写距離を求めてください。

投写レンズ別投写距離計算式

投写レンズ品番		アスペクト比	投写距離（L）計算式	単位：m
ズームレンズ	TY-D75LE1 (1.5~2.0 : 1)	4:3	最短 : L = 0.0307 × スクリーン対角 (型) - 0.0760 最長 : L = 0.0410 × スクリーン対角 (型) - 0.1004	
		16:9	最短 : L = 0.0334 × スクリーン対角 (型) - 0.0760 最長 : L = 0.0446 × スクリーン対角 (型) - 0.1004	
	TY-D75LE2 (2.0~3.0 : 1)	4:3	最短 : L = 0.0412 × スクリーン対角 (型) - 0.0795 最長 : L = 0.0617 × スクリーン対角 (型) - 0.1064	
		16:9	最短 : L = 0.0448 × スクリーン対角 (型) - 0.0795 最長 : L = 0.0672 × スクリーン対角 (型) - 0.1064	
	TY-D75LE3 (3.0~5.0 : 1)	4:3	最短 : L = 0.0617 × スクリーン対角 (型) - 0.0958 最長 : L = 0.1031 × スクリーン対角 (型) - 0.1216	
		16:9	最短 : L = 0.0672 × スクリーン対角 (型) - 0.0958 最長 : L = 0.1123 × スクリーン対角 (型) - 0.1216	
	TY-D75LE4 (5.0~8.0 : 1)	4:3	最短 : L = 0.1031 × スクリーン対角 (型) - 0.1158 最長 : L = 0.1639 × スクリーン対角 (型) - 0.1013	
		16:9	最短 : L = 0.1123 × スクリーン対角 (型) - 0.1158 最長 : L = 0.1786 × スクリーン対角 (型) - 0.1013	
固定焦点レンズ	TY-D75LE5 (0.8 : 1)	4:3	L = 0.0158 × スクリーン対角 (型) - 0.0835	
		16:9	L = 0.0172 × スクリーン対角 (型) - 0.0835	

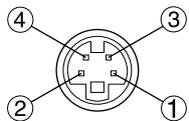
準備

接続する

■ 接続する前に

- 接続の際は、接続される機器の取扱説明書もよくお読みください。
- 各機器の電源を「切」にしてからケーブルの接続を行ってください。
- システム接続に必要な接続ケーブルは、各機器の付属品、別売品がない場合は接続される機器に合わせて準備してください。
- 映像ソースからの映像信号にジッター成分が多い場合は、画面がふらつくことがあります。
この場合はタイムベースコレクター（TBC）の接続が必要です。
- 本機に接続できる信号はビデオ信号、Sビデオ信号、アナログRGB信号、およびオプション入力モジュールです。
- パソコンのモデルによっては、本機と接続して使用できないものもあります。

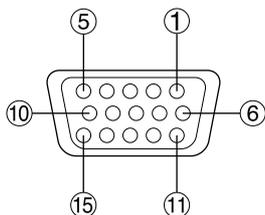
- Sビデオ入力（S-VIDEO IN）端子のピン配列と信号名は下記の通りです。



外側から見た図

ピンNo.	信号
①	アース(輝度信号)
②	アース(色信号)
③	輝度信号
④	色信号

- RGB2入力端子のピン配列と信号名は下記の通りです。



外側から見た図

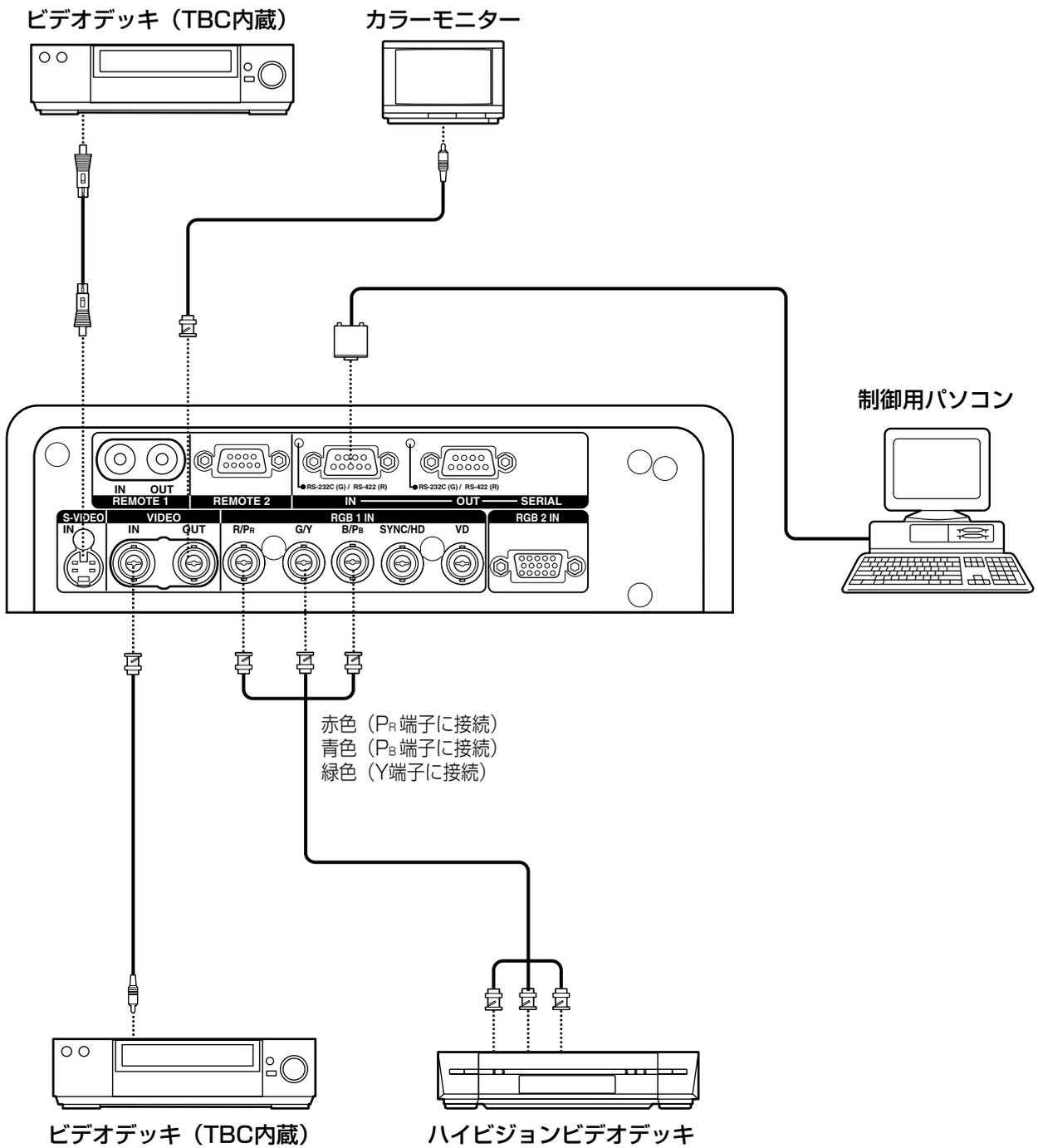
ピンNo.	信号
①	R/Pr
②	G/G・SYNC/Y
③	Pb
⑫	SDA
⑬	HD/SYNC
⑭	VD
⑮	SCL

④、⑨は未使用

⑤～⑧、⑩、⑪はGND端子です。

⑫、⑮はパソコン側に機能があれば有効です。

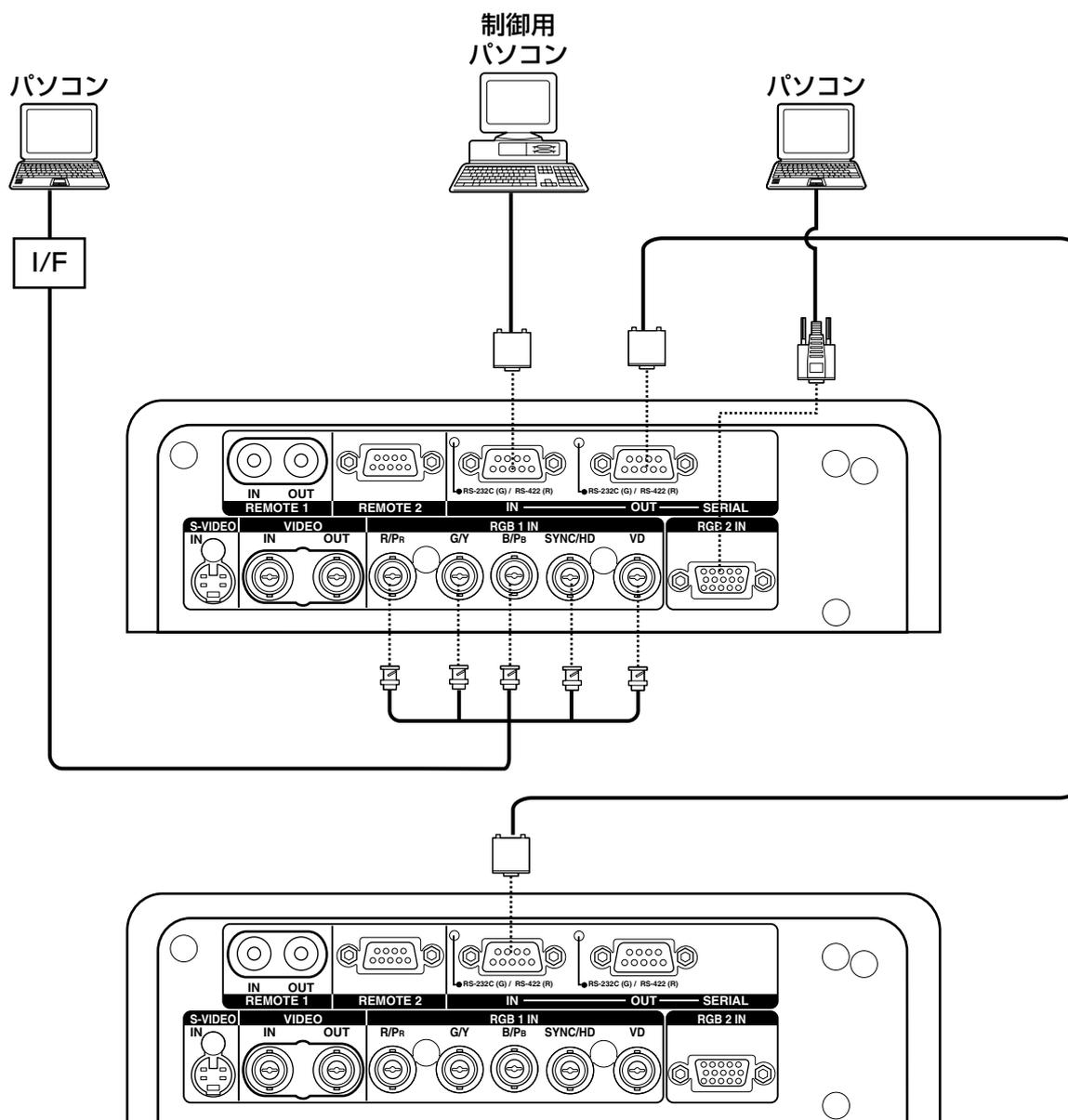
■ 映像機器との接続例



お願い

- ビデオデッキを接続するときは、必ずTBC(タイムベースコレクター)内蔵のものを使用するか、または本機とビデオデッキの間にタイムベースコレクターを使用してください。
- バースト信号が非標準の信号を接続すると、映像が乱れる場合があります。その場合は本機との間にタイムベースコレクターを接続してください。

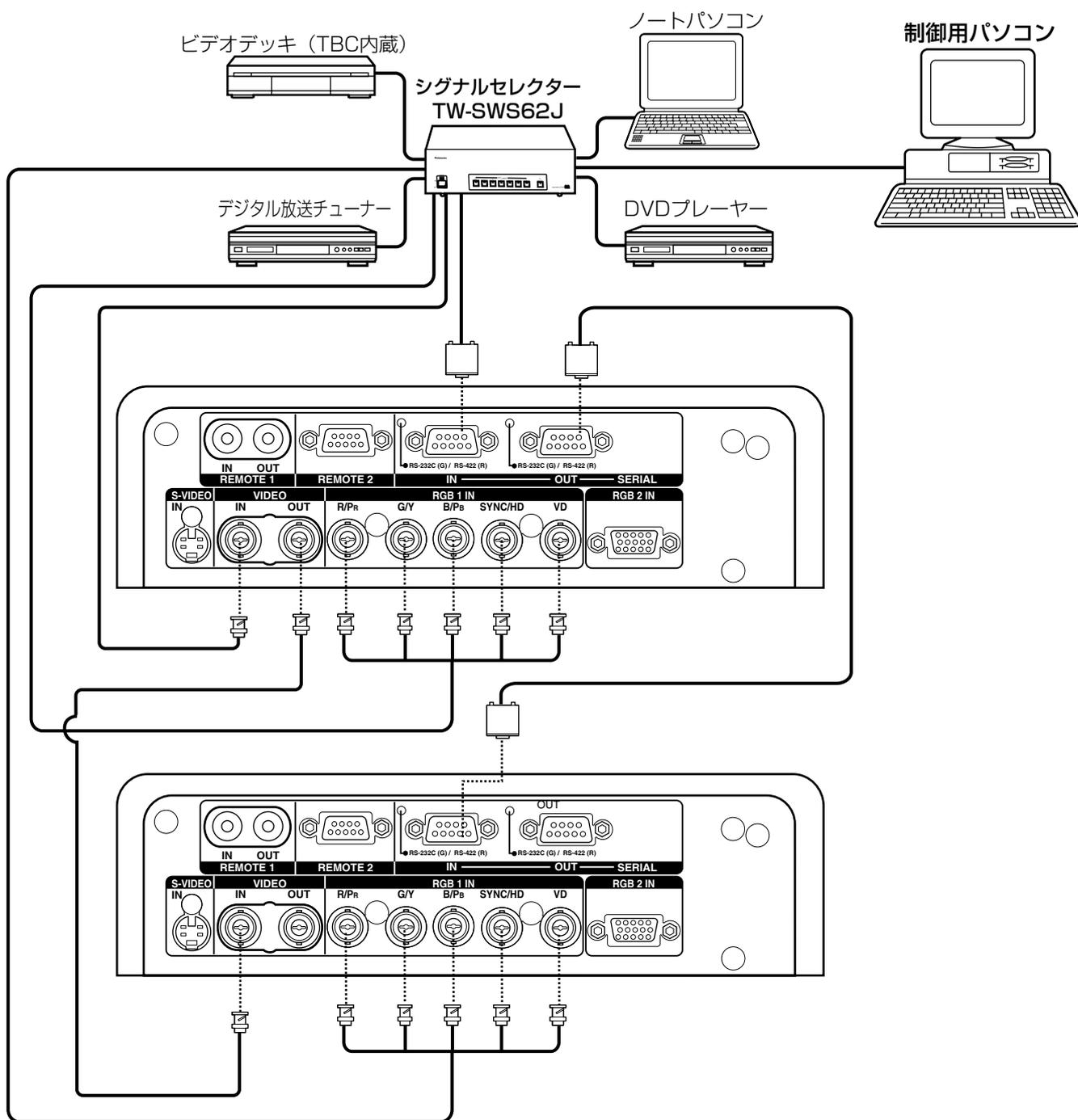
■ パソコンとの接続例



お願い • 本体の主電源を切ったときにはパソコンの電源も切ってください。

お知らせ • 本機に接続できるパソコンからのRGB信号は、105ページに記載のデータを参照ください。
 • レジューム機能(ラストメモリー)のパソコンを使用される場合は、その機能をリセットしないと動作しない場合があります。

■ シグナルセレクターなどの接続例



準備

お知らせ • シグナルセレクター(TW-SWS62J)の取扱説明書も、よくお読みください。

入力モジュール（別売品）の取り付け

■ 入力モジュールの取り付け

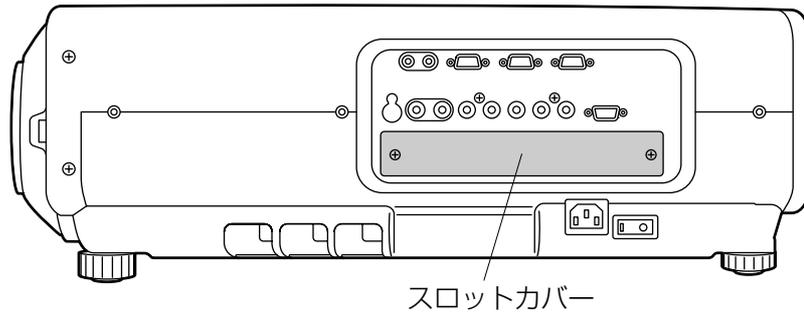
入力モジュール（別売品）の種類

あらかじめシステムの入力信号に合った入力モジュール（別売品）をご用意ください。

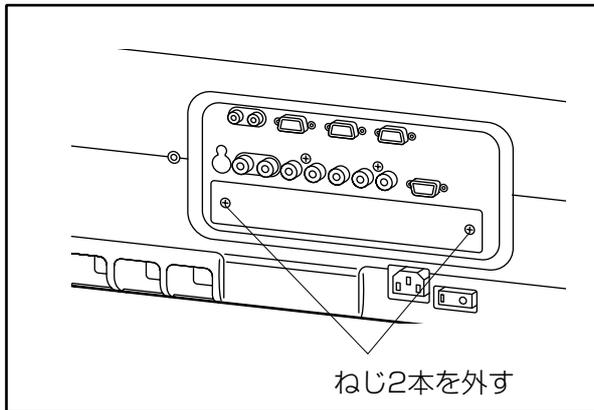
入力する信号	モジュール品番	入力信号レベル
アナログRGB信号	TW-MD95RGB	映像信号入力部 インピーダンス：75 Ω 同期信号入力部 インピーダンス：75 Ω/1 kΩ R/Pr/Cr：0.7 V[p-p] ただしBETACAM入力時は1.0 V[p-p] G/Y：0.7 V[p-p] ただしSYNC ON G/Y信号入力時は1.0 V[p-p] B/Pb/Cb：0.7 V[p-p] ただしBETACAM入力時は1.0 V[p-p] コンポジットSYNC 75 Ωの場合：0.6 V[p-p]～4.0 V[p-p] 1 kΩの場合：TTLレベル ただし3値コンポジットSYNCは非対応 セパレートSYNC 75 Ωの場合：0.6 V[p-p]～4.0 V[p-p] 1 kΩの場合：TTLレベル アナログRGB入力モジュール対応信号 fH：15 kHz～100 kHz、fV：24 Hz～120 Hz ドットクロック周波数：20 MHz～162 MHz 色差入力対応信号 対応方式 480i、576i、480p、576p、 720/60p、1080/60i(1035/60i)、 1080/50i、1080/30p、 1080/25p、1080/24p、 1080/24sF
ビデオ信号	TW-MD95VM2	ビデオ/Y：1.0 V[p-p] C：0.286 V[p-p] Cr/Cb：0.7 V[p-p] インピーダンス：75 Ω
シリアルデジタル信号	TW-MD95SD1	SMPTE259M準拠
シリアルデジタル信号	TW-MD95SD2	SMPTE259M/294M準拠
HDシリアルデジタル信号	TW-MD95SD3	SMPTE292M準拠
VGA、SVGA、XGA、SXGA信号	TW-MD75DV	DVI1.0準拠 表示可能解像度：VGA～SXGA ドットクロック周波数：25 MHz～112 MHz
画像ファイル	TW-MD75NT	フォーマット：BMP、JPEG、PNG 表示画素数：1024×768ドット 表示色：65536色 画像ファイルの表示には別途ソフトウェアが必要です。販売店にご相談ください。

取り付け手順

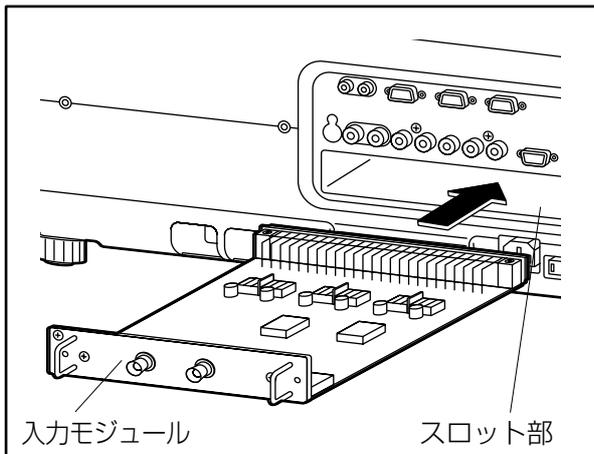
電源を接続しない状態で入力モジュールの取り付けを行ってください。



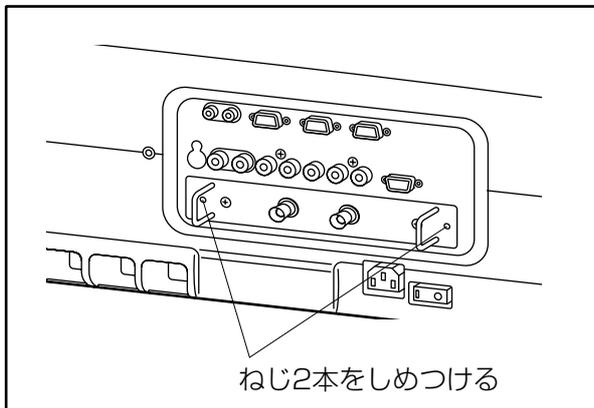
① スロットカバーを外す。



② 入力モジュールを挿入する。



③ 入力モジュールを固定する。

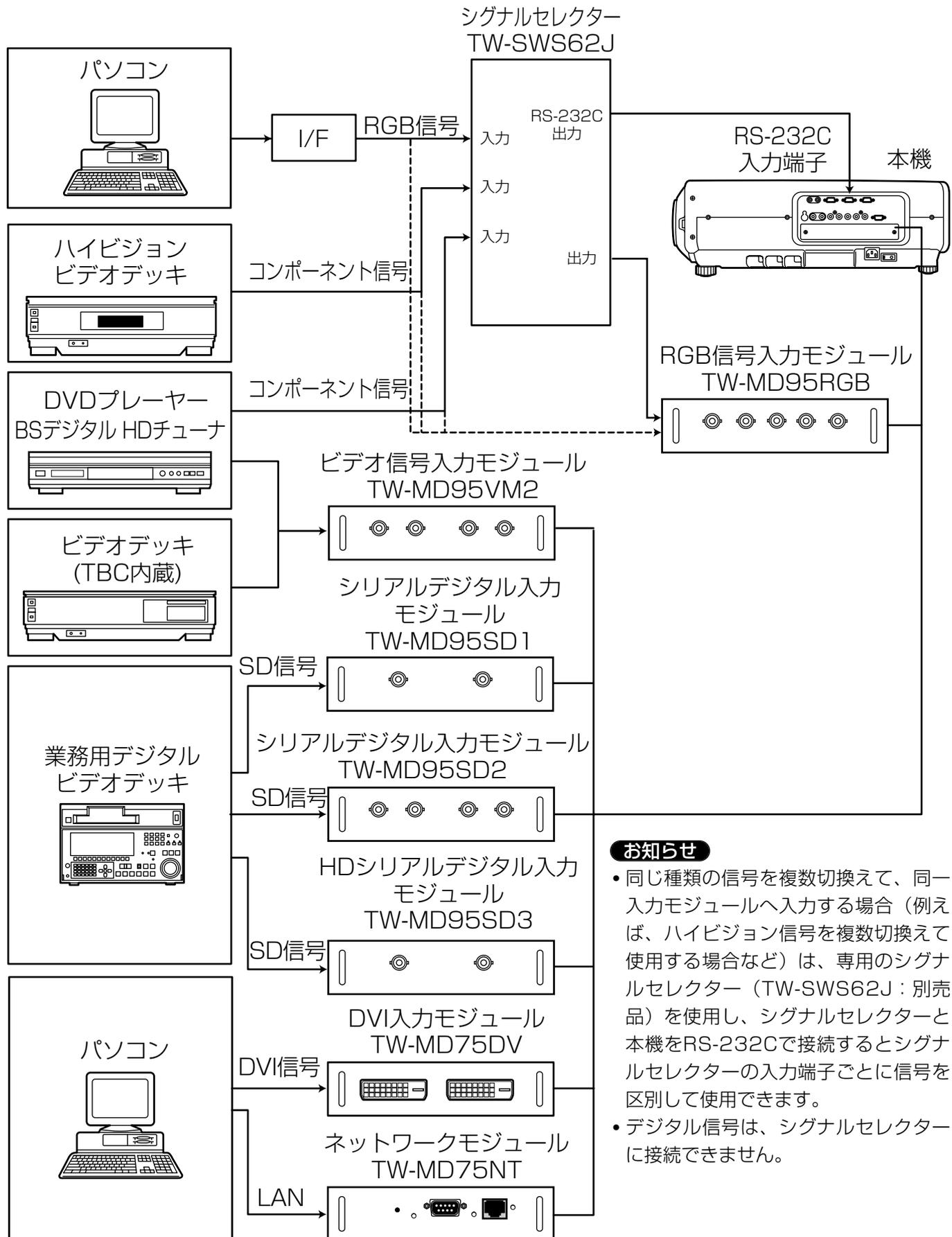


④ 入力信号の登録をする。

本機は入力モジュールを取り付け後、入力信号を登録する必要があります。
〔入力信号の登録は42～45ページをご参照ください。〕

■ 入力モジュールへの信号の接続

本機を設置時は、接続機器に合わせて入力モジュールへの信号の接続が必要です。
 下図を参照のうえ、信号の接続を正しく行ってください。



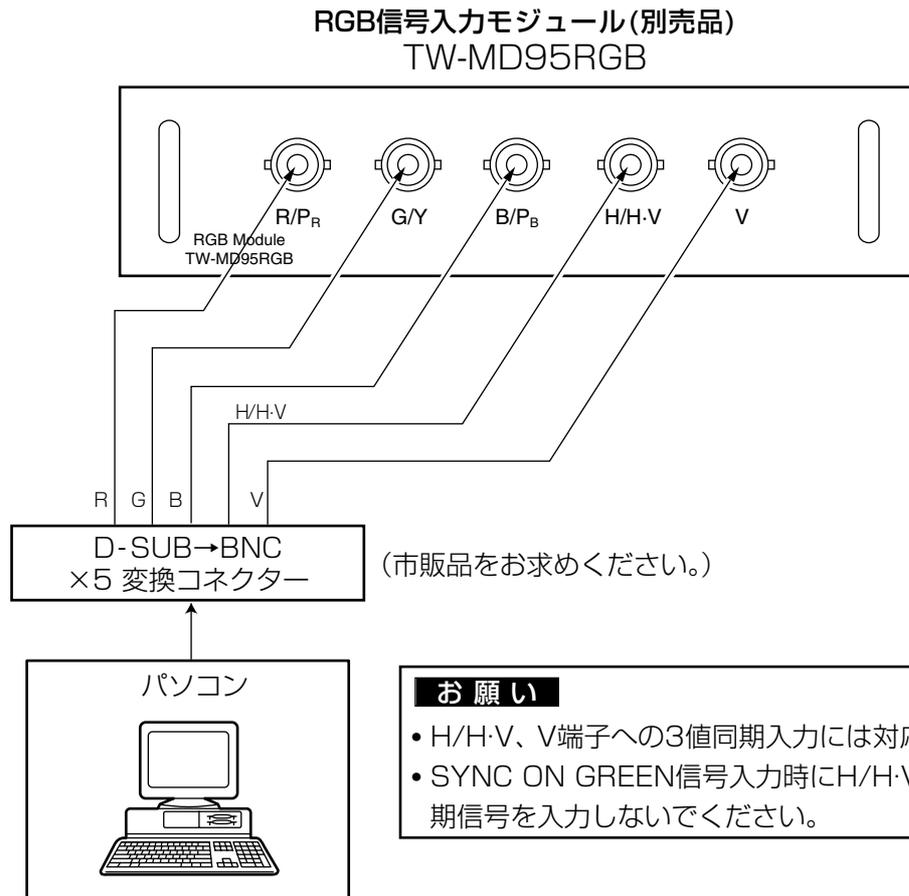
お知らせ

- 同じ種類の信号を複数切換えて、同一入力モジュールへ入力する場合（例えば、ハイビジョン信号を複数切換えて使用する場合は、専用のシグナルセレクター（TW-SWS62J：別売品）を使用し、シグナルセレクターと本機をRS-232Cで接続するとシグナルセレクターの入力端子ごとに信号を区別して使用できます。
- デジタル信号は、シグナルセレクターに接続できません。

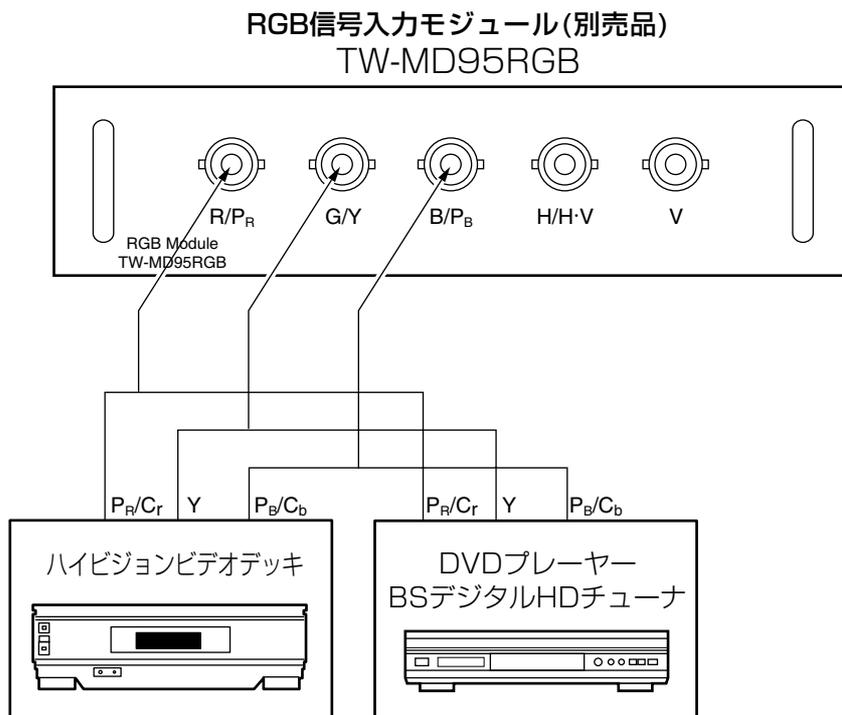
■ アナログRGB信号用入力モジュールへの信号の接続

アナログRGB信号用入力モジュールを使用して、本機とパソコンを接続する場合は、インターフェース（D-SUB → BNC）が必要です。

1. アナログRGB信号接続

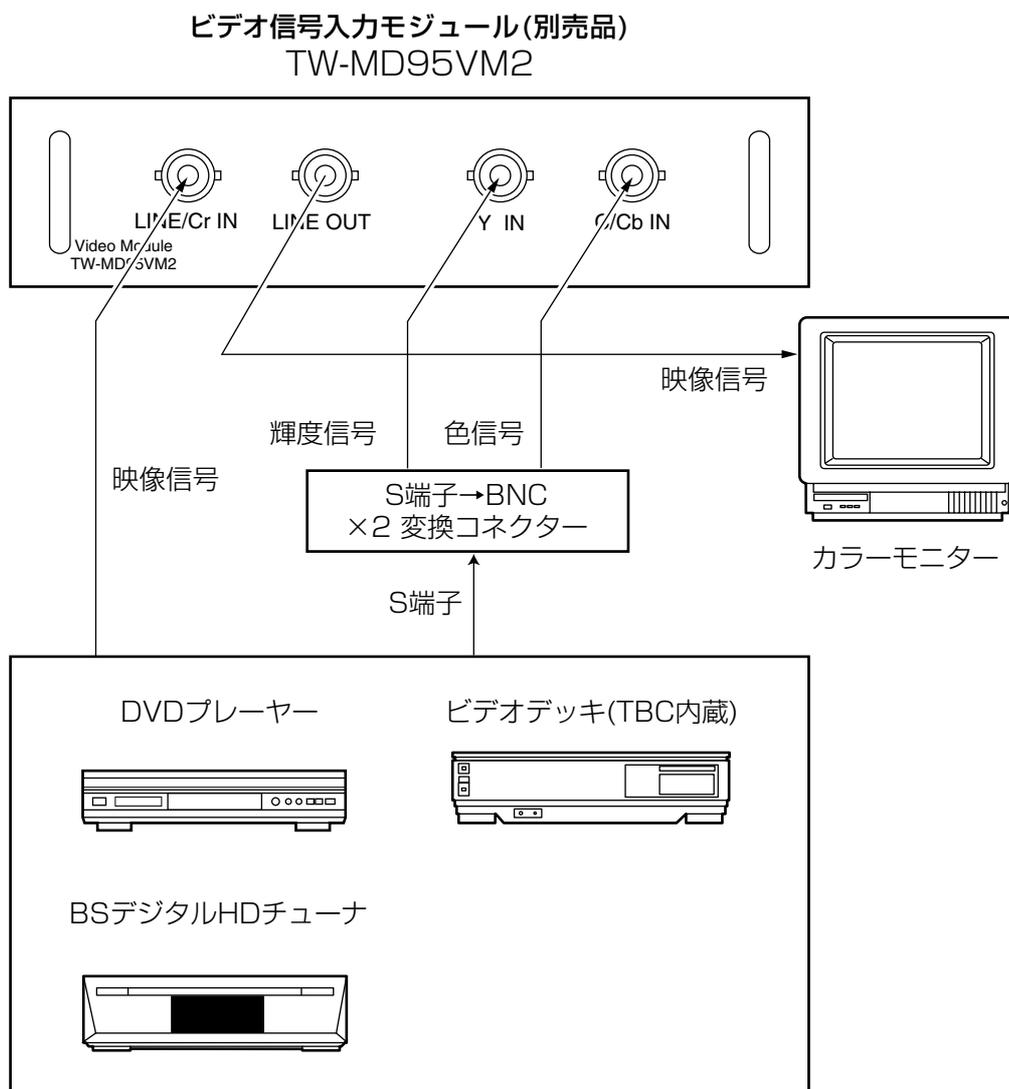


2. コンポーネント信号接続



■ ビデオ信号入力モジュールへの信号の接続

1. ビデオ信号接続



- LINE入力とY/C入力の切換はオプションスロット選択 (AUX) ボタンのトグル切り換えです。

(例) AUXを押すたびに

LINE入力 → Y/C入力

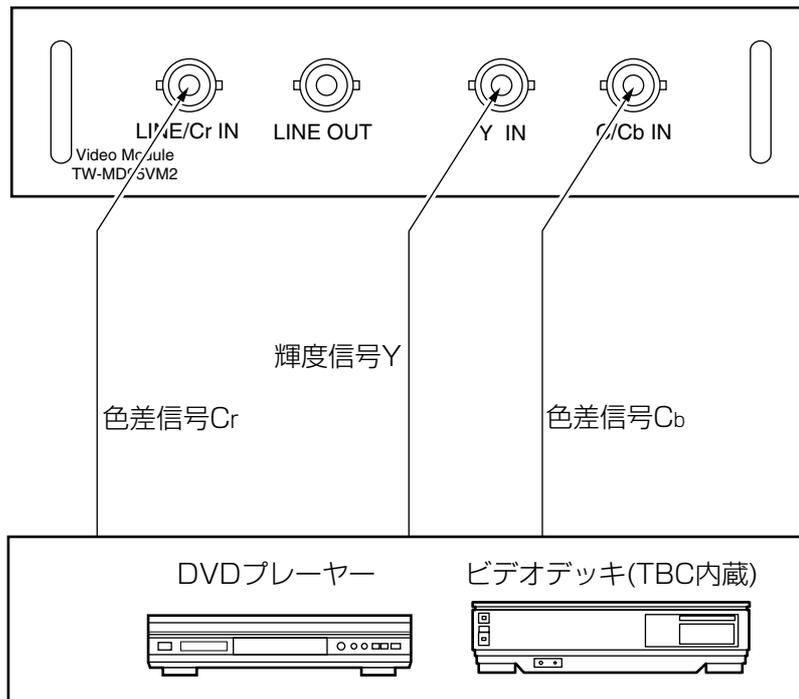


を繰り返します。

- ビデオデッキを接続される際は必ずTBC (タイムベースコレクター) 内蔵のものまたは、本機とビデオデッキの間にタイムベースコレクターを使用してください。
- バースト信号が非標準の信号を接続される際、映像が乱れることがあります。その場合は本機との間にタイムベースコレクターを接続してください。

2. コンポーネント信号接続

ビデオ信号入力モジュール(別売品) TW-MD95VM2

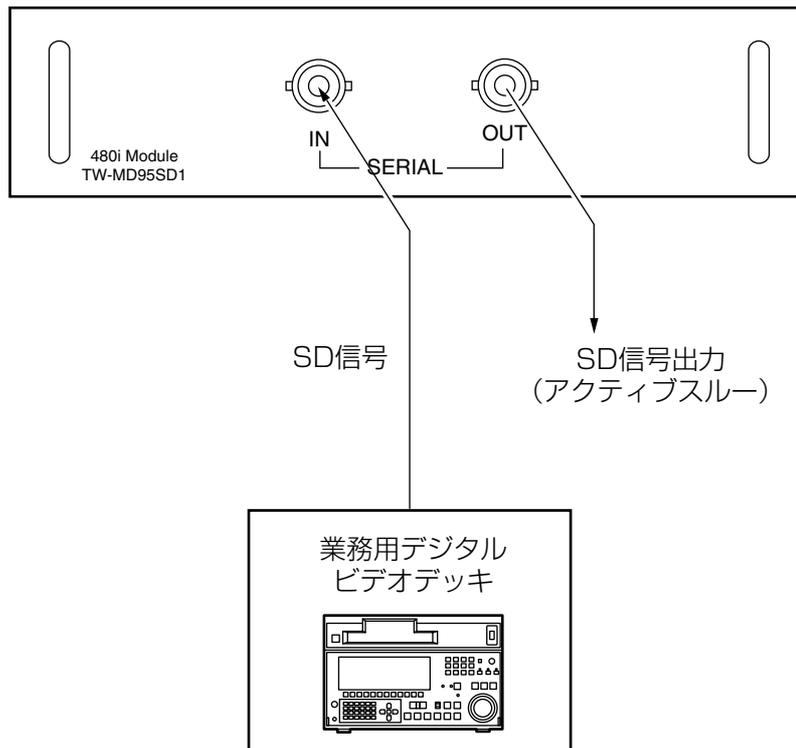


準
備

- ビデオ信号接続とコンポーネント信号接続の切り換えは、79ページのTW-MD95VM2 (別売品) 信号の切り換えをご参照ください。

■ シリアルデジタル信号用入力モジュールへの信号の接続

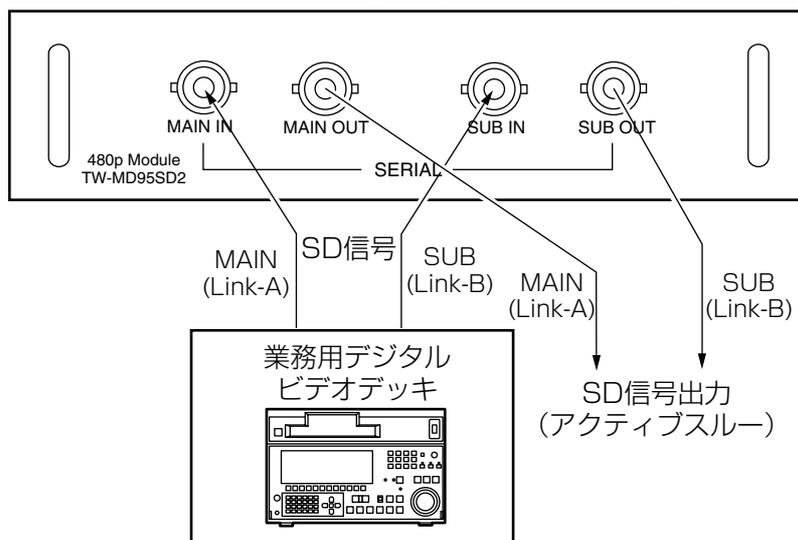
シリアルデジタル入力モジュール(別売品)
TW-MD95SD1 (480i/576i用)



- 入力信号規格に合わせた入力モジュールを装着してください。
- 2種類の信号規格に対応した入力モジュールの方式切り換えは、SYSTEM SELECTORボタンでトグル切り換えを行います。その時、入力信号などはオンスクリーン表示され、自動的に消えます。

1. 480p デュアルリンク(4:2:2p)SMPTE294M準拠、720×483 アクティブライン 59.94 Hz プログレッシブスキャン 270 Mbpsの場合

シリアルデジタル入力モジュール(別売品)
TW-MD95SD2 (480p/480i/576i用)

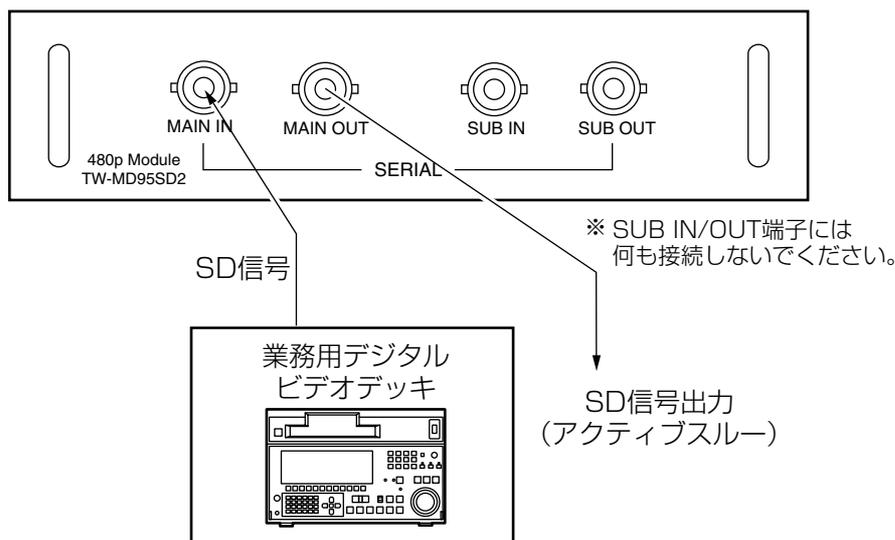


2. 1) 480p シングルリンク(4:2:0p)SMPTE294M準拠、720×483 アクティブライン 59.94 Hz プログレッシブスキャン 360 Mbpsの場合

2) 480i (4:2:2) : SMPTE259M準拠、59.94 Hz 525ライン 270 Mbpsの場合

3) 576i (4:2:2) : SMPTE259M準拠、50 Hz 625ライン 270 Mbpsの場合

シリアルデジタル入力モジュール(別売品)
TW-MD95SD2 (480p/480i/576i用)

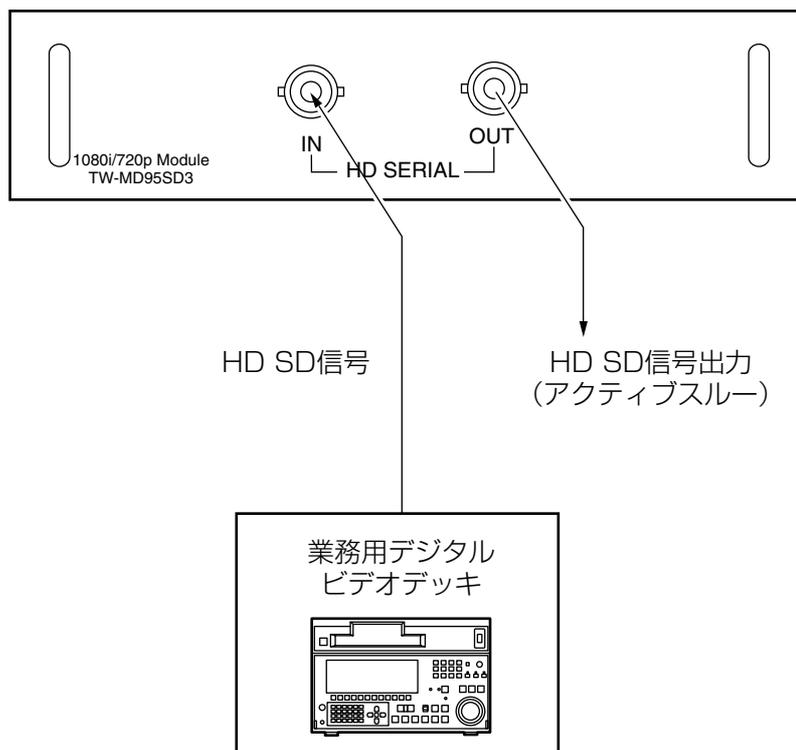


- 入力信号規格に合わせた入力モジュールを装着してください。
- 上記4種類の信号規格に対応した入力モジュールの方式切り換えは、SYSTEM SELECTORボタンでトグル切り換えを行います。その時、入力信号などはオンスクリーン表示され、自動的に消えます。
- 通常、SYSTEM SELECTORは、"AUTO"でご使用してください。
- 上記以外の接続をした場合や不安定な信号を接続した場合は、自動判別が誤動作することがあります。その場合は、SYSTEM SELECTORボタンで信号フォーマットに合った方式に切り換えてください。
- 接続ケーブルは、画像性能を正しく伝達するために3C2W以上のケーブルを使用してください。(例：3C2W, 3CFB, 4CFB, 5C2W, 5CFB, 5CFTX, 7CFB 等。)

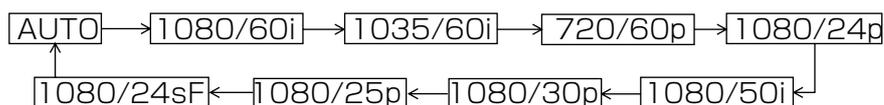
(次ページへつづく)

■ シリアルデジタル信号用入力モジュールへの信号の接続(つづき)

シリアルデジタル入力モジュール(別売品)
TW-MD95SD3 (HD SDI用)



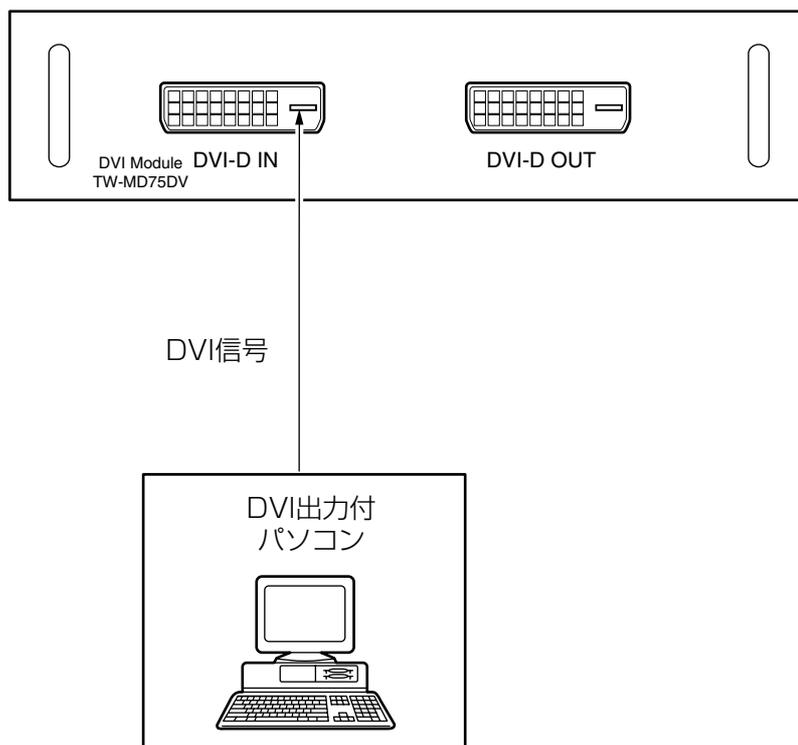
- 入力信号規格に合わせた入力モジュールを装着してください。
- 8種類（14フォーマット）の信号規格（SMPTE292M）に対応した入力モジュールの方式切り換えは、SYSTEM SELECTORボタンでトグル切り換えが可能です。その時、入力信号などはオンスクリーン表示され、自動的に消えます。



- 通常、SYSTEM SELECTORは、"AUTO"でご使用してください。
- 上記以外の接続をした場合や不安定な信号を接続した場合は、自動判別が誤動作することがあります。その場合は、SYSTEM SELECTORボタンで信号フォーマットに合った方式に切り換えてください。
- 接続ケーブルは、画像性能を正しく伝達するために5CFB以上のケーブルを使用してください。（例：5CFB, 5CFTX, 7CFB 等。）

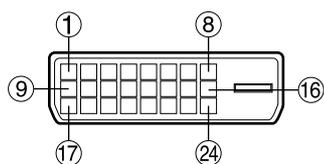
■ DVI信号入力モジュールへの信号の接続

DVI-D入力モジュール(別売品)
TW-MD75DV



準
備

- DVI-D入力端子のピン配列と信号名は、右記のとおりです。(TMDS付パソコン用端子)



外側から見た図

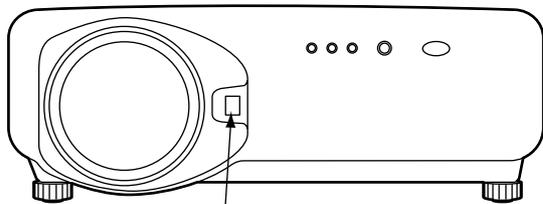
ピンNo.	信号	ピンNo.	信号
①	T.M.D.Sデータ2-	⑬	(T.M.D.Sデータ3+)
②	T.M.D.Sデータ2+	⑭	+5V
③	T.M.D.Sデータ2/ 4シールド	⑮	グラウンド
		⑯	ホットプラグ検出
④	(T.M.D.Sデータ4-)	⑰	T.M.D.Sデータ0-
⑤	(T.M.D.Sデータ4+)	⑱	T.M.D.Sデータ0+
⑥	DDCクロック	⑲	T.M.D.Sデータ0/5 シールド
⑦	DDCデータ		
⑧	—	⑳	(T.M.D.Sデータ5-)
⑨	T.M.D.Sデータ1-	㉑	(T.M.D.Sデータ5+)
⑩	T.M.D.Sデータ1+	㉒	T.M.D.Sクロック シールド
⑪	T.M.D.Sデータ1/3 シールド		
⑫	(T.M.D.Sデータ3-)	㉓	T.M.D.Sクロック+
		㉔	T.M.D.Sクロック-

- DVI-D入力モジュールはシングルリンクのみ対応しています。

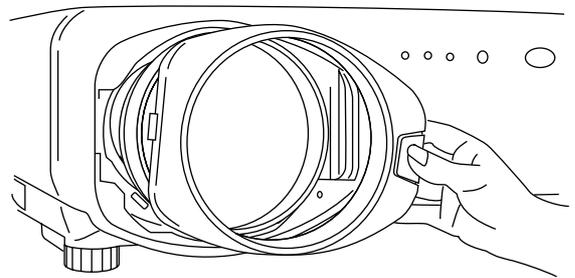
投写レンズ(別売品)の取り付け／取りはずしかた

■ 投写レンズの取り付けかた

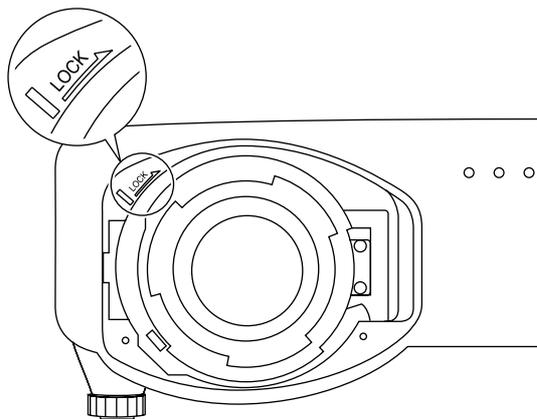
- ① 投写レンズカバーのロックボタンを押しながらカバーを手前に引いてははずす。(図1)
- ② 投写レンズカバー裏側の防塵シートを引いて取りはずす。
- ③ 投写レンズ側目印(橙色)をセット側目印(LOCK)に合わせて差し込む。(図2)
- ④ 「カチッ」と音がするまで時計方向(右回り)に回す。
- ⑤ 投写レンズカバーの左端にあるツメを本機に差し込み、ロックボタンを押しながら投写レンズカバーを取り付ける。(図3)



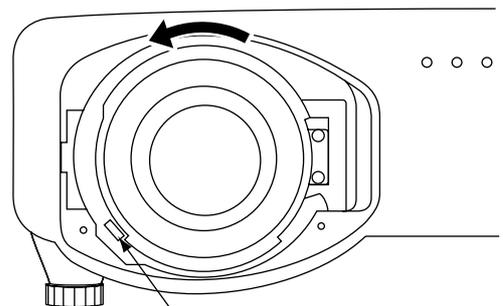
レンズカバーのロックボタン
(図1)



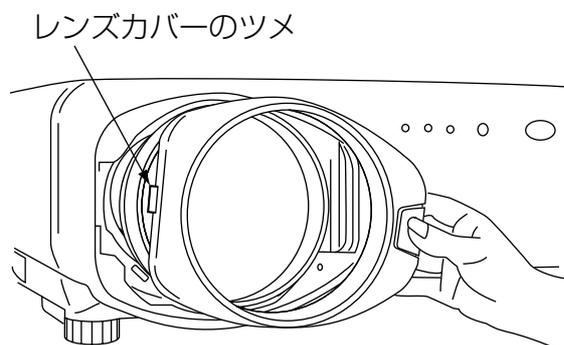
(図4)



(図2)



投写レンズロックボタン
(図5)

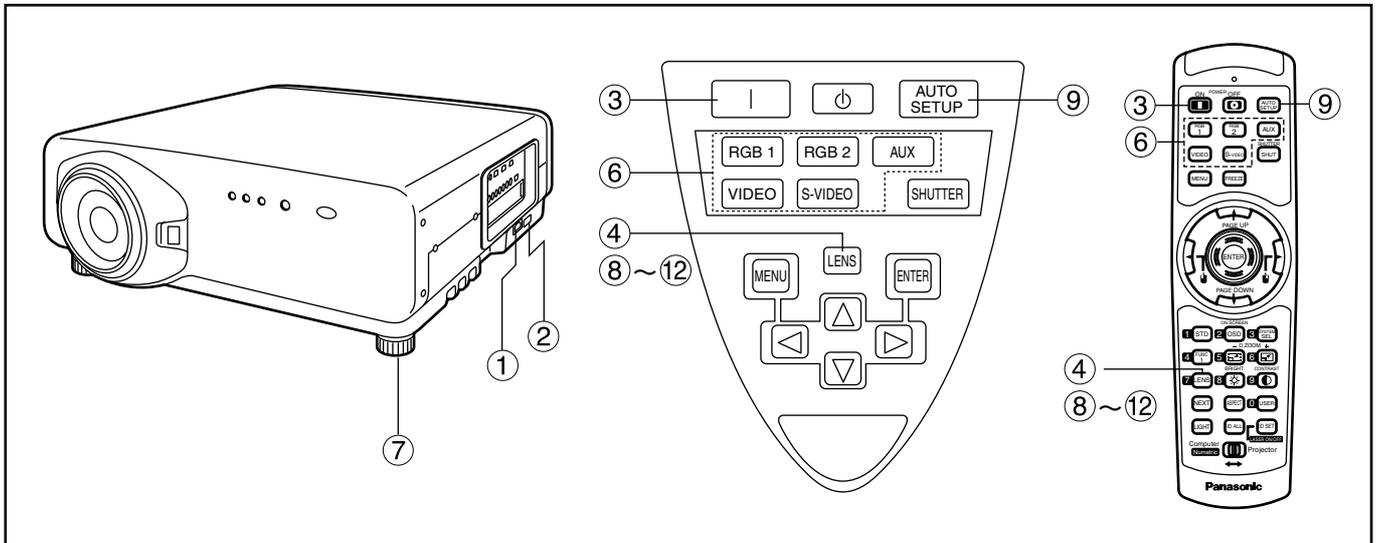


レンズカバーのツメ
(図3)

■ 投写レンズの取りはずしかた

- ① 投写レンズカバーのロックボタンを押しながらカバーを手前に引いてははずす。(ツメを折らないこと)(図4)
- ② 投写レンズロックボタンを押しながら投写レンズを反時計方向(左回り)に回す。(図5)
- ③ 投写レンズを抜き取る。

投写する



■ 電源を入れる

- ① 電源コード(付属)を接続する。
(AC 100 V 50 Hz/60 Hz)
- ② 主電源(MAIN POWER)スイッチの「|」側を押し電源を入れる。
電源表示ランプが赤色に点滅した後、点灯してスタンバイ状態になります。
- ③ 電源入(|)ボタンを押す。… [本体またはリモコン]
電源表示ランプが緑色に点灯し、しばらくすると映像が投写されます。

■ 調整・選択をする

- ④ 画像のフォーカスをおおまかに合わせる。
(39ページ参照)
本体またはリモコンのレンズ(LENS)ボタンを押すとフォーカス調整画面が表示されます。▲ ▼ ◀ ▶ ボタンを押してフォーカスを合わせてください。
- ⑤ 投写方式を設定する。(70ページ参照)
- ⑥ 入力切り換え(RGB 1、RGB 2、VIDEO、S-VIDEO、AUX)ボタンを押して入力信号を選択する。… [本体またはリモコン]
- ⑦ 本体の前後左右の傾きを調整する。
(18ページ参照)
- ⑧ レンズ(LENS)ボタンを2または3回押し、レンズシフトを調整する。
(39ページ参照)

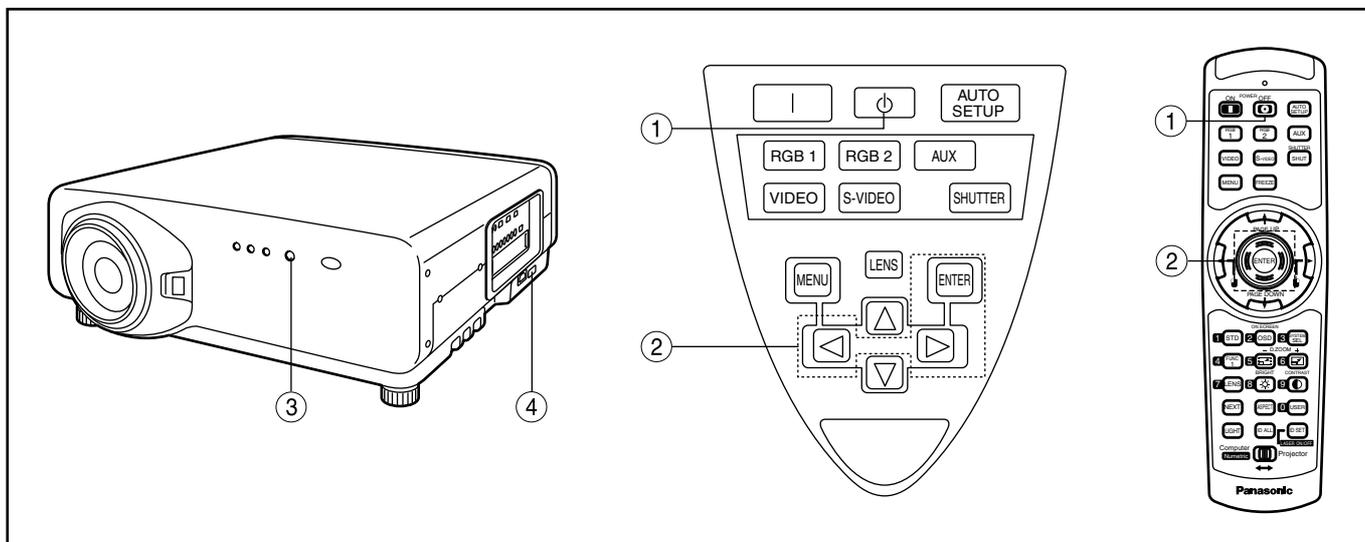
- ⑨ 入力信号がRGB信号の場合はオートセットアップ(AUTO SETUP)ボタンを押す。… [本体またはリモコン]
- ⑩ 画像の大きさをスクリーンに合わせる。
(39ページ参照)
レンズ(LENS)ボタンを2回押し、レンズズーム調整メニューでレンズズームを調整してください。
- ⑪ レンズ(LENS)ボタンを押し、レンズフォーカス調整メニューでレンズフォーカスを調整する。
- ⑫ 再度ズーム調整メニューを表示し、レンズズームを調整して画像の大きさをスクリーンに合わせる。(39ページ参照)

お知らせ

- 0℃付近での電源「入」は出画までに5分程度のウォームアップ時間が必要な場合があります。ウォームアップ中は温度モニター(TEMP)ランプが点灯します。ウォームアップが完了すると温度モニター(TEMP)ランプが消灯し、映像を投写します。
- 使用環境温度が低く、ウォームアップ時間が5分を超える場合は、異常とみなし、自動的に電源を「切」にします。この場合は使用環境温度を0℃以上にし、再度主電源「入」→電源「入」(|)の操作を行ってください。
- AUXボタンは、オプション入力モジュールが装着されていないときは無効です。

準備

使いかた



■ 電源の切りかた

- ① 電源切(⏻)ボタンを押す。
- ② ◀ ▶ ボタンで「実行」を選び、エンター(ENTER)ボタンを押す。
(または電源切(⏻)ボタンを再度押す)
映像の投写が停止し、本体の電源表示ランプが橙色に点灯します。(冷却ファンは回転したままです。)
- ③ 本体の電源表示ランプが赤色に点灯(冷却ファンが停止)するまで待つ。(約4分)
冷却ファンが回転している間は絶対に主電源(MAIN POWER)スイッチを切ったり、電源コードを抜いたりしないでください。
- ④ 主電源(MAIN POWER)スイッチの「○」側を押して電源を切る。

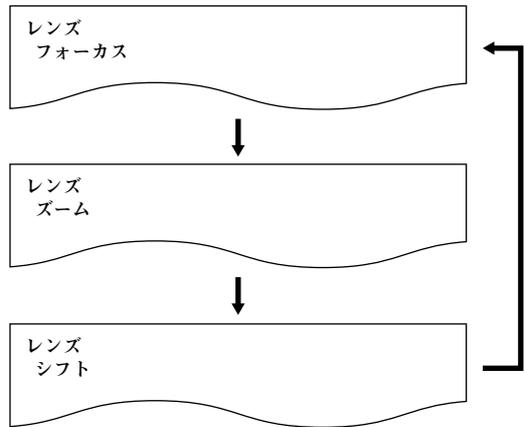
お知らせ

- 電源を切った後の光源ランプ冷却中に電源を入れても点灯しません。この場合は光源ランプ冷却が終了した後、再度電源を入れ直してください。
- スタンバイ状態で冷却ファンが停止した状態でも約12 Wの電力を消費しています。
(電源表示ランプ…赤点灯)
- 使用中に間違って主電源を切った場合、電源を入れてもランプが点灯しないことがあります。この場合は、しばらくたってから再度電源を入れ直してください。

レンズ調整のしかた

■ レンズフォーカス調整、レンズズーム調整、レンズ位置移動(光学シフト)の調整のしかた

本機とスクリーンの位置関係が正しく設置された状態で、スクリーンに投写された映像のフォーカス、ズーム、位置がずれている場合は、フォーカス調整、ズーム調整、上下左右に投写位置を移動させる調整ができます。



- ① リモコンまたは本体操作部のレンズ (LENS) ボタンを押す
ボタンを押すごとに「レンズフォーカス」「レンズズーム」「レンズシフト」の順に設定画面が切り換わります。
- ② それぞれの調整項目を選び、▲ ▼ ◀ ▶ ボタンで調整する

⚠ 注意

 レンズシフト動作中は、周辺の開口部に手を挟まれないよう注意してください。

お知らせ

- レンズズーム調整メニューは、ズーム機能付きのレンズを使用しているときのみ表示されます。

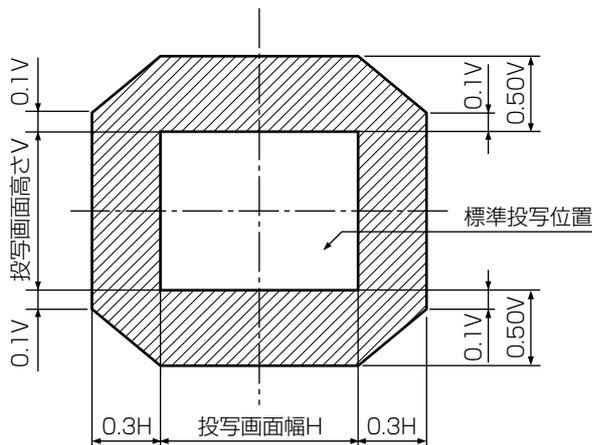
使
い
か
た

■ レンズ位置移動による(光学シフト)調整範囲

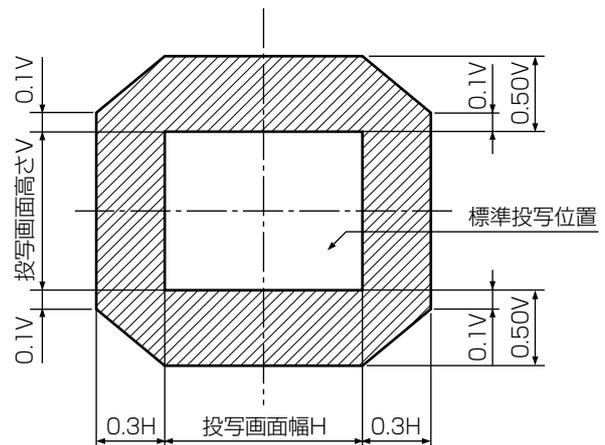
レンズ位置の移動は調整範囲内で行ってください。調整範囲外へレンズ位置を移動すると、フォーカスが変化するためご注意ください。これは光学部品の保護のためにレンズの移動を規制しているためです。

光軸シフト機能により、標準投写位置を基準に下図の範囲で投写位置を調整できます。

床置き設置の場合



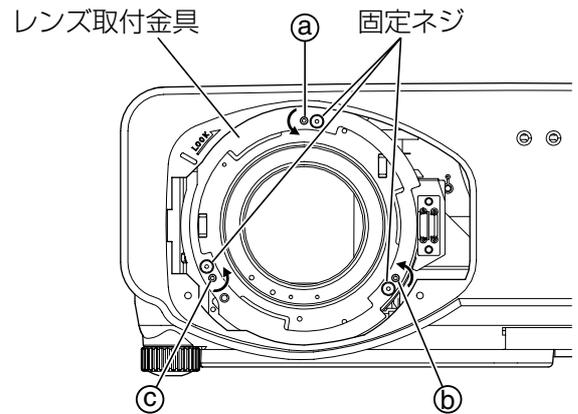
天つり設置の場合



■ フォーカスアンバランス時のレンズ調整のしかた

スクリーン上のフォーカスが場所によって合っていない（スクリーン奥に存在する）場合、調整ネジを回転させてレンズの傾きを調整することにより、フォーカスのバランスを合わせてください。

- ① レンズカバーとレンズを取りはずす
(36ページ参照)
- ② レンズ取付け金具の固定ネジ (3本) を2回転程度ゆるめる
※使用工具：
六角ドライバーまたは六角レンチ (対角2.5mm)
- ③ 取りはずしたレンズを取り付ける
- ④ フォーカスアンバランス調整ネジ a、b、c を左へ回転させて、レンズの傾きを調整する
※使用工具：
六角ドライバーまたは六角レンチ (対角2.5mm)

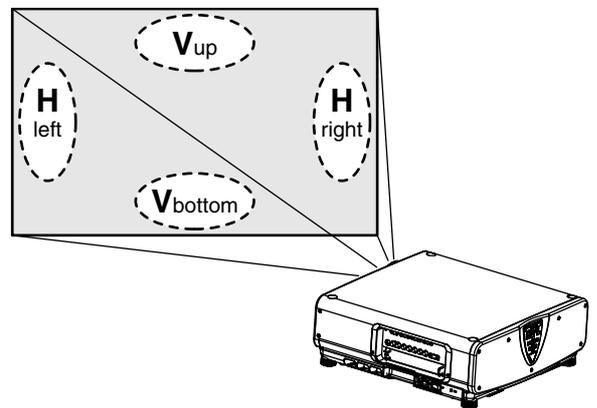


(調整ネジ a、b、c はレンズ装着状態で調整します)

() は天吊りの場合です

	V upが合っていない場合	V bottomが合っていない場合	H rightが合っていない場合	H leftが合っていない場合
a	— (左回転)	左回転 (—)	— (—)	— (—)
b	左回転 (—)	— (左回転)	左回転 (—)	— (左回転)
c	左回転 (—)	— (左回転)	— (左回転)	左回転 (—)

(例) スクリーン上側 (V up) のフォーカスが合っていない（スクリーン奥に存在する）場合：
スクリーン上下のバランスを確認しながら、フォーカスアンバランス調整ネジ b、c を少しずつ左回転させます。



- お願い**
- プロジェクターを移動する時には、固定ネジ (3本) をしめて、レンズ取付け金具を固定してください。

オートセットアップ(AUTO SETUP)機能について

オートセットアップ(AUTO SETUP)機能は、コンピューター信号のようなドット構成されたアナログRGB信号を入力したとき、解像度、クロックフェーズ、映像位置を自動で調整するものです。(アナログRGB信号以外の信号や動画入力では自動調整はできません。)

自動調整時は、最外郭が明るい白枠で、白黒がはっきりしたキャラクタ文字などを含む画像を入力することをお勧めします。写真やCGのような中間調を含む画像は適しません。

- お知らせ**
- 正常に終了した場合は「自動調整OK」と表示されます。
 - 正常終了した場合でも「クロックフェーズ」がずれることがあります。
このときは「クロックフェーズ」を手動で調整してください。
 - 画面の端がわからないような画像や暗い画像を入力すると、「自動調整NG」と表示され自動調整できません。
このときは「入力解像度」「クロックフェーズ」「シフト」の項目を手動で調整してください。
 - 特殊な信号や16:9などの横長の信号は、オプションメニューの中の「自動調整」に従って調整してください。
 - パソコンの機種によっては自動調整できない場合があります。
 - C-SYNCやG-SYNCの同期信号では自動調整できない場合があります。
 - 自動調整中約4秒間画像が乱れる場合がありますが異常ではありません。
 - 入力信号ごとに調整が必要です。
 - 自動調整中にメニュー(MENU)ボタンを押すと、自動調整を取り消すことができます。

入力信号データの登録

本機は工場出荷時は入力信号データの登録はされていないので、必ず登録が必要です。

■ 新規登録

新規信号が入力され、リモコンまたは本体操作部のメニュー(MENU)ボタンを押すと登録が完了し、「メインメニュー」画面が表示されます。

- お知らせ**
- 登録できる入力信号数は96個です。
 - 取り付けた入力モジュールに対応した信号を入力して登録します。
 - メモリー番号は12ページ(A~L各8メモリー、1ページに8メモリーが可能)あり、空いているメモリーの中で若い番号に登録されます。メモリーの空きがない場合は古い信号から順番に上書きされます。
 - 登録の名前は入力信号とメモリー番号により自動で決定されます。

■ 登録信号の名前の変更

メインメニュー	
映像	
位置調整	
アドバンスドメニュー	
表示言語(LANGUAGE)	
オプション	
テストパターン	
登録信号一覧	
セキュリティ	

▲▼:項目選択 ENTER:サブメニュー

登録信号一覧		
A1:SVGA72-A1	RGB1	---
A2:SVGA72-A2	RGB1	---
A3:SVGA72-A3	RGB1	---
A4:SVGA72-A4	RGB1	---
A5:SVGA72-A5	RGB1	---
A6:SVGA72-A6	RGB1	---
A7:SVGA72-A7	RGB1	---
A8:SVGA72-A8	RGB1	---

▲▼◀▶:選択 ENTER:詳細 STD:削除

登録信号詳細	
名前:	SVGA72-A2
メモリー番号:	A2
S.S.番号:	---
入力番号:	RGB1
fH:	48.08kHz
fV:	72.17Hz
同期極性:	水平(正) 垂直(正)

ENTER:名前の変更

- ① **メニュー(MENU)ボタンを押す**
「メインメニュー」画面を表示します。
- ② **▲ ▼ ボタンで「登録信号一覧」を選択する**
- ③ **エンター(ENTER)ボタンを押す**
「登録信号一覧」画面を表示します。メモリーは12ページ(A~L各1~8の96メモリー)あります。
- ④ **▲ ▼ ◀ ▶ ボタンで詳細を表示したい信号を選択する**
- ⑤ **エンター(ENTER)ボタンを押す**
「登録信号詳細」画面を表示します。

- お知らせ**
- 入力信号の名前、メモリー番号、シグナルセクター入力番号、入力端子、周波数、同期信号などを自動判別し、表示します。
 - メニュー(MENU)ボタンを押すと「登録信号一覧」画面に戻ります。

登録信号名変更

名前： SVGA72-A2
 メモリー番号： A2
 S.S.番号： ---
 入力番号： RGB1
 fH： 48.08kHz
 fV： 72.17Hz
 同期極性： 水平 (正)
 垂直 (正)

◀▶:桁移動 ▲▼:文字選択 ENTER:確定 MENU:中止

- ⑥ エンター(ENTER)ボタンを押す
「登録信号名変更」画面を表示します。
- ⑦ ◀ ▶ ボタンで1文字ずつ選び、▲ ▼ ボタンで文字や数字を設定し(自動表示された名前を削除する場合はスタンダード(STD)ボタンを押す)、名前の変更が完了すればエンター(ENTER)ボタンを押す
登録が完了し「登録信号詳細」画面に戻ります。

お知らせ • エンター(ENTER)ボタンのかわりにメニュー(MENU)ボタンを押すと変更した信号名は登録されず、自動表示された信号名のままになります。

■ 登録した信号を消去する

メインメニュー

映像
位置調整
アドバンスドメニュー
表示言語(LANGUAGE)
オプション
テストパターン
登録信号一覧
セキュリティ

▲▼:項目選択 ENTER:サブメニュー

登録信号一覧

A1:SVGA72-A1	RGB1	---
A2:SVGA72-A2	RGB1	---
A3:SVGA72-A3	RGB1	---
A4:SVGA72-A4	RGB1	---
A5:SVGA72-A5	RGB1	---
A6:SVGA72-A6	RGB1	---
A7:SVGA72-A7	RGB1	---
A8:SVGA72-A8	RGB1	---

▲▼▶:選択 ENTER:詳細 STD:削除

登録信号削除

よろしいですか？

名前： SVGA72-A2
 メモリー番号： A2
 S.S.番号： ---
 入力番号： RGB1
 fH： 48.08kHz
 fV： 72.17Hz
 同期極性： 水平 (正)
 垂直 (正)

ENTER：実行 MENU：中止

- ① メニュー(MENU)ボタンを押す
「メインメニュー」画面を表示します。
- ② ▲ ▼ ボタンで「登録信号一覧」を選択する
- ③ エンター(ENTER)ボタンを押す
「登録信号一覧」画面を表示します。メモリーは12ページ(A~L各1~8の96メモリー)あります。
- ④ ▲ ▼ ◀ ▶ ボタンで消去する信号を選択する
- ⑤ スタンダード(STD)ボタンを押す
「登録信号削除」画面を表示します。
消去しない場合はメニュー(MENU)ボタンを押すと「登録信号一覧」画面に戻ります。
- ⑥ エンター(ENTER)ボタンを押す
④で選択した信号が消去されます。

使
い
か
た

■ サブメモリーについて

本機は同期信号源の周波数や形態により同一信号と判断した場合でも画像調整データを複数登録できるサブメモリー機能を持っています。

同一信号源によるアスペクト切り換えやホワイトバランス等、画質調整が必要な場合にご使用ください。

サブメモリーには画面アスペクト比、映像調整データ(BRIGHT、CONTRAST等)など各信号ごとに調整できるデータすべてを含みます。

サブメモリーへの登録方法

新規信号ではサブメモリーを登録できません。必ず信号登録をしてください。

サブメモリー一覧	
1-1 :	SXGA60-A1
1-2 :	SXGA60-A2
1-3 :	---
1-4 :	---
1-5 :	---
1-6 :	---
1-7 :	---
1-8 :	---

▲▼◀▶:選択 ENTER:切換 STD:削除

↓

サブメモリー登録しますか？	
名前 :	SXGA60-A1
メモリー番号 :	--
S.S.番号 :	---
入力番号 :	RGB1
fH :	48.00kHz
fV :	60.00Hz
同期極性 :	水平 (正) 垂直 (正)

ENTER:実行 MENU:中止

- ① 通常画面(メニューが表示されていない状態)においてユーザー(USER)ボタンを押す

(サブメモリーが登録されていない場合は「サブメモリー登録確認」画面を表示します)

現在入力している信号に対して登録されているサブメモリーの一覧が表示されます。

- ② 「サブメモリー一覧」において ▲ ▼ ◀ ▶ ボタンで登録するサブメモリー番号を選択する

- ③ エンター(ENTER)ボタンを押す
「登録信号名変更」画面を表示します。

- ④ エンター(ENTER)ボタンを押す

お知らせ • 登録信号の名前を変更する場合は、43ページの⑦を行ってください。

サブメモリーへの切り換え方法

- ① 通常画面(メニューが表示されていない状態)においてユーザー(USER)ボタンを押す

現在入力している信号に対して登録されているサブメモリーの一覧が表示されます。

- ② 「サブメモリー一覧」において ▲ ▼ ◀ ▶ ボタンで切り換える信号を選択する

- ③ エンター(ENTER)ボタンを押す

② で選択した信号に切り換わります。

サブメモリーの削除方法

「登録信号一覧」または「サブメモリー一覧」にてスタンダード(STD)ボタンを押すことにより、現在選択されているサブメモリーを削除します。

オンスクリーン表示

① 入力切り換え／信号切り換え

信号切り換え時のステータス画面に登録信号名を表示します。

名前:	RGB
メモリー番号:	A1(1-2)
S.S.番号:	---
入力番号:	RGB1

② 登録信号詳細

登録信号詳細	
名前:	SXGA60-A1
メモリー番号:	?? (1-2)
S.S.番号:	---
入力番号:	RGB1
fH:	48.00kHz
fV:	60.00Hz
同期極性:	水平 (正)
	垂直 (正)
ENTER:名前の変更	

名称はサブメモリーごとに設定可能です。

メモリー番号: A1(1-2)

サブメモリー番号

アドレス番号(A1、A2、…H7、H8):
信号が登録されている場所

使
い
か
た

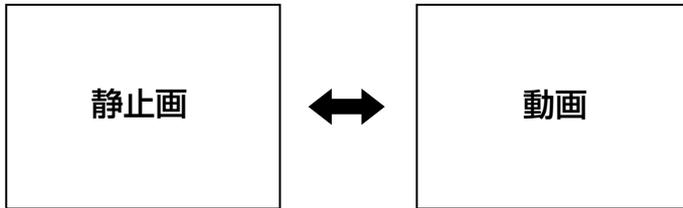
お知らせ

制限事項

本機に対して登録できるサブメモリーは基本信号を含めて96個までです。

フリーズ(FREEZE)機能を使う

リモコンのフリーズ(FREEZE)ボタンを押すごとに静止画と動画を切り換えます。



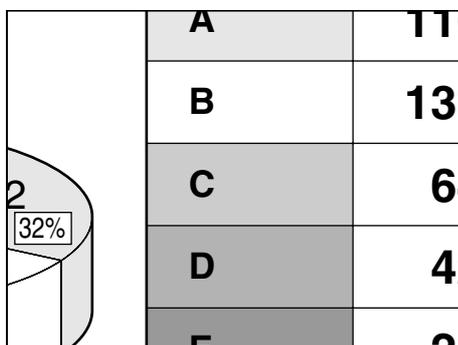
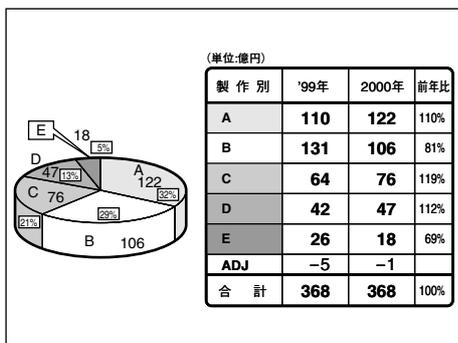
シャッター(SHUTTER)機能を使う

会議の休憩時間や準備などの一定時間だけ本機を使用しない場合には、映像を一時的に消すことができるシャッターモードにすることができます。

- ① リモコンまたは本体操作部のシャッター(SHUTTER)ボタンを押す。
映像が消えます。
- ② 再度シャッター(SHUTTER)ボタンを押す。
映像が出ます。

デジタルズーム(- D.ZOOM +)機能を使う

リモコンのデジタルズーム(- D.ZOOM +)ボタンを押すことで映像を部分的に拡大できます。拡大したい部分をスポット表示することでプレゼンテーション時の演出効果を出すことができます。



- ① リモコンのデジタルズーム(- D.ZOOM +)ボタンを押す。
映像を拡大して表示します。
- ② デジタルズーム(- D.ZOOM +)ボタンで倍率を変える。
倍率は1.0倍~3.0倍まで調整できます。
- ③ ▲ ▼ ◀ ▶ ボタンで拡大した画面を移動させる。
- ④ メニュー(MENU)ボタンを押し、元の画面に戻す。

- お願い**
- デジタルズームされた状態は記憶されません。
 - デジタルズーム中に入力信号の種類が変わるとデジタルズーム機能が解除されます。

オンスクリーンメニューについて

■ メニュー画面一覧

本機では、各種設定や調整および変更はメニュー操作によって実行されます。
本機のメニュー全体の構成は下図のとおりです。

メインメニュー

メインメニュー	
映像	_____
位置調整	_____
アドバンスドメニュー	_____
表示言語(LANGUAGE)	_____
オプション	_____
テストパターン	_____
登録信号一覧	_____
セキュリティ	_____

▲▼:項目選択 ENTER:サブメニュー

映像 (49~54ページ)

映像	
映像モード	ダイナミック
色の濃さ	50
色あい	30
色温度設定	デフォルト
ガンマ選択	2.2
ピクチャー	32
黒レベル	32
シャープネス	6
ノイズリダクション	2
ダイナミックアイリス	1

▲▼:項目選択 ◀▶:切換 ENTER:登録

セキュリティ (84ページ)

登録信号一覧 (42、43ページ)

登録信号一覧			
A1	: XGA67-A1	RGB1	----
A2	: NTSC-A2	VIDEO	----
A3	: SVGA60-A3	RGB1	----
A4	: VGA60-A4	RGB1	----
A5	: VGA70-A5	RGB1	----
A6	: SVGA51-A6	RGB1	----
A7	: XGA60-A7	AUX	----
A8	: PAL-A8	VIDEO	----

▲▼◀▶:選択 ENTER:詳細 STD:削除

位置調整 (55~58ページ)

位置調整	
シフト	_____
サイズ	標準
クロックフェーズ	0
台形補正	_____

▲▼:項目選択 ENTER:サブメニュー

テストパターン (83ページ)

オプション (69~78ページ)

オプション	
プロジェクターID	2
設置設定	フロント-床置
ランプ選択	デュアル
ランプ出力	高
RS232C設定	_____
オンスクリーン位置	2
システム情報	_____
カラーマッチング	オフ
ビデオ設定	_____
自動調整	_____

▲▼:項目選択 ◀▶:切換

アドバンスドメニュー (59~66ページ)

アドバンスドメニュー	
デジタルシネマリアリティ	自動
フォーマット	SMPTE
プランキング	_____
入力解像度	_____
クランプ位置	_____
エッジブレンディング	オフ
同期信号終端抵抗	75Ω
ラスター位置	_____

▲▼:項目選択 ◀▶:切換

オプション

出力解像度	SXGA+
入力自動セットアップ	オン
ファン制御	標準
P IN P	オフ
FUNC1	P IN P
パスワード入力	_____

▲▼:項目選択 ◀▶:切換

表示言語 (66ページ)

表示言語	
ENGLISH	_____
DEUTSCH	_____
FRANÇAIS	_____
ESPAÑOL	_____
ITALIANO	_____
日本語	_____
中文	_____
русский	_____
한국어	_____

▲▼:選択 ENTER:確定

使
い
か
た

■ メニュー画面の基本操作

① メニュー(MENU)ボタンを押す。

メインメニュー画面を表示します。



② ▲ ▼ ボタンを押して項目を選択する。

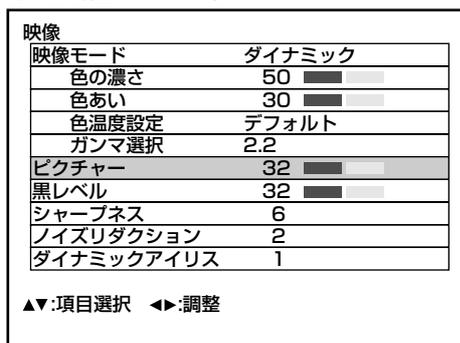
選択中の項目は青色で表示します。



③ エンター(ENTER)ボタンを押して決定する。

選択したメニュー画面の詳細が表示されます。

(例：映像メニュー)



④ ▲ ▼ ボタンを押して項目を選択し、 ◀ ▶ ボタンを押して設定の切り換えや調整をする。

「色の濃さ」「色あい」「ピクチャー」「黒レベル」の項目は、エンター(ENTER)ボタンを押すと下図のようなバースケールの個別調整画面が表示されます。



- 個別調整画面表示中、約5秒間ボタン操作をしないと、前の画面に戻ります。

■ 前の画面に戻すには

- メニュー画面が表示されている状態のときにメニュー(MENU)ボタンを押すと前の画面に戻ります。
- メインメニュー画面が表示されている状態のときメニュー(MENU)ボタンを押すとメニュー画面が消えます。

■ メニュー画面の項目の灰色文字表示について

- 本機に入力される信号によっては、調整できない項目や使用できない機能があります。調整または使用できない状態のときは、メニュー画面の項目が灰色文字で表示され、項目は選択できません。

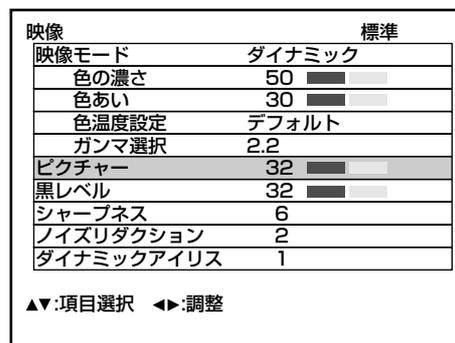
■ メニュー画面の表示について

- 選択された項目によりメニューの最下部の表示が異なります。
 - 設定の切り換え時は「◀ ▶ 切換」と表示されます。
 - バースケール(調整)項目は「◀ ▶ 調整」と表示されます。
- 「オプション」画面表示で項目の下または上に ▼ や ▲ が表示される場合は、調整(項目)に続きがあることを示します。

■ 調整値を工場出荷状態に戻す

調整項目を選び、スタンダード(STD)ボタンを押すと、調整値が工場出荷状態に戻ります。

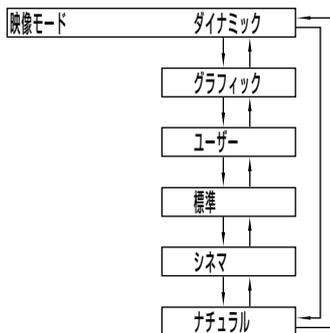
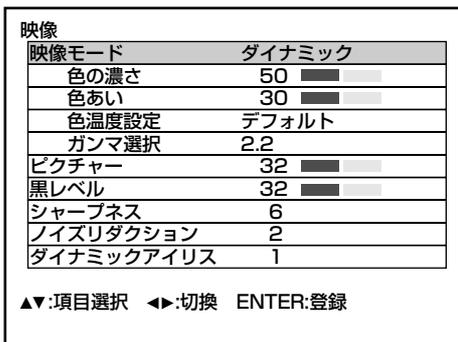
- メニュー画面表示時
メニューの右上に「標準」と表示されます。



映像の調整

■ 映像モードの切り換え

映像ソースや本機を使用する環境に適した見やすい映像に切り換えることができます。



- ① **メニュー(MENU)ボタンを押す**
「メインメニュー」画面を表示します。
- ② **▲ ▼ ボタンで「映像」を選択する**

- ③ **エンター(ENTER)ボタンを押す**
「映像」画面を表示します。

- ④ **▲ ▼ ボタンで「映像モード」を選択する**
- ⑤ **◀ ▶ ボタンで「映像モード」を切り換える**

ダイナミック：明るい場所で使用する場合に適した画像になります。

グラフィック：パソコン入力に適した画像になります。

ユーザー：色の濃さ、色あい、色温度設定、ガンマ選択を調整することができます。

標準：動画系全般に適した画像になります。

シネマ：映画ソースに適した画像になります。

ナチュラル：sRGBに準拠した画像になります。

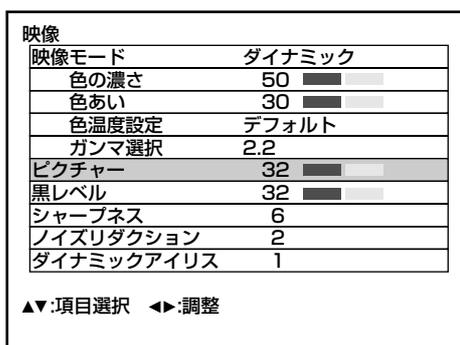
- 工場出荷モードは、RGB系では「グラフィック」、動画系では「標準」です。
- 「映像モード」を選択した状態でエンター(ENTER)ボタンを押すと、新規信号入力時の既定値として保存することができます。保存されるデータは「色の濃さ」「色あい」「色温度設定」「ガンマ選択」です。

使
い
か
た

以下の調整手順でお好みの映像調整ができます。

■ ピクチャー／黒レベル／色の濃さ／色あいの調整

調整手順・・・ピクチャー（色の明暗度）調整の場合



- ① メニュー(MENU)ボタンを押す
「メインメニュー」画面を表示します。
- ② ▲ ▼ ボタンで「映像」を選択する
- ③ エンター(ENTER)ボタンを押す
「映像」画面を表示します。
- ④ ▲ ▼ ボタンで「ピクチャー」を選択する
- ⑤ エンター(ENTER)ボタンを押す
「ピクチャー」個別調整画面を表示します。
- ⑥ ◀ ▶ ボタンでレベルを調整する
調整項目によりボタンの機能が変わりますので、
下表を参照してください。
- ⑦ 「黒レベル」「色の濃さ」「色あい」の各項目を調整したいときは、④⑤⑥をくり返す
「ピクチャー」と「黒レベル」を調整する場合は、
リモコンでも個別調整画面になります。下表を参照してください。
- ⑧ 調整した映像モードの設定を既定値として登録したいときは、次ページの手順④以降の操作を行う

調整項目	操作	変化内容	調整範囲	備考
ピクチャー	▶ ボタンを押す	画面が明るく映像が濃くなります	最大値63	リモコンではコントラスト (CONTRAST)ボタン
	◀ ボタンを押す	画面が暗く映像がうすくなります	最小値 0	
黒レベル	▶ ボタンを押す	画面の暗い部分(黒色)が明るくなります	最大値63	リモコンではブライト (BRIGHT)ボタン
	◀ ボタンを押す	画面の暗い部分(黒色)が暗くなります	最小値 0	
色の濃さ	▶ ボタンを押す	色が濃くなります	最大値100	
	◀ ボタンを押す	色がうすくなります	最小値 0	
色あい	▶ ボタンを押す	色あいが変化し肌色が赤紫色がかります	最大値60	
	◀ ボタンを押す	色あいが変化し肌色が緑色がかります	最小値 0	

お知らせ ・ 個別調整画面表示中、約5秒間ボタン操作しないと「映像」画面に戻ります。

■ 映像モード設定の既定値登録

調整手順(前ページ)に従って調整した画面の設定を登録することができます。

メインメニュー

映像
位置調整
アドバンスドメニュー
表示言語(LANGUAGE)
オプション
テストパターン
登録信号一覧
セキュリティ

▲▼:項目選択 ENTER:サブメニュー

- ① メニュー(MENU)ボタンを押す
「メインメニュー」画面を表示します。
- ② ▲ ▼ ボタンで「映像」を選択する

映像

映像モード	ダイナミック
色の濃さ	50
色あい	30
色温度設定	デフォルト
ガンマ選択	2.2
ピクチャー	32
黒レベル	32
シャープネス	6
ノイズリダクション	2
ダイナミックアイリス	1

▲▼:項目選択 ◀▶:切換 ENTER:登録

- ③ エンター(ENTER)ボタンを押す
「映像」画面を表示します。

ダイナミックの既定値として保存しますか？

実行 中止

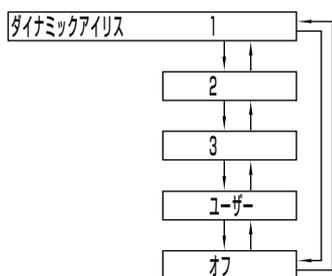
- ④ エンター(ENTER)ボタンを押す
- ⑤ ◀ ▶ ボタンで「実行」を選択する
- ⑥ エンター(ENTER)ボタンを押す

お知らせ • 映像モード設定を既定値として登録後、登録した映像モードを選択すると、新規信号は登録した調整値で表示されます。

使
い
か
た

■ ダイナミックアイリスの設定

映像に合わせて自動的に絞り補正と信号補正を行うことで、最適なコントラストの画像になります。



ダイナミックアイリス	
オートアイリス	2
マニュアルアイリス	オフ
ダイナミックガンマ	1

▲▼:項目選択 ◀▶:切換

- ① 「映像」画面で ▲ ▼ ボタンを押し、「ダイナミックアイリス」を選択する
- ② ◀ ▶ ボタンで「ダイナミックアイリス」を切り換える

	1	2	3	ユーザー	オフ
絞り補正量 および 信号補正量	小	(中間)	大	(下記 参照)	補正 しません

- ③ さらに好みの補正量に調整したいときは、②で「ユーザー」を選択する
- ④ エンター(ENTER)ボタンを押し「ダイナミックアイリス」画面を表示します。
- ⑤ ▲ ▼ ボタンで、「オートアイリス」「マニュアルアイリス」または「ダイナミックガンマ」を選択する
- ⑥ ◀ ▶ ボタンで補正量を調整する

	1	2	3	オフ
オートアイリス (自動絞り量の調整)	小	(中間)	大	自動補正 しません

	オフ	1	2	...	62	63
マニュアルアイリス (固定絞り量の調整)	固定 絞り なし	小	(中間)			大

	1	2	3	オフ
ダイナミックガンマ (信号補正量の調整)	小	(中間)	大	自動補正 しません

お知らせ • 「ダイナミックアイリス」を「3」に設定すると、コントラストは最大になります。

■ 色温度設定

調整手順（調整を行いたい信号を投写した状態で調整します。）

メインメニュー	
映像	
位置調整	
アドバンスドメニュー	
表示言語(LANGUAGE)	
オプション	
テストパターン	

映像	
映像モード	ダイナミック
色の濃さ	50
色あい	30
色温度設定	デフォルト
ガンマ選択	2.2
ピクチャー	32
黒レベル	32
シャープネス	6
ノイズリダクション	2
ダイナミックアイリス	1
▲▼:項目選択 ◀▶:切換	

白バランス	
白バランス 高	
白バランス 低	
▲▼:項目選択 ENTER:サブメニュー	

白バランス 高	
赤	255
緑	255
青	255
▲▼:項目選択 ◀▶:調整	

- ① メニュー(MENU)ボタンを押す
「メインメニュー」画面を表示します。
- ② ▲ ▼ ボタンで「映像」を選択する
- ③ エンター(ENTER)ボタンを押す
「映像」画面を表示します。
- ④ ▲ ▼ ボタンで「色温度設定」を選択する
- ⑤ ◀ ▶ ボタンでお好みの設定を下記から
選択する
「低」「中」「高」「デフォルト」「ユーザー1」
「ユーザー2」

お知らせ ・カラーマッチングの調整が「オフ」以外に設定されている場合、色温度設定は「ユーザー1」固定になります。
・映像モードが「ユーザー」に設定されている場合、「デフォルト」は選択できません。

<さらにお好みの白バランスに調整する場合>

- ⑥ ⑤ で「ユーザー1」または「ユーザー2」を選択する
- ⑦ エンター(ENTER)ボタンを押す
- ⑧ ▲ ▼ ボタンで「白バランス 高」または「白バランス 低」を選択する
- ⑨ エンター(ENTER)ボタンを押す
「白バランス 高（または低）」画面を表示します。
- ⑩ ▲ ▼ ボタンで「赤」「緑」「青」を選択する
- ⑪ ◀ ▶ ボタンでレベルを調整する

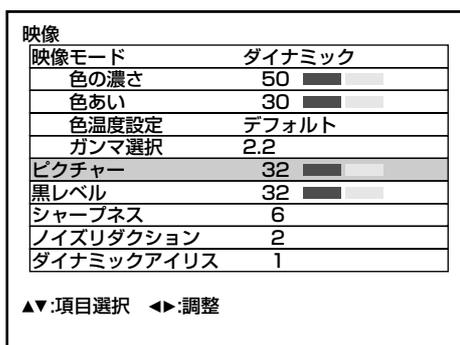
使
い
か
た

調整項目	操 作	変化内容	調整範囲
赤	▶ ボタンを押す	赤色が強くなります	最大値255 最小値 0
	◀ ボタンを押す	赤色が弱くなります	
緑	▶ ボタンを押す	緑色が強くなります	
	◀ ボタンを押す	緑色が弱くなります	
青	▶ ボタンを押す	青色が強くなります	
	◀ ボタンを押す	青色が弱くなります	

- お知らせ** ・正しく調整しないと、すべての色が正常に出なくなります。
調整があわなくなった場合は、各個別調整画面表示中にスタンダード(STD)ボタンを押すと、表示中の項目のみ工場出荷時の標準値に戻せます。
- ・内蔵テストパターン（83ページ参照）では色温度調整はできません。必ず入力信号を投写させた状態で色温度調整を行ってください。

■ シャープネス／ガンマ選択／ノイズリダクション

調整手順



- ① メニュー(MENU)ボタンを押す
「メインメニュー」画面を表示します。
- ② ▲ ▼ ボタンで「映像」を選択する
- ③ エンター(ENTER)ボタンを押す
「映像」画面を表示します。
- ④ ▲ ▼ ボタンで下表のいずれかの調整項目を選択する
- ⑤ ◀ ▶ ボタンで設定を切り換える
調整項目と内容については下表をご参照ください。

調整項目	操作	変化内容
シャープネス	輪郭がシャープになる	RGB系、HD系は0～7(出荷設定値：2) SD系は0～15(出荷設定値：6)
ガンマ選択	ガンマモードの切り換え	デフォルト、ユーザー1、ユーザー2、2.2、2.5の5種類 (出荷設定値：デフォルト)
ノイズリダクション	ノイズリダクション効果のモード切り換え	オフ(補正なし)、1(弱)、2(中)、3(強)の4種類 (出荷設定値：2)

- お知らせ**
- ノイズリダクションはアナログRGB入力やDVI入力、ネットワーク入力では調整できません。
 - ガンマ「ユーザー1」「ユーザー2」の設定には別途ソフトウェアが必要です。販売店にご相談ください。

■ sRGBに準拠した映像にするには

sRGBとは、IEC(International Electrotechnical Commission)で定められた色再現国際規格(IEC61966-2-1)です。

sRGBに準拠した、より忠実な色を再現させたい場合は、下記の手順で設定を行ってください。

1. カラーマッチングの調整を「オフ」に設定する
2. 「映像」画面で ▲ ▼ ボタンを押し、「映像モード」を選択する
◀ ▶ ボタンで「ナチュラル」に設定する
3. ▲ ▼ ボタンを押し、「色の濃さ」を選択する
リモコンのスタンダード(STD)ボタンを押し、工場出荷値にする
「色あい」「色温度設定」「ガンマ選択」も同様の手順で工場出荷値にする

- お知らせ**
- RGB信号入力時のみ、sRGBに対応します。

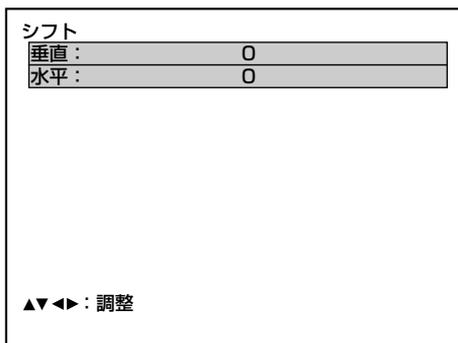
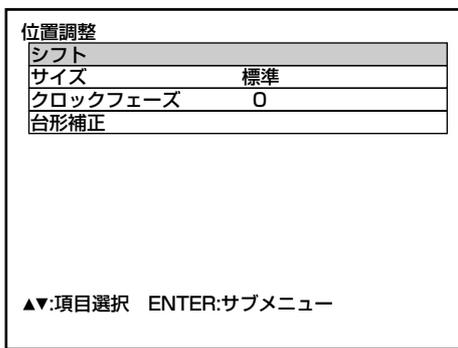
位置調整

以下の調整手順でお好みの位置調整ができます。

■ シフト調整

本機とスクリーンの関係位置が正しく設置された状態で、スクリーンに投写された映像位置がずれている場合は、上下左右に映像位置を移動させることができます。

調整手順

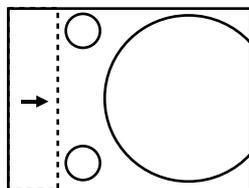


- ① **メニュー(MENU)ボタンを押す**
「メインメニュー」画面を表示します。
- ② **▲ ▼ ボタンで「位置調整」を選択する**
- ③ **エンター(ENTER)ボタンを押す**
「位置調整」画面を表示します。
- ④ **▲ ▼ ボタンで「シフト」を選択する**
- ⑤ **エンター(ENTER)ボタンを押す**
「シフト」画面を表示します。
- ⑥ **▲ ▼ ◀ ▶ ボタンで位置調整する**
- ⑦ **メニュー(MENU)ボタンを3回押す**
オンスクリーン画面が消え、通常画面に戻ります。

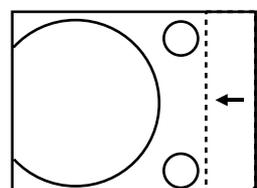
使
い
か
た

<水平位置 (左右) 調整の場合>

▶ ボタンを押すと、映像位置が右へ移動します。

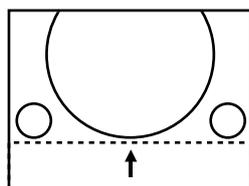


◀ ボタンを押すと、映像位置が左へ移動します。

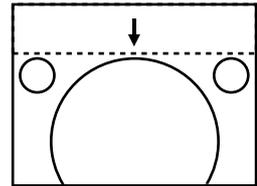


<垂直位置 (上下) 調整の場合>

▲ ボタンを押すと、映像位置が上へ移動します。



▼ ボタンを押すと、映像位置が下へ移動します。



■ サイズ調整

調整手順

メインメニュー	
映像	
位置調整	
アドバンスドメニュー	
表示言語(LANGUAGE)	
オプション	
テストパターン	
登録信号一覧	
セキュリティ	

▲▼:項目選択 ENTER:サブメニュー

位置調整	
シフト	
サイズ	標準
クロックフェーズ	0
台形補正	

▲▼:項目選択 ◀▶:切換 ENTER:サブメニュー

部分拡大	
連動:	オフ
垂直:	100%
水平:	100%
水平垂直:	100%

▲▼:項目選択 ▶▶:切換

- ① **メニュー(MENU)ボタンを押す**
「メインメニュー」画面を表示します。
- ② **▲ ▼ ボタンで「位置調整」を選択する**
- ③ **エンター(ENTER)ボタンを押す**
「位置調整」画面を表示します。
- ④ **▲ ▼ ボタンで「サイズ」を選択する**
- ⑤ **◀ ▶ ボタンでサイズモードを下記から選択する**
「標準」「等倍」「部分拡大」「16:9」「S4:3」
「HV FIT」「VID自動」「S1自動」
「VID自動(優先)」
- ⑥ **エンター(ENTER)ボタンを押す**
「サイズ」個別調整画面を表示します。
- ⑦ **▲ ▼ ボタンで項目を選択する**
- ⑧ **◀ ▶ ボタンで調整する**

お知らせ

- サイズモードの詳細については、次ページをご参照ください。
- サイズモードで等倍を選択された場合、個別調整画面は表示されません。

サイズモード

- **標準**：入力信号のアスペクト比のまま表示します。
- **等倍**：入力信号の解像度のまま表示します。
- **部分拡大**：拡大率を変えて表示します。拡大率は50%～999%で、画面の左上が基準点となります。
- **16:9**：アスペクト比16:9で表示します。
- **S4:3**：入力信号のアスペクト比のままサイズを75%に圧縮して表示します。16:9のスクリーンに4:3の映像を投写するときに使います。
- **HV FIT**：パネル画素全体に映像を表示します。
入力信号とパネルのアスペクト比が異なる場合は、パネルのアスペクト比4:3に変換して表示します。
- **VID自動**：映像信号に組み入れられたビデオID(VID)を識別し、4:3、16:9の画面サイズを自動的に切り換えて表示します。
ビデオ、Sビデオ入力時に有効です。
- **S1自動**：S1信号を識別し、4:3、16:9の画面サイズを自動的に切り換えて表示します。
Sビデオ入力時に有効です。
- **VID自動(優先)**：上記VID、S1信号を識別し、VIDを検出した場合はVIDに従い、VIDを検出しない場合はS1信号に従って4:3、16:9の画面サイズを自動的に切り換えて表示します。
Sビデオ入力時に有効です。

お知らせ

- 入力信号によっては選択できないサイズモードがあります。
RGB1、RGB2入力信号の場合：VID自動、S1自動、VID自動(優先)は選択できません。
VIDEO入力信号の場合：標準、S1自動、VID自動(優先)は選択できません。
VIDEOまたはS-VIDEO入力かつNTSC信号の場合：標準は選択できません。

■ クロックフェーズ調整

画面のちらつきや輪郭のにじみが発生しているとき、最適な画像になるように調整します。

調整手順

メインメニュー	
映像	
位置調整	
アドバンスドメニュー	
表示言語(LANGUAGE)	
オプション	
テストパターン	
登録信号一覧	
セキュリティ	

- ① **メニュー(MENU)ボタンを押す**
「メインメニュー」画面を表示します。
- ② **▲ ▼ ボタンで「位置調整」を選択する**

位置調整	
シフト	
サイズ	標準
クロックフェーズ	0
台形補正	

- ③ **エンター(ENTER)ボタンを押す**
「位置調整」画面を表示します。
- ④ **▲ ▼ ボタンで「クロックフェーズ」を選択する**
- ⑤ **◀ ▶ ボタンで調整する**
調整値は0～31まで変化します。

お知らせ

- 入力しているパソコンの出力が不安定だと最適値がない場合があります。
- 総ドット数がずれていると最適値がない場合があります。
- クロックフェーズが調整できるのは、RGB1、RGB2入力、アナログRGB入力モジュール(別売品：TW-MD95RGB)で信号を入力した場合のみです。

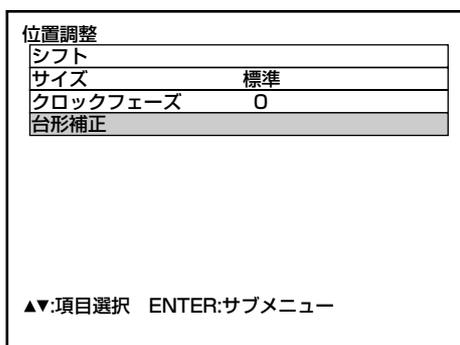
■ 台形補正

画面が台形歪みになっている場合にこの補正を行うと、水平方向のみ台形歪みの補正ができます。

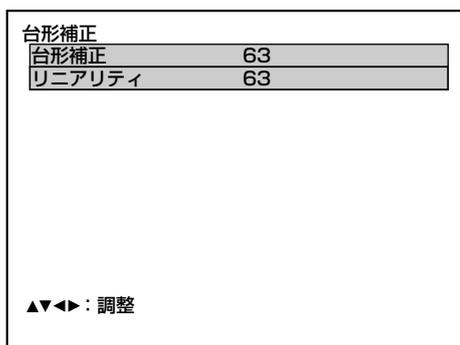
調整手順



- ① **メニュー(MENU)ボタンを押す**
「メインメニュー」画面を表示します。
- ② **▲ ▼ ボタンで「位置調整」を選択する**



- ③ **エンター(ENTER)ボタンを押す**
「位置調整」画面を表示します。
- ④ **▲ ▼ ボタンで「台形補正」を選択する**



- ⑤ **エンター(ENTER)ボタンを押す**
「台形補正」画面を表示します。
- ⑥ **◀ ▶ ボタンで水平方向の「台形補正」を調整する**
調整値は0~127まで変化します。
- ⑦ **▲ ▼ ボタンで垂直方向の「リニアリティ」を調整する**
調整値は0~127まで変化します。

お知らせ

- 「台形補正」の調整後に「リニアリティ」を調整してください。
「リニアリティ」の変化範囲は「台形補正」の調整値に連動して変化します。
- リモコンのスタンダード(STD)ボタンを押すと、工場出荷時の標準値(「台形補正」：63、「リニアリティ」：63)に戻せます。
- 調整値は他の入力信号にも反映されます。
- 台形補正できるのは、スクリーンに対する本機の仰角が±40° 以内の範囲です。(ただし、固定焦点レンズ使用時は±19° 以内、LE1レンズ使用時は±34° 以内の範囲です)

アドバンスドメニューの使いかた

■ デジタルシネマリアリティ

PAL(またはSECAM)の576i信号やNTSCの480i信号が入力されたとき、垂直解像度をさらに上げることができます。

調整手順

メインメニュー	
映像	
位置調整	
アドバンスドメニュー	
表示言語(LANGUAGE)	
オプション	
テストパターン	

アドバンスドメニュー	
デジタルシネマリアリティ	自動
フォーマット	SMPTE
プランキング	
入力解像度	
クランプ位置	
エッジレンディング	オフ
同期信号終端抵抗	75Ω
ラスター位置	

▲▼:項目選択 ◀▶:切換

- ① **メニュー(MENU)ボタンを押す**
「メインメニュー」画面を表示します。
- ② **▲ ▼ ボタンで「アドバンスドメニュー」を選択する**
- ③ **エンター(ENTER)ボタンを押す**
「アドバンスドメニュー」画面を表示します。
- ④ **▲ ▼ ボタンで「デジタルシネマリアリティ」を選択する**
オフ：シネマ処理をしない
自動：自動検出し、シネマ処理をする
(工場出荷設定値)
30p固定：480i信号が入力されたとき強制シネマ処理(2:2プルダウン)をする
25p固定：576i信号が入力されたとき強制シネマ処理(2:2プルダウン)をする

お知らせ • デジタルシネマリアリティ では、2:2でプルダウンされた信号以外を「30p固定」または「25p固定」に設定すると、画質が劣化します。(垂直解像度が悪くなります)

■ フォーマット (YCbCr480iでベータカムを入力する場合)

アナログコンポーネント信号YCbCr入力で480iを受像する場合、Cb、Crの入力レベルの切り換えが可能です。

メインメニュー	
映像	
位置調整	
アドバンスドメニュー	
表示言語(LANGUAGE)	
オプション	
テストパターン	

アドバンスドメニュー	
デジタルシネマリアリティ	自動
フォーマット	SMPTE
プランキング	
入力解像度	
クランプ位置	
エッジレンディング	オフ
同期信号終端抵抗	75Ω
ラスター位置	

▲▼:項目選択 ◀▶:切換

- ① **メニュー(MENU)ボタンを押す**
「メインメニュー」画面を表示します。
- ② **▲ ▼ ボタンで「アドバンスドメニュー」を選択する**
- ③ **エンター(ENTER)ボタンを押す**
「アドバンスドメニュー」画面を表示します。
- ④ **▲ ▼ ボタンで「フォーマット」を選択する**
- ⑤ **◀ ▶ ボタンで信号フォーマットを切り換える**
• SMPTEとBETACAMのトグルで切り換わります。

<信号レベル>

方式	Y	同期部分	Cb、Cr
SMPTE	700 mV	300 mV	±350 mV
BETACAM	714 mV	286 mV	±504 mV

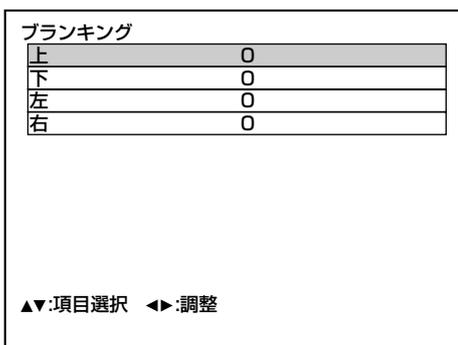
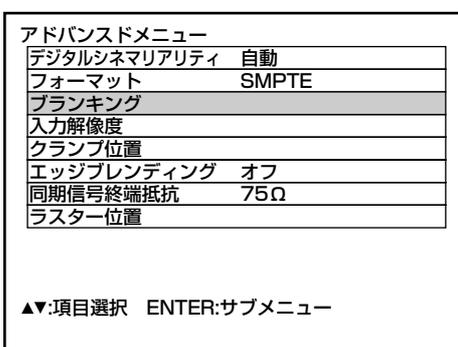
お知らせ

- 本機能が使用できるのは、アナログRGB入力モジュール(TW-MD95RGB)で入力した場合のみです。RGB1、RGB2入力は、ベータカム信号には対応していません。
- 本機能は、YCbCrモードで480iを受像しているときのみ切り換えが可能です。
RGB-REALITYモード、RGBモード、480i以外の信号を受像しているときは切り換えできません。
- 初期設定は、SMPTEです。

■ ブランキング調整

ビデオデッキなどの映像投写時に画面端にノイズが出ている場合やスクリーンから画像がわずかにはみ出ている場合などにブランキングで微調整できます。

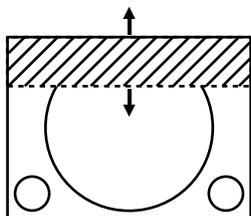
調整手順



- ① **メニュー(MENU)ボタンを押す**
「メインメニュー」画面を表示します。
- ② **▲ ▼ ボタンで「アドバンスドメニュー」を選択する**
- ③ **エンター(ENTER)ボタンを押す**
「アドバンスドメニュー」画面を表示します。
- ④ **▲ ▼ ボタンで「ブランキング」を選択する**
- ⑤ **エンター(ENTER)ボタンを押す**
「ブランキング」調整画面を表示します。
- ⑥ **▲ ▼ ボタンで調整項目を選択する**
- ⑦ **◀ ▶ ボタンでブランキング調整する**
調整値は0~511まで変化します。

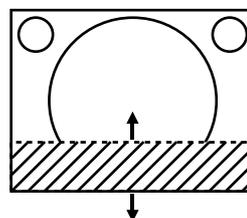
<画面上側ブランキング補正(上)の場合>

- ◀ ボタンを押すとブランキング幅が上へ移動し、
- ▶ ボタンを押すとブランキング幅が下へ移動する



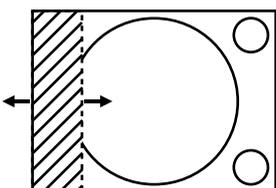
<画面下側ブランキング補正(下)の場合>

- ▶ ボタンを押すとブランキング幅が上へ移動し、
- ◀ ボタンを押すとブランキング幅が下へ移動する



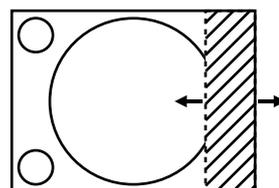
<画面左側ブランキング補正(左)の場合>

- ▶ ボタンを押すとブランキング幅が右へ移動し、
- ◀ ボタンを押すとブランキング幅が左へ移動する



<画面右側ブランキング補正(右)の場合>

- ◀ ボタンを押すとブランキング幅が右へ移動し、
- ▶ ボタンを押すとブランキング幅が左へ移動する



■ 入力解像度調整

画面のちらつきや輪郭のにじみが発生しているとき、最適な画像になるように調整します。

調整手順

メインメニュー	
映像	
位置調整	
アドバンスドメニュー	
表示言語(LANGUAGE)	
オプション	
テストパターン	
登録信号一覧	
セキュリティ	

▲▼:項目選択 ENTER:サブメニュー

アドバンスドメニュー	
デジタルシネマリアリティ	自動
フォーマット	SMPTE
ブランキング	
入力解像度	
クランプ位置	
エッジレンディング	オフ
同期信号終端抵抗	75Ω
ラスター位置	

▲▼:項目選択 ENTER:サブメニュー

入力解像度	
総ドット数	1344
表示ドット数	1024
総ライン数	809
表示ライン数	768

▲▼: 項目選択 ◀▶: 調整

- ① **メニュー(MENU)ボタンを押す**
「メインメニュー」画面を表示します。
- ② **▲ ▼ ボタンで「アドバンスドメニュー」を選択する**

- ③ **エンター(ENTER)ボタンを押す**
「アドバンスドメニュー」画面を表示します。
- ④ **▲ ▼ ボタンで「入力解像度」を選択する**

- ⑤ **エンター(ENTER)ボタンを押す**
「入力解像度」画面を表示します。
- ⑥ **▲ ▼ ボタンで下記の各項目を選択し、
◀ ▶ ボタンで調整する**
「総ドット数」「表示ドット数」「総ライン数」
「表示ライン数」
各項目には入力した信号に応じた数値が自動的に表示されます。画面に縦縞や画面欠けが発生する場合、表示された数値を上下させて画面を見ながら最適な点に調整してください。

使
い
か
た

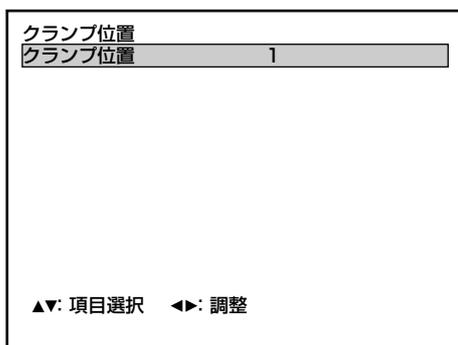
お知らせ

- 全白信号入力では上記縦縞は発生しません。
- 調整中に画像が乱れる場合がありますが、異常ではありません。
- 入力解像度が調整できるのは、RGB1、RGB2入力、アナログRGB入力モジュール(別売品：TW-MD95RGB)でRGB信号を入力した場合のみです。

■ クランプ位置調整

映像の黒部分がつぶれている場合や、緑色になっている場合はクランプ位置調整で最良点にします。

調整手順



- ① **メニュー (MENU) ボタンを押す**
「メインメニュー」画面を表示します。
- ② **▲ ▼ ボタンで「アドバンスドメニュー」を選択する**
- ③ **エンター (ENTER) ボタンを押す**
「アドバンスドメニュー」画面を表示します。
- ④ **▲ ▼ ボタンで「クランプ位置」を選択する**
- ⑤ **エンター (ENTER) ボタンを押す**
「クランプ位置」画面を表示します。
- ⑥ **◀ ▶ ボタンで調整する**
調整値は1～255まで変化します。

クランプ位置調整の最適値は

- 黒部分がつぶれている場合 → 黒部分のつぶれがもっとも改善する点が最適値です。
- 黒部分が緑色になっている場合 → 緑色部分が黒くなりつぶれていない点が最適値です。

お知らせ • クランプ位置の調整ができるのは、RGB1、RGB2入力、アナログRGB入力モジュール(別売品：TW-MD95RGB)で信号を入力した場合のみです。

■ エッジブレンディング調整

マルチ画面での使用時につなぎ目を目立ちにくくする機能を備えています。

調整手順

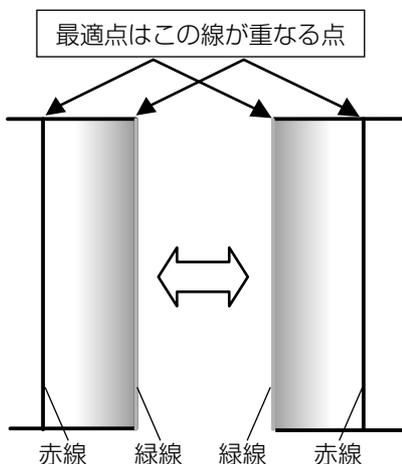
メインメニュー	
映像	
位置調整	
アドバンスドメニュー	
表示言語 (LANGUAGE)	
オプション	
テストパターン	

アドバンスドメニュー	
デジタルシネマリアリティ	自動
フォーマット	SMPTE
プランキング	
入力解像度	
クランプ位置	
エッジブレンディング	オン
同期信号終端抵抗	75Ω
ラスター位置	

▲▼:項目選択 ◀▶:切換 ENTER:サブメニュー

エッジブレンディング			
上	開始	0	
	オフ	幅	128
下	開始	0	
	オフ	幅	128
左	開始	0	
	オフ	幅	128
右	開始	0	
	オフ	幅	128
マーカー			オフ
黒レベル調整			

▲▼:項目選択 ◀▶:調整 ENTER:切換



お知らせ

調整用マーカーについて

「マーカー」を「オン」にすると映像位置調整用のマーカーが表示されます。つなぎ合わせるセット同士で赤と緑の線が重なる位置が最適点です。

注意

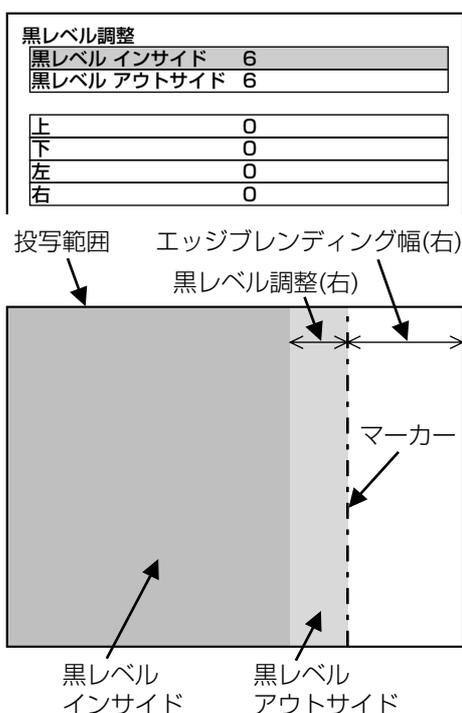
つなぎ合わせるセット同士の補正幅は必ず同じ値にしてください。

補正幅が異なるセット同士では、最適なつなぎ合わせができなくなります。

- ① **メニュー(MENU)ボタンを押す**
「メインメニュー」画面を表示します。
- ② **▲ ▼ ボタンで「アドバンスドメニュー」を選択する**
- ③ **エンター(ENTER)ボタンを押す**
「アドバンスドメニュー」画面を表示します。
- ④ **▲ ▼ ボタンで「エッジブレンディング」を選択する**
- ⑤ **◀ ▶ ボタンで「オフ」「オン」または「ユーザー」を切り換える**
オフ：マルチ画面で使用しないとき。
オン：エッジブレンディング部の傾斜にセット内蔵の傾きを使用します。
ユーザー：エッジブレンディング部の傾斜に任意の傾きを使用します。
(設定には別途ソフトウェアが必要です。販売店にご相談ください。)
- ⑥ **エンター(ENTER)ボタンを押す**
「エッジブレンディング」画面を表示します。
- ⑦ **▲ ▼ ボタンで効果を効かせる場所を指定する**
上をつなぐ場合：「上」を「オン」
下をつなぐ場合：「下」を「オン」
左をつなぐ場合：「左」を「オン」
右をつなぐ場合：「右」を「オン」
- ⑧ **エンター(ENTER)ボタンを押して「オン」「オフ」を切り換える**
- ⑨ **◀ ▶ ボタンで補正幅および開始位置を調整する**
<調整用のマーカーを表示させる場合>
- ⑩ **▲ ▼ ボタンで「マーカー」を選択する**
- ⑪ **エンター(ENTER)ボタンで「オン」に切り換える**

(次ページへつづく)

■ エッジブレンディング調整 (つづき)



- ⑫ ▲ ▼ ボタンで「黒レベル調整」を選択する
- ⑬ エンター(ENTER)ボタンを押す
「黒レベル調整」画面を表示します。
- ⑭ ▲ ▼ ボタンで「黒レベルインサイド」を選択する
- ⑮ ◀ ▶ ボタンで補正量を調整する (0~255)
- ⑯ ▲ ▼ ボタンで「上」「下」「左」「右」を選択する
- ⑰ ◀ ▶ ボタンで黒レベルインサイド補正しない幅を調整する (0~255)
- ⑱ ▲ ▼ ボタンで「黒レベルアウトサイド」を選択する
- ⑲ ◀ ▶ ボタンで補正量を調整する (0~255)

- お知らせ**
- 黒レベル調整は、エッジブレンディングを用いてマルチ画面を構成した場合に、映像を重ね合わせた部分の黒レベルが明るくなるのを目立ちにくくする機能です。黒レベルインサイドを調整し、映像を重ね合わせた部分と重ね合わせていない部分の黒レベルが同じになる補正量が最適点です。黒レベルインサイドを調整後、映像を重ね合わせた部分と重ね合わせていない部分の境目付近のみが明るくなる場合は、上、下、左、右の幅を調整してください。幅調整により境目付近のみ暗くなった場合は、黒レベルアウトサイドを調整してください。
 - ゲインの高いスクリーンやリアスクリーン使用時は、見る位置によってつなぎ合わせ部が不連続に見えることがあります。

■ 同期信号の入カインピーダンス(信号レベル)の切り換えかた

別売品のTW-MD95RGB入力モジュールを取り付けた場合、アナログRGB入力同期信号の入カインピーダンス(信号レベル)を切り換えることが可能です。

シグナルセクター(TW-SWS62J)など同期出力インピーダンスが75 Ωの機器と接続する場合は75 Ωで使用し、パソコンのビデオカードなど同期出力がTTLの機器と接続する場合はHI-Z(TTL)に切り換えて使用してください。



- ① メニュー(MENU)ボタンを押す
「メインメニュー」画面を表示します。
- ② ▲ ▼ ボタンで「アドバンスドメニュー」を選択する

アドバンスドメニュー	
デジタルシネマリアリティ	自動
フォーマット	SMPTE
プランキング	
入力解像度	
クランプ位置	
エッジレンディング	オフ
同期信号終端抵抗	75Ω
ラスター位置	

▲▼:項目選択 ◀▶:切換

- ③ エンター(ENTER)ボタンを押す
「アドバンスドメニュー」画面を表示します。
- ④ ▲ ▼ ボタンで「同期信号終端抵抗」を選択する
- ⑤ ◀ ▶ ボタンで同期信号の入力インピーダンス(信号レベル)を切り換える
• 75 ΩとHI-Z(TTL)のトグルで切り換わります。

同期信号終端抵抗	信号レベル	入力インピーダンス
75 Ω	振幅 : 0.6 V[p-p]~4.0 V[p-p]	75 Ω
HI-Z(TTL)	Highレベル : 2.0 V以上 Lowレベル : 0.8 V以下	1 kΩ

- お知らせ**
- 入力信号ごとに切り換えてご使用ください。
 - 初期設定は75 Ωです。
 - 本切り換えを行うとクロックフェーズおよび映像位置がずれる場合がありますので、再度調整を行ってください。

■ ラスター位置

入力された映像が表示可能エリア全体を使用していない場合、映像を表示エリア内で任意の位置に移動させることができます。

調整手順

メインメニュー	
映像	
位置調整	
アドバンスドメニュー	
表示言語(LANGUAGE)	
オプション	
テストパターン	
登録信号一覧	
セキュリティ	

アドバンスドメニュー	
デジタルシネマリアリティ	自動
フォーマット	SMPTE
プランキング	
入力解像度	
クランプ位置	
エッジレンディング	オフ
同期信号終端抵抗	75Ω
ラスター位置	

ラスター位置	
垂直 :	0
水平 :	0

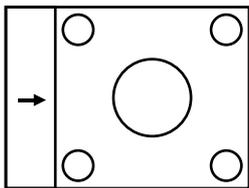
- ① メニュー(MENU)ボタンを押す
「メインメニュー」画面を表示します。
- ② ▲ ▼ ボタンで「アドバンスドメニュー」を選択する
- ③ エンター(ENTER)ボタンを押す
「アドバンスドメニュー」画面を表示します。
- ④ ▲ ▼ ボタンで「ラスター位置」を選択する
- ⑤ エンター(ENTER)ボタンを押す
「ラスター位置」画面を表示します。
- ⑥ ▲ ▼ ◀ ▶ ボタンで位置調整する
- ⑦ メニュー(MENU)ボタンを3回押す
オンスクリーン画面が消え、通常画面に戻ります。

(次ページへつづく)

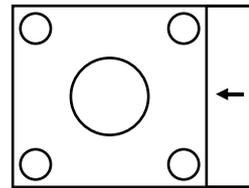
■ ラスター位置 (つづき)

<5:4の映像を表示している場合 (SXGA信号入力時) >

▶ ボタンを押すと、映像位置が右へ移動します。

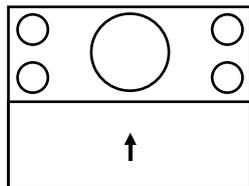


◀ ボタンを押すと、映像位置が左へ移動します。

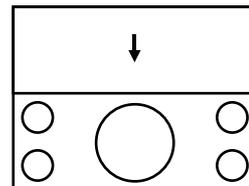


<16:9の映像を表示している場合 (HDTVや480p映像入力、またはSIZEモードで16:9を選択時) >

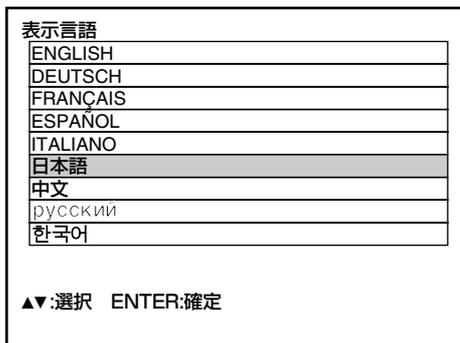
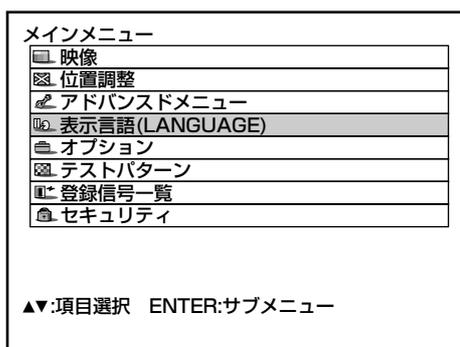
▲ ボタンを押すと、映像位置が上へ移動します。



▼ ボタンを押すと、映像位置が下へ移動します。



表示言語の切り換え



- ① **メニュー(MENU)ボタンを押す**
「メインメニュー」画面を表示します。
- ② **▲ ▼ ボタンで「表示言語(LANGUAGE)」を選択する**
- ③ **エンター(ENTER)ボタンを押す**
「表示言語」画面を表示します。
- ④ **▲ ▼ ボタンで言語を選択する**
- ⑤ **エンター(ENTER)ボタンで決定する**
切り換わると、言語の表示が黄緑色に変わります。切り換えた言語で各種メニューや設定、調整画面、操作ボタン名などが表示されます。
英語(ENGLISH)、ドイツ語(DEUTSCH)、フランス語(FRANÇAIS)、スペイン語(ESPAÑOL)、イタリア語(ITALIANO)、日本語、中国語(中文)、ロシア語(русский)、韓国語(한국어)の切り換えができます。

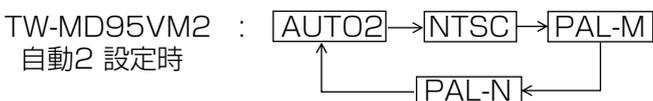
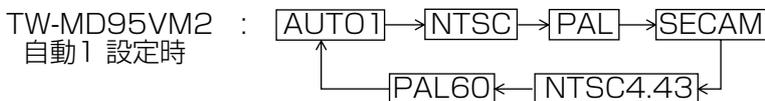
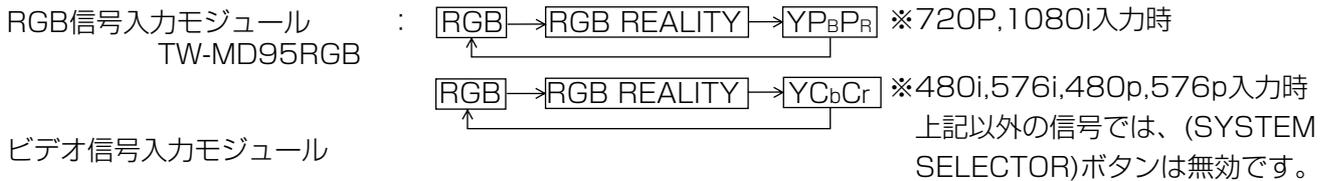
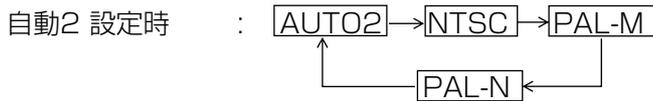
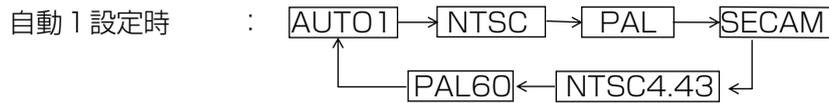
お知らせ • 本機は、日本語でオンスクリーン表示するように設定されています。(工場出荷時)

システム方式の切り換えかた

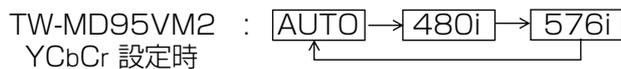
リモコンまたは本体操作部のシステム方式切り換え(SYSTEM SELECTOR)ボタンを押すとSビデオ／ビデオの入力または現在選択されている入力モジュールにより下記の切り換えができます。

切り換えられたシステム方式は、オンスクリーン左上に RGB, YPbPr, 自動 などと表示され自動的に消えます。

Sビデオ／ビデオ端子入力信号

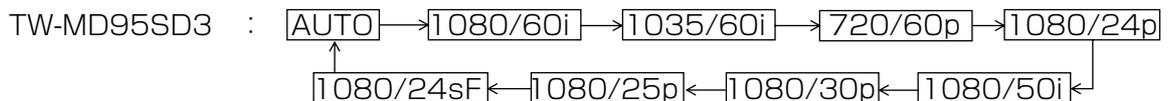
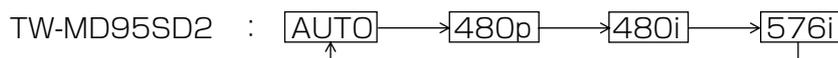


※自動1、自動2または、YCbCrの設定は79ページを参照願います。



※システム方式切り換え (SYSTEM SELECTOR)の切り換え途中でスタンダード(STD)ボタンを押すと自動1、自動2または自動に戻ります。

シリアルデジタル入力モジュール



※「自動1」：NTSC/PAL/SECAM/NTSC4.43/PAL60の中から自動選択します。

「自動2」：NTSC/PAL-M/PAL-Nの中から自動選択します。

RGB1/RGB2端子入力信号

720p、1080i入力時：

480i、576i、480p、576p入力時：

上記入力以外の信号では、システム方式切り換え(SYSTEM SELECTOR)ボタンは無効です。

使
い
か
た

応
用

RGB REALITYモードの使いかた

RGB REALITYモードは、RGB(原色)入力信号をコンポーネント信号に変換し、動画専用画像変換処理により高画質再生を行うモードです。

RGB入力信号モジュール(TW-MD95RGB)への信号入力時のみ有効です。

信号によって最適なモードを選択することができます。(67ページをご参照ください)

RGBモード：パソコンなどのRGB信号を入力する場合(静止画場面の多いもの)

RGB REALITYモード：スキャンコンバータなどからRGB信号を入力する場合(動画場面の多いもの)

RGB REALITYモードに変換できる信号は、下表のとおりです。

信号名	fH(kHz)/fV(Hz)	RGBモード	RGB REALITYモード	備考
480i	15.73/60	△	◎	
576i	15.63/50	△	◎	
480p	31.47/60	○	◎	
576p	31.25/50	○	◎	
720/60p	45.00/60	○	◎	
1035/60i	33.75/60	○	◎	
1080/60i	33.75/60	○	◎	
1080/24p	27.00/24	○	◎	
1080/50i	28.12/50	○	◎	
1080/30p	33.75/30	○	◎	
1080/25p	28.12/25	○	◎	
1080/24sF	27.00/48	○	◎	
上記以外		◎	×	RGBモードのみ

◎：対応可能(工場出荷状態です)

○：対応可能(○のモードで使用するにはシステム方式切り換え(SYSTEM SELECTOR)ボタンで選択後、登録してください)

△：信号の状態により対応できない場合がありますのでRGB REALITYモードでご使用ください。

×：対応不可

- お知らせ**
- RGB REALITYモードでは最適な調整値をプリセットしているため、画像の自動調整(41ページ)および入力解像度の調整(61ページ)はできません。
 - RGB REALITYモードに設定した場合の本機の各種調整機能は、YPbPr(またはYC_bC_r)入力時と同一になります。
 - 上記表のRGB信号をRGB1、RGB2端子へ入力しているときに、システム方式切り換え(SYSTEM SELECTOR)ボタンでRGBを選択すると、自動的に動画専用画像変換処理によって高画質再生が行われます。

オプションの設定

■ IDナンバーの設定

本機にはIDナンバーの設定機能があり、本機を複数台並べてご使用の場合には、1つのリモコンで同時制御や個別制御できます。工場出荷時は「オール」に設定されていますので、1台だけでご使用の場合はIDナンバーの設定の必要はありません。

設定手順



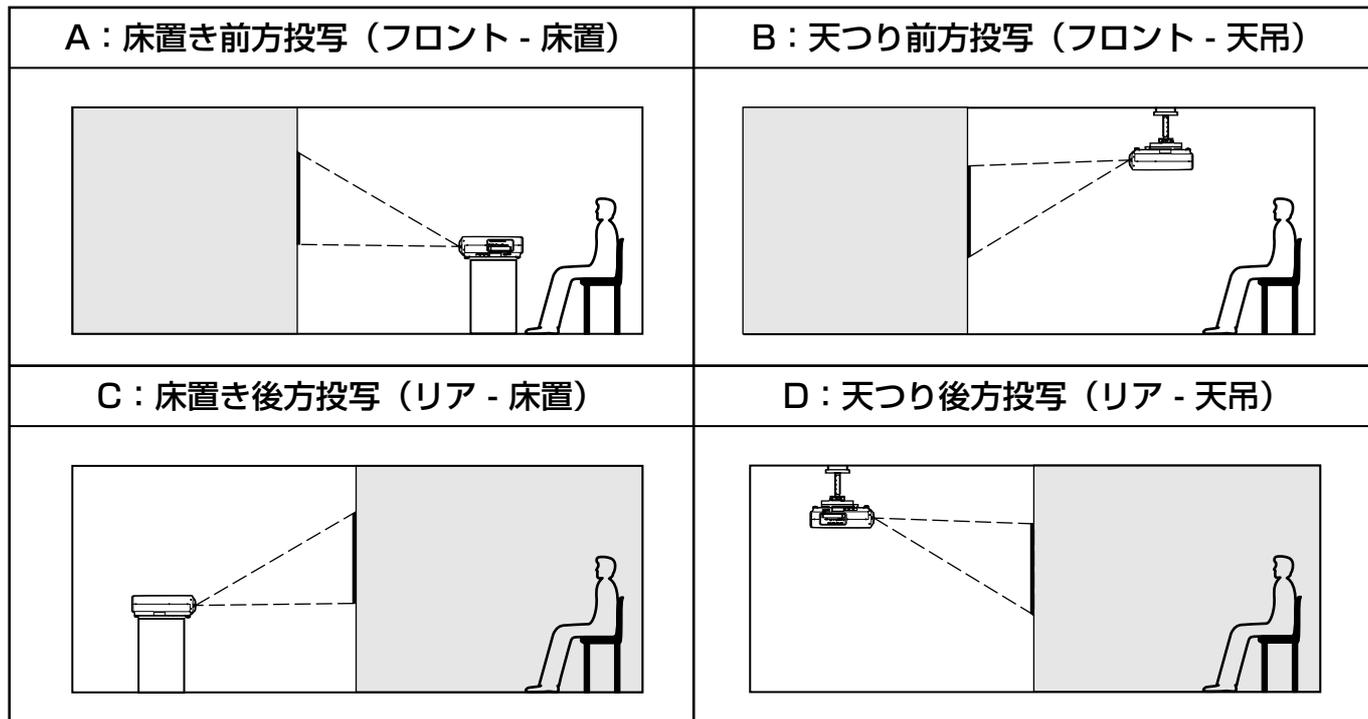
- ① **メニュー(MENU)ボタンを押す**
「メインメニュー」画面を表示します。
- ② **▲ ▼ ボタンで「オプション」を選択する**
- ③ **エンター(ENTER)ボタンを押す**
「オプション」画面を表示します。
- ④ **▲ ▼ ボタンで「プロジェクターID」を選び、◀ ▶ ボタンで数値を変える(オール、1、2、…64)**
- ⑤ **メニュー(MENU)ボタンを2回押す**
設定が終了しオンスクリーン画面が消え通常画面に戻ります。

お知らせ

- IDナンバーは「オール」「1」～「64」まで設定可能です。
- IDナンバーを指定した場合は、リモコンのIDナンバーを本機のIDナンバーに合わせる必要があります。
- IDナンバー「オール」に設定すると、リモコンまたはコンピュータで制御の際、何番を指定してもIDナンバー「オール」の本機は動作します。
本機を複数台並べて設置の場合、IDナンバーを「オール」に設定していると、他のIDナンバーを設定した本機と分けて制御することができなくなります。
リモコンのID設定のしかたは16ページをご参照ください。

■ 設置設定

本機の設置状態に合わせて、投写方式の設定ができます。画面表示が上下逆になったり、反転して映っている場合は、下図A~Dを参考に投写方式を変更してください。



リモコンまたは本体操作部のボタン操作でオンスクリーン画面を表示させて設定します。

設定手順



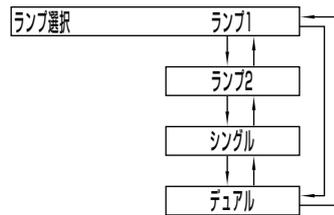
- ① **メニュー(MENU)ボタンを押す**
「メインメニュー」画面を表示します。
- ② **▲ ▼ ボタンで「オプション」を選択する**
- ③ **エンター(ENTER)ボタンを押す**
「オプション」画面を表示します。
- ④ **▲ ▼ ボタンで「設置設定」を選び、
◀ ▶ ボタンで投写方式を選択する**
◀ ▶ ボタンを押すごとに次のように表示と投写方式が切り変わります。

フロント-床置	↔	フロント-天吊
↑↓		↑↓
リア-天吊	↔	リア-床置
- ⑤ **メニュー(MENU)ボタンを2回押す**
オンスクリーン画面が消え通常画面に戻ります。

■ ランプ選択

本体に内蔵されている2個の光源ランプを使用条件や目的に合わせて「デュアル」と「シングル」の明るさに切り換えができます。

また「シングル」ではランプの自動切り換えと2灯のうちどちらか1灯を点灯する設定ができます。



「ランプ1」：1灯が点灯します。

（ランプユニット1が常に点灯します）

「ランプ2」：1灯が点灯します。

（ランプユニット2が常に点灯します）

「シングル」：1灯が点灯します。

（使用時間の短いランプを自動選択します）

「デュアル」：2灯が点灯します。

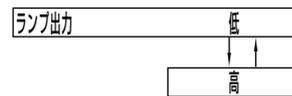
お知らせ

- 「シングル」、「ランプ1」、「ランプ2」、のとき、ランプが失灯または、積算時間が1 500時間*（ランプ出力「高」設定時）を超えるとそのランプを消灯し、もう一方のランプを点灯させます。「デュアル」のときは、一方が失灯または1 500時間*を超えるとそのランプは消灯し、1 500時間*を超えてない1灯のみ点灯します。また、両方のランプ積算時間が1 500時間*を超えると本機はスタンバイ状態になります。
- 1灯のランプのみしか装着されていない場合は、対応するランプユニットに応じて「ランプ1」または「ランプ2」に設定してください。「ランプ1」または「ランプ2」に設定され、対応するランプユニットが装着されていない場合はもう一方のランプが点灯します。
- ランプ選択を変更された場合、ランプ切り換え実行中映像ミュートがかかります。（7～25秒）

※ ロングライフランプユニット（99ページ）使用時は、4 000時間になります。

■ ランプ出力

本体の使用環境や目的に合わせてランプの明るさを切り換えることができます。



「低」：高い輝度を必要としないときに設定します。

「高」：高い輝度が必要なときに設定します。

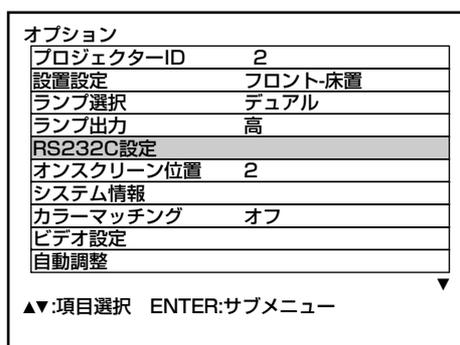
- お知らせ** • 「低」の場合は、消費電力の節約、動作音の低減、ランプの寿命をのばすことができます。
- ロングライフランプユニット使用時は、自動で「低」に設定されます。

■ RS-232C設定 (通信条件設定手順)

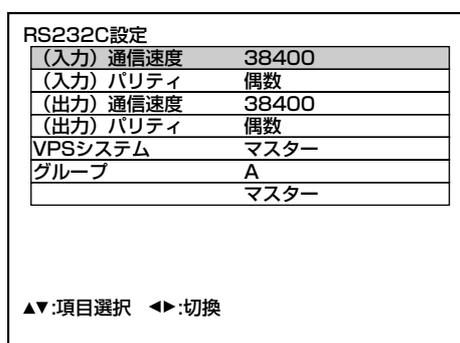
- ① **メニュー(MENU)ボタンを押す**
「メインメニュー」画面を表示します。
- ② **▲ ▼ ボタンで「オプション」を選択する**



- ③ **エンター(ENTER)ボタンを押す**
「オプション」画面を表示します。
- ④ **▲ ▼ ボタンで「RS-232C設定」を選択する**



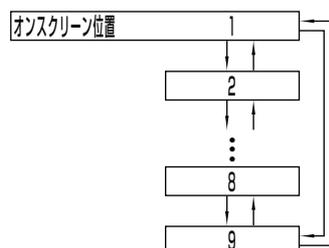
- ⑤ **エンター(ENTER)ボタンを押す**
「RS-232C設定」画面を表示します。



- ⑥ **▲ ▼ ボタンを押して通信条件を選ぶ**
- ⑦ **◀ ▶ ボタンを押して設定する**
- ⑧ **メニュー(MENU)ボタンを3回押す**
オンスクリーン表示が消え、通常画面に戻ります。

■ オンスクリーン位置

オンスクリーン表示画面の位置を設定できます。



- 「1」：画面の左上
- 「2」：画面の左中部
- 「3」：画面の左下部
- 「4」：画面の中央上部
- 「5」：画面の中央部
- 「6」：画面の中央下部
- 「7」：画面の右上部
- 「8」：画面の右中部
- 「9」：画面の右下部

■ システム情報

本機のシステム情報を見ることができます。

システム情報	
ROMバージョン:	1.00
セット使用時間:	1200h
ランプ1	タイプ: LAD7700
	低: 300h
	高: 0h
	合計: 300h
ランプ2	タイプ: LAD7700
	低: 300h
	高: 0h
	合計: 300h
ENTER:次ページ	

- エンター(ENTER)ボタンを押すと次ページに移動します。

システム情報	
オン カウント	
パワーオン:	100
ランプ1 オン:	50 (1)
ランプ2 オン:	50 (1)
AUX	MD75NT : NT
登録信号数:	1/64
ENTER:次ページ	

■ カラーマッチングの調整

本機は複数のセットを同時に使うような用途で、セット間の色バラツキを補正する機能を備えています。

調整手順

メインメニュー	
映像	
位置調整	
アドバンスドメニュー	
表示言語(LANGUAGE)	
オプション	
テストパターン	
登録信号一覧	
セキュリティ	

オプション	
プロジェクターID	2
設置設定	フロント-床置
ランプ選択	デュアル
ランプ出力	高
RS232C設定	
オンスクリーン位置	2
システム情報	
カラーマッチング	3カラーズ
ビデオ設定	
自動調整	
▲▼:項目選択 ◀▶:切換 ENTER:サブメニュー	

カラーマッチング：3カラーズ	
R	
G	
B	
自動テストパターン	オフ

3カラーズ：R	
R	2048
G	0
B	0

- ① **メニュー(MENU)ボタンを押す**
「メインメニュー」画面を表示します。
- ② **▲ ▼ ボタンで「オプション」を選択する**
- ③ **エンター(ENTER)ボタンを押す**
「オプション」画面を表示します。
- ④ **▲ ▼ ボタンで「カラーマッチング」を選択する**
- ⑤ **◀ ▶ ボタンで「3カラーズ」を選択する**
- ⑥ **エンター(ENTER)ボタンを押す**
- ⑦ **▲ ▼ ボタンで「R」「G」「B」を選択する**
- ⑧ **エンター(ENTER)ボタンを押す**
- ⑨ **◀ ▶ ボタンで調整する**
調整値は0~2048まで変化します。

お知らせ • 手順⑤で「7カラーズ」を選択すると、「赤」「緑」「青」「シアン」「マゼンタ」「イエロー」「ホワイト」の7色を調整することができます。

お知らせ

調整について

- 調整色を補正する場合の動作
 - 調整色と同じ補正色を動かす場合：調整色の輝度が変化します。
 - 補正色赤を動かす場合：調整色に赤を加減します。
 - 補正色緑を動かす場合：調整色に緑を加減します。
 - 補正色青を動かす場合：調整色に青を加減します。
- 調整には熟練度を要しますのでプロジェクターに関する知識のある方もしくはサービスマンの方が調整を行ってください。
- 各調整項目はすべてスタンダード(STD)ボタンを押すと工場出荷値に戻すことができます。
- カラーマッチングの調整を「オフ」以外に設定した場合、色温度設定は「ユーザー1」固定になります。

■ 測定器を用いたカラーマッチング調整

色度座標と輝度が測定できる色彩色度計を用いて「赤」「緑」「青」「シアン」「マゼンタ」「イエロー」「ホワイト」の色をお好みの色に変更することができます。

<現在の輝度と色度座標を入力する>

- ① **メニュー(MENU)ボタンを押す**
「メインメニュー」画面を表示します。
- ② **▲ ▼ ボタンで「オプション」を選択する**
- ③ **エンター(ENTER)ボタンを押す**
「オプション」画面を表示します。
- ④ **▲ ▼ ボタンで「カラーマッチング」を選択する**
- ⑤ **◀ ▶ ボタンで「測定モード」を選択する**
- ⑥ **エンター(ENTER)ボタンを押す**
「測定モード」画面を表示します。

測定モード
測定データ
ターゲットデータ
自動テストパターン オン

▲▼:項目選択 ENTER:サブメニュー

- ⑦ **▲ ▼ ボタンで「測定データ」を選択する**
- ⑧ **エンター(ENTER)ボタンを押す**
「測定データ」画面を表示します。

測定データ		
Bk	Y	5
	x	0.313
	y	0.329
R	Y	2126
	x	0.640
	y	0.330
G	Y	7152
	x	0.300
	y	0.600

- ⑨ **色彩色度計で輝度(Y)と色度座標(x,y)を測定する**
- ⑩ **▲ ▼ ボタンで色を選択し、◀ ▶ ボタンで数値を調整する**
- ⑪ **すべての入力が終わったら、メニュー(MENU)ボタンを押す**
「測定モード」画面を表示します。

測定モード
測定データ
ターゲットデータ
自動テストパターン オン

<お好みの色の座標を入力する>

- ⑫ **▲ ▼ ボタンで「ターゲットデータ」を選択する**
- ⑬ **エンター(ENTER)ボタンを押す**
「ターゲットデータ」画面を表示します。

ターゲットデータ
R、G、B
Cy、Mg、Ye、Wh

- ⑭ **▲ ▼ ボタンで「R、G、B」または「Cy、Mg、Ye、Wh」を選択する**
- ⑮ **エンター(ENTER)ボタンを押す**
「ターゲットデータ：R、G、B(またはCy、Mg、Ye、Wh)」画面を表示します。

ターゲットデータ：R、G、B		
R	x	0.630
	y	0.340
G	x	0.310
	y	0.595
B	x	0.155
	y	0.070

- ⑯ **▲ ▼ ボタンで色を選択し、◀ ▶ ボタンでお好みの色の座標を入力する**
- ⑰ **すべての入力が終わったら、メニュー(MENU)ボタンを押す**

■ ビデオ設定

接続機器に合わせて信号方式の設定を行います。

- ① 「オプション」画面から「ビデオ設定」を選択し、エンター(ENTER)ボタンを押す「ビデオ設定」画面を表示します。
- ② ▲ ▼ ボタンで「VIDEO」または「S VIDEO」を選択する
- ③ ◀ ▶ ボタンで「自動1」または「自動2」を選択する

お知らせ • TW-MD95VM2(別売品)を取り付けた場合「ビデオ設定」画面に「ビデオ選択」の項目が表示され「LINE or Y/C」または「YCbCr」の選択ができます。

「自動1」 : NTSC/PAL/SECAM/
NTSC4.43/PAL60の中から自動選択します。

「自動2」 : NTSC/PAL-M/PAL-Nの中から自動選択します。

■ 自動調整(RGB信号入力時のみ対応)

特殊な信号や横長(16:9等)の信号を調整するときに設定します。

- ① メニュー(MENU)ボタンを押す
「メインメニュー」画面を表示します。
- ② ▲ ▼ ボタンで「オプション」を選択する
- ③ エンター(ENTER)ボタンを押す
「オプション」画面を表示します。
- ④ ▲ ▼ ボタンで「自動調整」を選択する
- ⑤ エンター(ENTER)ボタンを押す
「自動調整」画面を表示します。
- ⑥ ◀ ▶ ボタンでお好みのモードに切り換える

「標準」 : 画像アスペクトが4:3、5:4の信号を受像する場合

「ワイド」 : 画像アスペクトが横長16:9の信号を受像する場合

「ユーザー」 : 特殊な水平解像度(水平表示ドット数)の信号を受像する場合

モード	対応解像度
標準	640×400、640×480、800×600、832×624、960×720、1 024×768、1 152×864、1 152×870、1 280×960、1 280×1 024、1 600×1 200、1 400×1 050
ワイド	720×400、848×480、1 280×720、1 120×750、1 376×768、1 600×1 024

- ⑦ 「ユーザー」を選択した場合は ◀ ▶ ボタンで「水平表示ドット数」に信号源の水平解像度を入力する
- ⑧ エンター(ENTER)ボタンを押す
自動調整を実行します。
自動調整中は「実行中」と表示されます。
終了すると入力画面に戻ります。

応
用

■ 出力解像度

アスペクト比が5:4のスクリーン(SXGA用)に投写する場合、SXGA解像度で表示することができます。

- ① **メニュー(MENU)ボタンを押す**
「メインメニュー」画面を表示します。
- ② **▲ ▼ ボタンで「オプション」を選択する**
- ③ **エンター(ENTER)ボタンを押す**
「オプション」画面を表示します。
- ④ **▲ ▼ ボタンで「出力解像度」を選択する**



- ⑤ **◀ ▶ ボタンで「SXGA+」「SXGA」を切り換える**

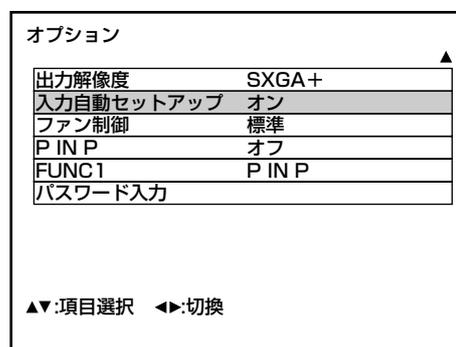
SXGA+(1 400×1 050) : アスペクト比が4:3のスクリーンに投写するとき

SXGA(1 280×1 024) : アスペクト比が5:4のスクリーンに投写するとき

■ 入力自動セットアップ

会議などで未登録の信号を頻繁に入力する場合、その都度リモコンのオートセットアップ(AUTO SETUP)ボタンを押さなくても画面表示位置を自動で調整することができます。

- ① **メニュー(MENU)ボタンを押す**
「メインメニュー」画面を表示します。
- ② **▲ ▼ ボタンで「オプション」を選択する**
- ③ **エンター(ENTER)ボタンを押す**
「オプション」画面を表示します。
- ④ **▲ ▼ ボタンで「入力自動セットアップ」を選択する**

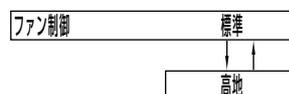


- ⑤ **◀ ▶ ボタンで「オン」「オフ」を切り換える**

「オン」にすると、未登録の信号が入力された場合、自動でオートセットアップを行います。

■ ファン制御

海拔1 400 m以上の場所を使用する場合は、「高地」に設定します。



■ P IN P

ピクチャ イン ピクチャの条件を設定します。

オプション	
出力解像度	SXGA+
入力自動セットアップ	オン
ファン制御	標準
P IN P	ユーザー1
FUNC1	P IN P
パスワード入力	

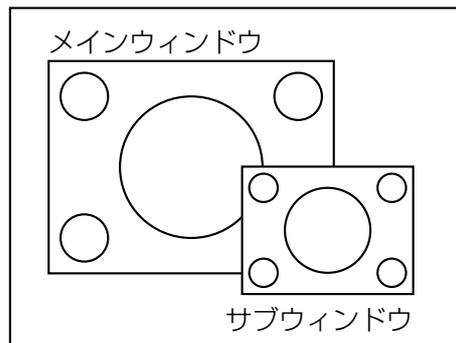
▲▼:項目選択 ◀▶:切換 ENTER:サブメニュー

P IN P : ユーザー1	
メインウィンドウ:	RGB1
サイズ	
位置	
サブウィンドウ:	VIDEO
サイズ	
位置	
フレームロック:	メインウィンドウ
タイプ:	メインウィンドウ
リニアリティ	メインウィンドウ

▲▼:項目選択 ◀▶:切換

◀ ▶ ボタンで「オフ」「ユーザー1」「ユーザー2」「ユーザー3」を選択する

「オフ」以外を選択時のみエンター(ENTER)ボタンでサブメニューを表示することができます。



- **メインウィンドウ**：メインウィンドウとして表示する入力端子を表示。◀ ▶ ボタンで選択することができます。
サイズ：メインウィンドウの表示サイズの設定。10%~100%の間で設定。
位置：メインウィンドウの表示位置を画面内で設定。
 - **サブウィンドウ**：サブウィンドウとして表示する入力端子を表示。◀ ▶ ボタンで選択することができます。
サイズ：サブウィンドウの表示サイズの設定。10%~100%の間で設定できます。
位置：サブウィンドウの表示位置を画面内で設定。
 - **フレームロック**：フレームロックを適用するウィンドウを選択。
「メインウィンドウ」：メインウィンドウに設定されている入力信号に対してフレームロックを設定。
「サブウィンドウ」：サブウィンドウに設定されている入力信号に対してフレームロックを設定。
 - **タイプ**：ウィンドウが重なった場合に優先的に表示するウィンドウを選択。
「メインウィンドウ」：メインウィンドウを優先的に表示。
「サブウィンドウ」：サブウィンドウを優先的に表示。
 - **リニアリティ**：P IN P機能と台形補正機能を同時に使用する場合、リニアリティ補正を行うウィンドウを選択。
「メインウィンドウ」：メインウィンドウにリニアリティ補正を適用。
「サブウィンドウ」：サブウィンドウにリニアリティ補正を適用。
- お知らせ**
- 入力されている信号および選択されている入力端子によってはP IN P機能を使用することができません。
 - 映像モード、ガンマ選択、色温度設定などの映像調整値はメインウィンドウの設定値が適用されます。
 - 通常画面（メニューが表示されていない状態）において、P IN P動作中に◀ ▶ ボタンでメインウィンドウをとサブウィンドウのサイズと位置を入れ替えることができます。

(次ページへつづく)

オプションの設定

■ P I N P (つづき)

• P I N P 一覧表

サブウィンドウ メイン ウィンドウ		RGB1			RGB2			VIDEO 入力	S-VIDEO 入力	AUX											
		RGB 入力	YCbCr 入力	YPbPr 入力	RGB 入力	YCbCr 入力	YPbPr 入力			TW-MD95RGB				TW-MD95VM2			TW- MD95SD1	TW- MD95SD2	TW- MD95SD3	TW- MD75DV	TW- MD75NT
										RGB 入力	RGB reality 入力※	YCbCr 入力	YPbPr 入力	LINE 入力	Y/C 入力	YCbCr 入力					
RGB1	RGB入力	×	×	×	×	×	×	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	×	×	×
	YCbCr入力	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	
	YPbPr入力	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
RGB2	RGB入力	×	×	×	×	×	×	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	×	×	×
	YCbCr入力	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	
	YPbPr入力	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
VIDEO入力		○	×	×	○	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○
S-VIDEO入力		○	×	×	○	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○
AUX	TW- MD95RGB	RGB入力	×	○	×	×	○	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
		RGBreality 入力※	○	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
		YCbCr入力	○	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
		YPbPr入力	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	TW- MD95VM2	LINE入力	○	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
		Y/C入力	○	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
		YCbCr入力	○	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	TW-MD95SD1		○	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	TW-MD95SD2		○	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	TW-MD95SD3		×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
TW-MD75DV		×	○	×	×	○	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	
TW-MD75NT		×	○	×	×	○	×	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	

○：P I N P (ピクチャ イン ピクチャ)組合わせが可能。 ×：P I N P (ピクチャ イン ピクチャ)組合わせが不可能。

※RGBreality入力は480i、576i、480p、576pのときのみP I N Pが可能です。

■ FUNC1の設定

リモコンのFUNC1 ボタンの機能を設定します。



「P I N P」：P I N Pのオフ/ユーザー1/ユーザー2/ユーザー3を切り換えることができます。(77ページ)

「ランプ出力」：ランプ出力の高/低を切り換えることができます。(71ページ)

「サイズ」：映像サイズの切り換えができます。(56ページ)

■ パスワード

サービスマンが使用します。

リモコンの数字ボタン(0~9)で入力し、エンター(ENTER)ボタンで確定します。

TW-MD95VM2 (別売品) 信号の切り換えかた

本機にTW-MD95VM2 (別売品) を取り付けた場合、接続機器に合わせて信号方式の設定を行ってください。

設定手順

メインメニュー	
映像	
位置調整	
アドバンスドメニュー	
表示言語 (LANGUAGE)	
オプション	
テストパターン	
登録信号一覧	
セキュリティ	

▲▼:項目選択 ENTER:サブメニュー

オプション	
プロジェクターID	2
設置設定	フロント-床置
ランプ選択	デュアル
ランプ出力	高
RS232C設定	
オンスクリーン位置	2
システム情報	
カラーマッチング	オフ
ビデオ設定	
自動調整	

▲▼:項目選択 ENTER:サブメニュー

ビデオ設定	
ビデオ選択	LINE or Y/C
ビデオシステム	
ビデオ	自動1
S-VIDEO	自動1
AUX (LINE)	自動1
AUX (Y/C)	自動1

▲▼:項目選択 ◀▶:切換

- ① **メニュー (MENU) ボタンを押す**
「メインメニュー」画面を表示します。
- ② **▲ ▼ ボタンで「オプション」を選択する**
- ③ **エンター (ENTER) ボタンを押す**
「オプション」画面を表示します。
- ④ **▲ ▼ ボタンで「ビデオ設定」を選択する**
- ⑤ **エンター (ENTER) ボタンを押す**
「ビデオ設定」画面を表示します。
- ⑥ **▲ ▼ ボタンで入力信号方式を選び、
◀ ▶ ボタンで「LINE or Y/C」または「YCbCr」に切り換える**
選ばれた信号方式を表示します。
(切り換え動作中は画面が乱れる場合があります。)
- ⑦ **「LINE or Y/C」を選択した場合、
▲ ▼ ボタンでAUX (LINE) または
AUX (Y/C) を選び、◀ ▶ ボタンで
「自動1」または「自動2」に切り換える**
選ばれた信号方式を表示します。
(切り換え動作中は画面が乱れる場合があります。)
- ⑧ **メニュー (MENU) ボタンを3度押す**
オンスクリーン表示が消え、設定した画面になります。

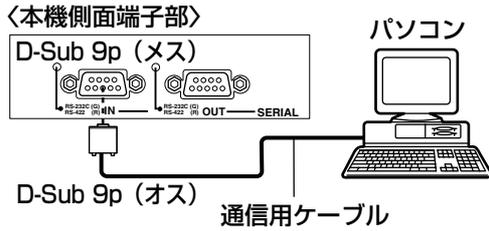
応
用

シリアル端子を使う

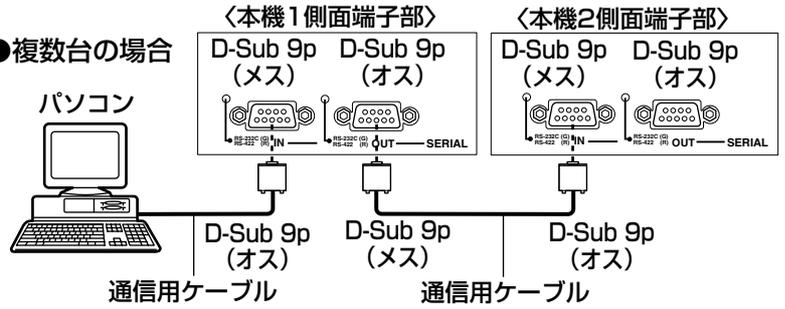
本体側面端子部のシリアル(SERIAL)端子はRS-232C準拠のためパソコンと接続して本機をパソコンで制御することができます。シリアル出力端子を設けていますので本体の複数制御が可能です。

■ 接続例

● 一台の場合

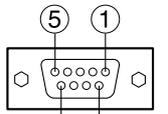


● 複数台の場合



■ ピン配列と信号名

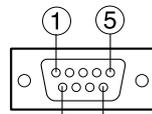
D-Sub 9p (メス)
外側から見た図



シリアル入力端子

ピンNo.	信号名	内容
①		NC
②	TXD	送信データ
③	RXD	受信データ
④		内部で接続されています
⑤	GND	グランド
⑥		NC
⑦	CTS	内部で接続されています
⑧	RTS	
⑨		NC

D-Sub 9p (オス)
外側から見た図



シリアル出力端子

ピンNo.	信号名	内容
①		NC
②	RXD	受信データ
③	TXD	送信データ
④		NC
⑤	GND	グランド
⑥		NC
⑦	RTS	内部で接続されています
⑧	CTS	
⑨		NC

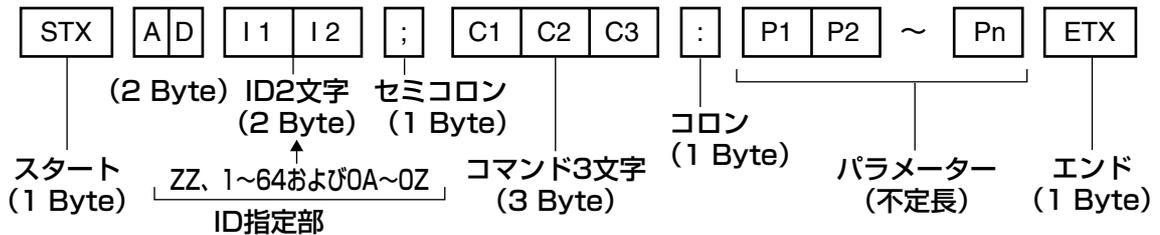
■ 通信条件

(工場出荷設定)

信号レベル	RS-232C準拠
同期方式	調歩同期
ボーレート	9 600bps
パリティ	なし
キャラクター長	8ビット
ストップビット	1ビット
Xパラメーター	なし
Sパラメーター	なし

■ 基本フォーマット

パソコンからの伝送はSTXで開始され、続いてID、コマンド、パラメーター、最後にETXの順に送信します。パラメーターは制御内容の必要に応じて付加してください。



お願い

- ランプ点灯開始時、約10～60秒間はコマンドを送受信できませんので、10～60秒経過後に送受信してください。
- 複数のコマンドを送信する場合は必ず本機からの応答を受け取ってから次のコマンドを送信してください。パラメーターを必要としないコマンドを送信する場合は、コロン (:) は必要ありません。

お知らせ

- 間違ったコマンドを送信すると、本機から“ER401”というコマンドがパソコン側に送信されます。
- RS-232CでのID送信はZZ(オール)と1から64および0A～0Zのグループの対応になっています。
- ID指定でコマンドを送信した場合、以下の時のみパソコンへの応答を返します。
 - 本機IDと一致した場合
 - ID指定がオールかつVPS-SYSTEMがマスターの場合
 - ID指定がグループかつGroupがマスターの場合

■ 制御コマンド

パソコンで本機を制御する際のコマンドは下表のとおりです。

コマンド	制御内容	備考
PON	電源「入」	スタンバイ状態においては「PON」以外のコマンドは無効です。 ・ランプ点灯制御中、「PON」コマンドは受け付けません。
POF	電源「切」	
IIS	入力切り換え	パラメーター VID=VIDEO SVD=S-VIDEO RG1=RGB1 RG2=RGB2 AUX=AUX
QSL	使用ランプモード 問い合わせ	パラメーター 0=デュアル 1=シングル 2=ランプ1 3=ランプ2 ※「シングル」はランプ1、 ランプ2のうち使用時間の 短い方を使用する。
LPM	使用ランプモード	パラメーター 0=デュアル 1=シングル 2=ランプ1のみオン 3=ランプ2のみオン
OLP	ランプ出力設定	パラメーター 0=高、1=低

お知らせ ・ 詳しいコマンドリストが必要な場合は、販売店にご相談ください。

■ ケーブル仕様

《パソコンと接続する場合》

本機側		パソコン側 (DTE仕様)	
1	NC	NC	1
2			2
3			3
4	NC	NC	4
5			5
6	NC	NC	6
7			7
8			8
9	NC	NC	9

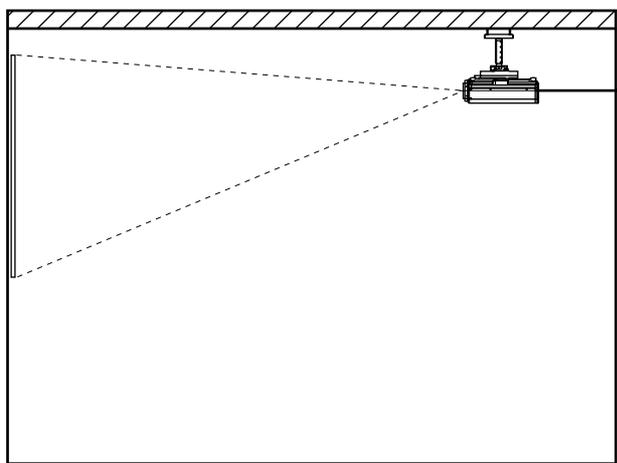
お願い ・ シリアル(SERIAL)端子とパソコンをつなぐ通信用ケーブルは、使用されるパソコンに合わせてご用意ください。

応
用

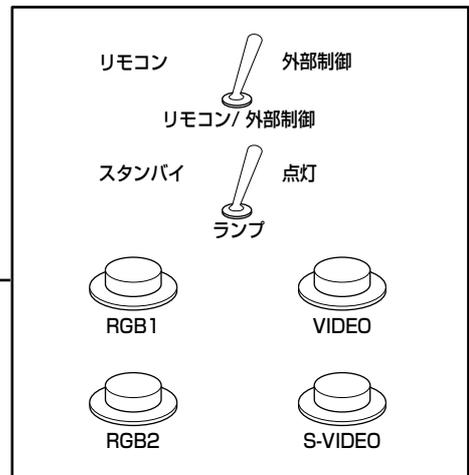
リモート2端子を使う

本体側面端子部のリモート2(REMOTE 2)端子を使用することで、設置場所から離れたリモコンの信号が届かない場所にある制御盤などから、本体を遠隔制御することができます。

設置例



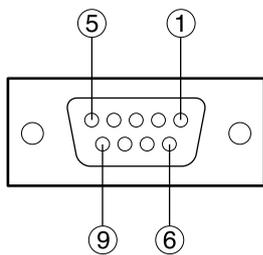
会議室などの設置場所



別の場所にある遠隔制御盤

ピン配列と制御内容について

制御を行う場合は必ず、①番ピンと⑨番ピンは短絡させてください。



D-Sub 9p (メス)
外側から見た図

	端子名称	オープン(H)	ショート(L)
1	GND	—————	GND
2	POWER	OFF	ON
3	RGB1	その他	RGB1
4	RGB2	その他	RGB2
5	VIDEO	その他	VIDEO
6	S-VIDEO	その他	S-VIDEO
7	AUX	その他	AUX
8	SHUTTER	OFF	ON
9	RST / SET	リモコン制御	外部接点制御

- お知らせ** • ①番、⑨番ピンを短絡させると本体操作部とリモコンの電源(POWER)ボタン、RGBボタン、ビデオ(VIDEO)ボタンが使用できなくなります。また、これらの機能に相当する本体操作部およびリモコンのボタン、RS-232C用コマンドが使用できなくなります。

内蔵テストパターンを表示

セットの状態を確認するためのテストパターンを8種類内蔵しています。
テストパターンを表示させる場合は次の手順で操作してください。

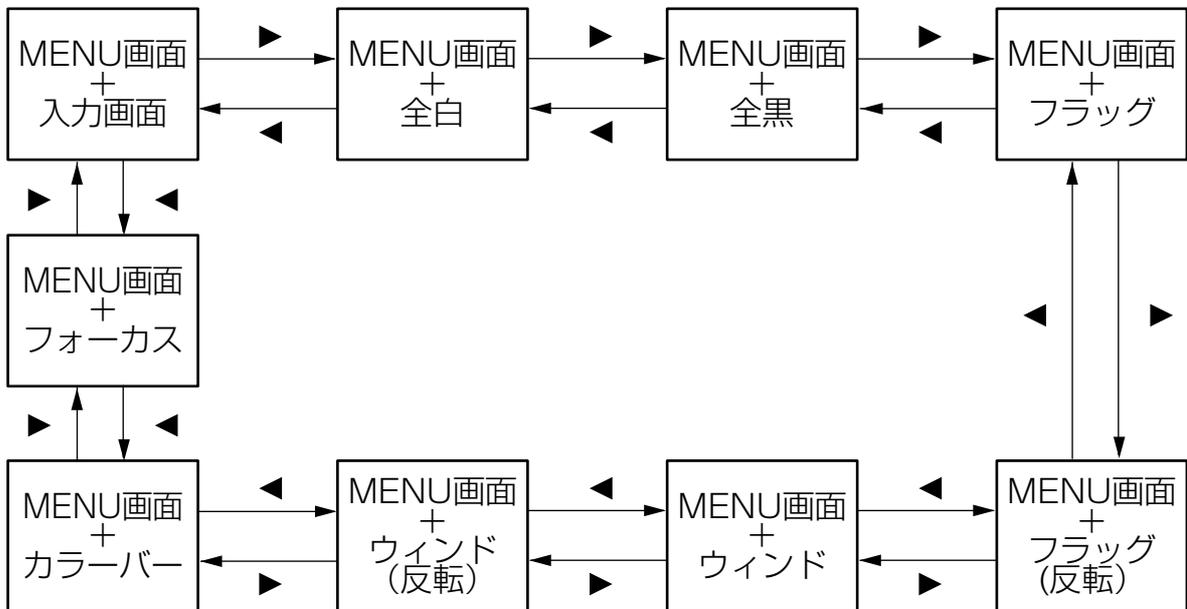
お知らせ • 位置、サイズなどの調整内容はテストパターンには反映されません。必ず入力信号を表示させた状態で各種設定を行ってください。

操作手順



- ① メニュー (MENU) ボタンを押す
「メインメニュー」画面を表示します。
- ② ▲ ▼ ボタンで「テストパターン」を選択する
- ③ ◀ ▶ ボタンで各種テストパターンを切り換える

■ 内蔵テストパターンの表示チャート



RS-422制御機能

本機の RS-232C 端子は、切り換えにより RS-422 制御端子として使用することができます。
出荷設定は RS-232C 制御端子になっています。

⚠ 注意

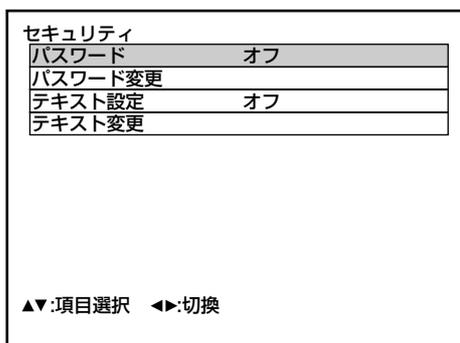
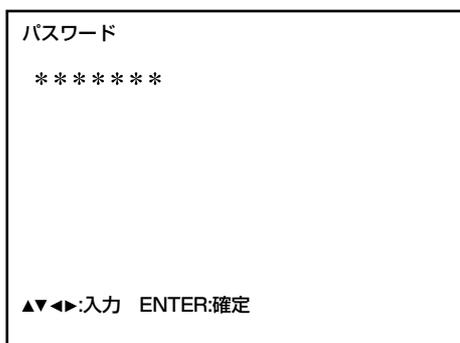
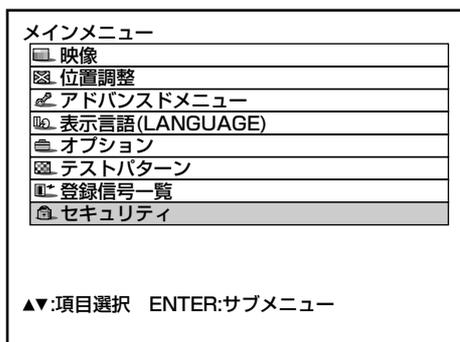


RS-422制御機能への切り換えは、サービス技術者にご依頼ください

応用

セキュリティの設定

本機のセキュリティ機能としてパスワード入力画面を表示させたり、投写している映像の下に会社のURLなどを設定して表示させることができます。



- ① **メニュー(MENU)ボタンを押す**
「メインメニュー」画面を表示します。
- ② **▲ ▼ ボタンで「セキュリティ」を選択する**

- ③ **エンター(ENTER)ボタンを押す**
「パスワード」画面を表示します。

<初めてご使用になる場合>

▲▶▼◀▲▶▼◀ ボタンを順に押し、エンター(ENTER)ボタンを押してください。

<以前パスワードを変更した場合>

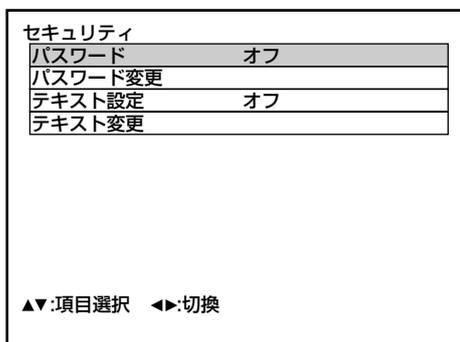
変更したパスワードを入力し、エンター(ENTER)ボタンを押してください。

お知らせ • パスワードを入力しても画面上では * 印で表示されます。

■ パスワードの設定

電源を入れたときに「パスワード」画面を表示させることができます。

正しくパスワードを入力しないと、電源切 (⏻) ボタン、レンズ調整以外の操作ができなくなります。

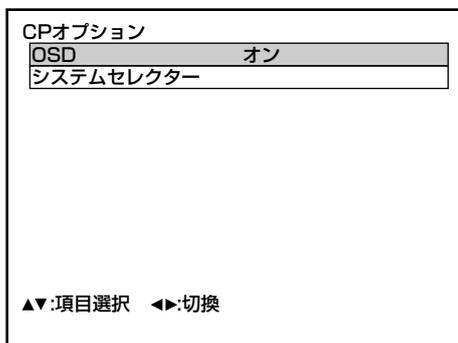


- ① **▲ ▼ ボタンで「パスワード」を選択する**
- ② **◀ ▶ ボタンで「パスワード」を切り換える**
オン：パスワード入力を有効にします。
オフ：パスワード入力を無効にします。

CPオプションの使いかた

本体の後面操作部でオンスクリーン表示の「入」「切」や、システムセレクターの切り換えができます。

■ オンスクリーン表示機能の設定 設定手順



- ① **メニュー(MENU) ボタンを約3秒間押し続ける**
オンスクリーンが「切」の場合はオンスクリーンが表示され、メインメニューに「CPオプション」の項目が追加されます。
- ② **▲ ▼ ボタンで「CPオプション」を選択する**
- ③ **エンター(ENTER) ボタンを押す**
「CPオプション」画面を表示します。
- ④ **▲ ▼ ボタンで「OSD」を選択する**
- ⑤ **◀ ▶ ボタンで「オン」「オフ」を切り換える**
オン：オンスクリーン表示機能が「入」になります。
オフ：オンスクリーン表示機能が「切」になります。

■ システム方式の設定

設定手順

メインメニュー	
映像	
位置調整	
アドバンスドメニュー	
表示言語 (LANGUAGE)	
オプション	
テストパターン	
登録信号一覧	
セキュリティ	
CPオプション	

▲▼:項目選択 ENTER:サブメニュー

CPオプション	
OSD	オン
システムセレクト	

▲▼:項目選択 ENTER:サブメニュー

システムセレクト	
VIDEO	AUTO1
S-VIDEO	AUTO1

▲▼:項目選択 ◀▶:切換 ENTER:実行

- ① **メニュー(MENU) ボタンを約3秒間押し続ける**
オンスクリーンが「切」の場合はオンスクリーンが表示され、メインメニューに「CPオプション」の項目が追加されます。
- ② **▲ ▼ ボタンで「システムセレクト」を選択する**
- ③ **エンター(ENTER) ボタンを押す**
「システムセレクト」画面を表示します。
- ④ **▲ ▼ ボタンでシステム方式の切り換えを行う入力を下記から選択する**
「RGB1」 「RGB2」 「VIDEO」 「S-VIDEO」 「LINE」 「Y/C」 「AUX」
お知らせ • システム方式を切り換えることができる入力のみ表示されます。
- ⑤ **◀ ▶ ボタンでシステム方式を選択する**
お知らせ • 選択可能なシステム方式については、システム方式の切り換えかたを参照してください。(67ページ)
- ⑥ **エンター(ENTER) ボタンを押す**

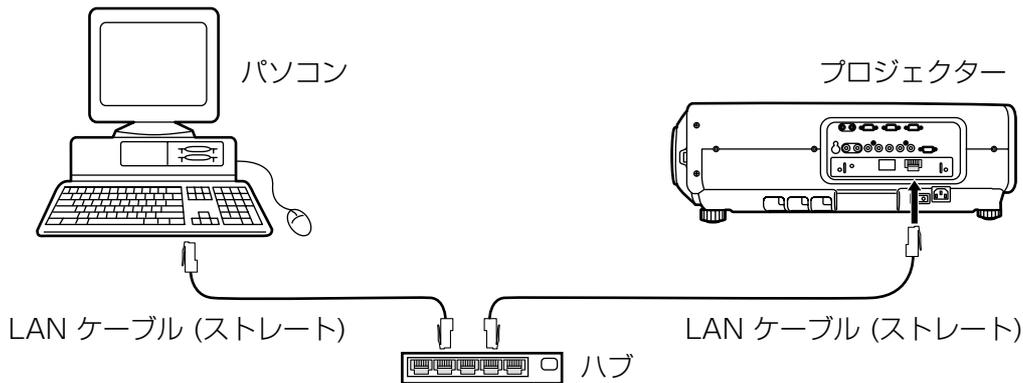
ネットワークモジュール(別売品)の使いかた

別売品のネットワークモジュール (TW-MD75NT) はLANインターフェースを備えており、パソコンのWebブラウザから本機制御ができます。

また、ネットワークモジュールはEメールの自動送信機能を備えています。異常時やランプの使用時間が設定値になった時にあらかじめ設定しておいたEメールアドレスにメールを送信することができます。

接続例

ネットワークモジュールを使用する場合は、LANケーブルが必要です。



- 本機能をご使用になる場合は、Web ブラウザが必要です。あらかじめWeb ブラウザが利用できることを確認してください。
- パソコンのOSは、Microsoft Windows 95/98/Me/XPまたはWindows NT4.0/Windows 2000をご利用ください。
- WebブラウザはInternet Explorer 5.01以降またはNetscape Navigator/Communicator 4.75以降をご利用ください。
- Eメール機能をご使用になる場合は、Eメールサーバーと通信する必要があります。あらかじめEメールが利用できることを確認してください。
- LANケーブルはストレート結線でカテゴリ5対応のものをご使用ください。
- LANケーブル長は100m以下でご使用ください。

ネットワークモジュールの各部の名称と働き

機能スイッチ

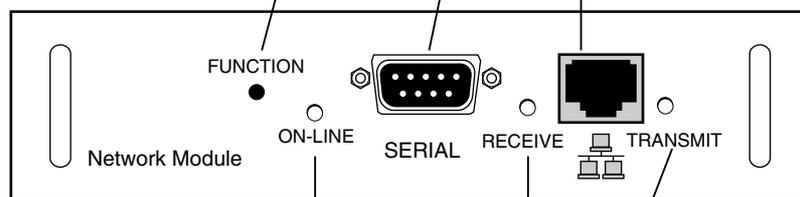
ネットワークモジュールの設定を工場出荷設定状態に戻す時に使用します。

シリアル入出力端子

サービスマン用端子です。何も接続しないでください。

LAN端子(10Base-T/100Base-TX)

LANケーブルを接続します。



オンラインランプ

LAN接続準備が完了するとランプが点灯します。消灯または点滅はLAN接続準備中を表わします。

LAN信号送信状態ランプ

送信時に点滅します。

LAN信号受信状態ランプ

受信時に点滅します。

お願い

- 静電気を帯びた手(体)でLAN端子に触れると静電気の放電により故障の原因になります。LAN端子及びLANケーブルの金属部に触れないようにしてください。

■ ネットワークモジュールの初期設定

設定手順

メインメニュー	
映像	
位置調整	
アドバンスドメニュー	
表示言語(LANGUAGE)	
オプション	
テストパターン	
登録信号一覧	
セキュリティ	

▲▼:項目選択 ENTER:サブメニュー

オプション	
プロジェクターID	2
設置設定	フロント-床置
ランプ選択	デュアル
ランプ出力	高
RS232C設定	
オンスクリーン位置	2
システム情報	
カラーマッチング	オフ
ビデオ設定	
ネットワーク設定	

▲▼:項目選択 ENTER:サブメニュー

ネットワーク設定	
ホストネーム	PROJECTOR
DHCP	オフ
IPアドレス	192.168.0.8
ポート番号	80
ネットマスク	255.255.255.0
ゲートウェイ	192.168.0.1
MACアドレス	00.00.00.00.00.00

保存

▲▼:項目選択 ENTER:調整

- ① **メニュー(MENU)ボタンを押す**
「メインメニュー」画面を表示します。
- ② **▲ ▼ ボタンで「オプション」を選択する**
- ③ **エンター(ENTER)ボタンを押す**
「オプション」画面を表示します。
- ④ **▲ ▼ ボタンで「ネットワーク設定」を選択する**
- ⑤ **エンター(ENTER)ボタンを押す**
「ネットワーク設定」画面を表示します。
- ⑥ **▲ ▼ ボタンで「各項目」を選択し、エンター(ENTER)ボタンで設定を変更する**
- ⑦ **▲ ▼ ボタンで「保存」を選択し、エンター(ENTER)ボタンを2回押す**
ネットワークモジュールのオンラインランプが消灯後再点灯します。

お知らせ

- 設定が反映されるまで約2分かかります。
- ネットワークモジュールのオンラインランプが再点灯するまで主電源は切らないでください。

(次ページへつづく)

■ ネットワークモジュールの初期設定(つづき)

項目	機能	説明
HOSTNAME ホストネーム	ホスト名の表示および設定	DHCPサーバーを利用する場合などに必要があれば変更してください。
DHCP	DHCPクライアント機能	DHCPサーバーを利用し自動的にIPアドレスを取得する場合はDHCP項目をオンにします。 DHCPサーバーを利用しない場合はオフにします
IP ADDR IPアドレス	IPアドレスの表示および設定	DHCPサーバーを利用しない場合はIPアドレスを入力します。
PORT NO. ポート番号	Webブラウザとの接続ポート番号の表示および設定	通常は80を使用します。 必要があれば変更してください。
NET MASK ネットマスク	ネットマスクの表示および設定	DHCPサーバーを利用しない場合はネットマスクを入力します。
GATEWAY ゲートウェイ	ゲートウェイアドレスの表示および設定	DHCPサーバーを利用しない場合はゲートウェイアドレスを入力します。
MAC ADDR マックアドレス	マックアドレスの表示	ネットワーク機器が持つ固有のマックアドレス(Media Access Control Address)を表示します。DHCPサーバーを利用する時などに必要な場合があります。

- DHCPサーバを利用する場合、DHCPサーバが立ち上がっている事を確認ください。
- IPアドレス、ネットマスク、ゲートウェイは、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

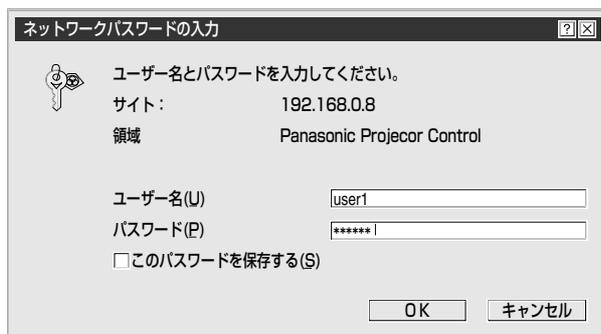
■ Webブラウザからのアクセスのしかた

- ① パソコンのWebブラウザを起動します。



アドレス(D) 192.168.0.8

- ② WebブラウザのURL入力欄に本機で設定したIPアドレスを入力します。
- ③ ユーザー名欄にuser1を入力し、パスワード欄にpanasonic(小文字)を入力します。



ネットワークパスワードの入力

ユーザー名とパスワードを入力してください。

サイト: 192.168.0.8
領域: Panasonic Projector Control

ユーザー名(U): user1
パスワード(P): *****

このパスワードを保存する(S)

OK キャンセル

- ④ OKを押すと基本制御ページが表示されます。



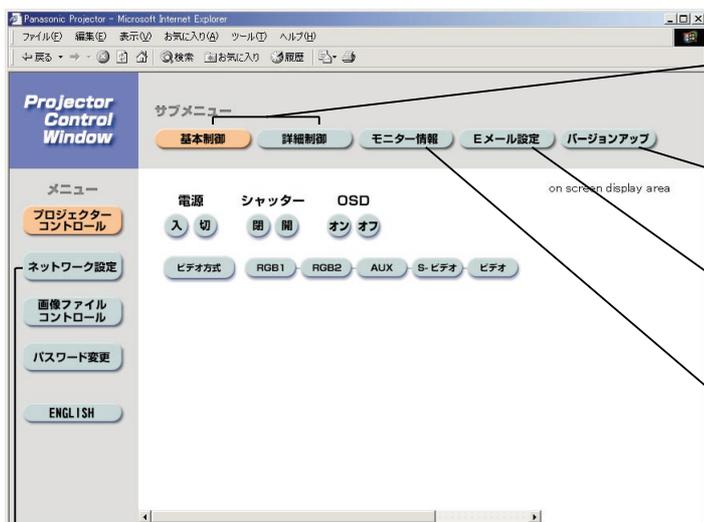
お知らせ

- Webブラウザを同時に複数立ち上げて、設定や制御を行うのは避けてください。
- ネットワークモジュールのオンラインランプが点灯している時に有効です。
- まず最初にパスワードの変更を行ってください。

応
用

ネットワークモジュール（別売品）の使いかた

トップページ



コントロールボタン

この項目をクリックすると、プロジェクターの制御ページが表示されます。

アップデートボタン

本機では使用できません。

E-メール設定ボタン

この項目をクリックすると、E-メール設定ページが表示されます。

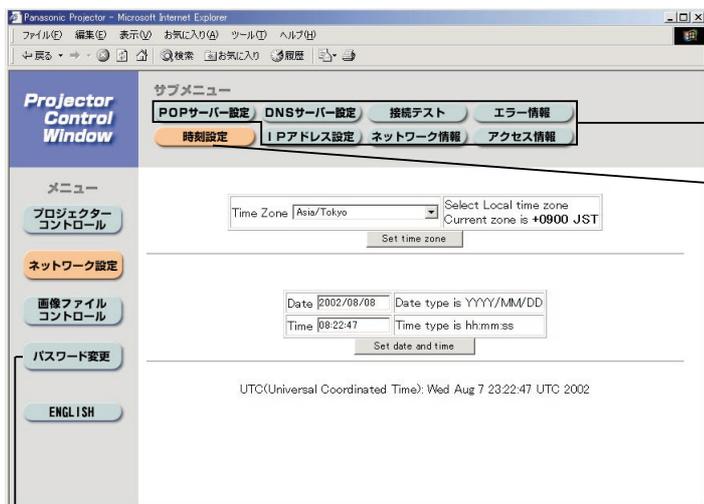
モニター情報ボタン

この項目をクリックすると、プロジェクターの状態が表示されます。

ネットワーク設定ボタン

この項目をクリックすると、IPアドレスなどのネットワーク設定ページが表示されます。

ネットワーク設定ページ



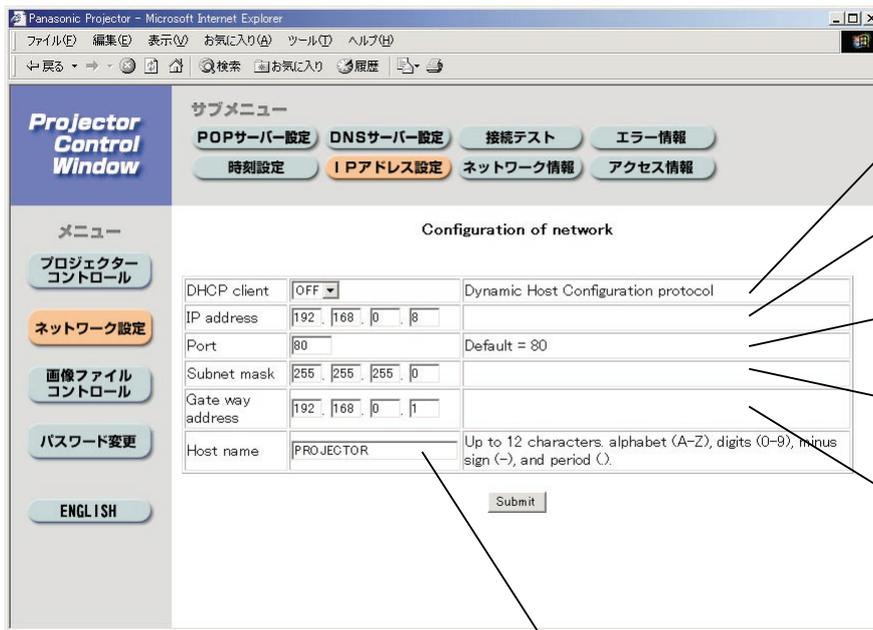
ネットワーク設定へのリンクボタン

時刻設定へのリンクボタン

時刻を設定してもすぐに時刻が狂う場合、電池交換が必要になります。電池交換を販売店に依頼してください。

パスワード変更へのリンクボタン

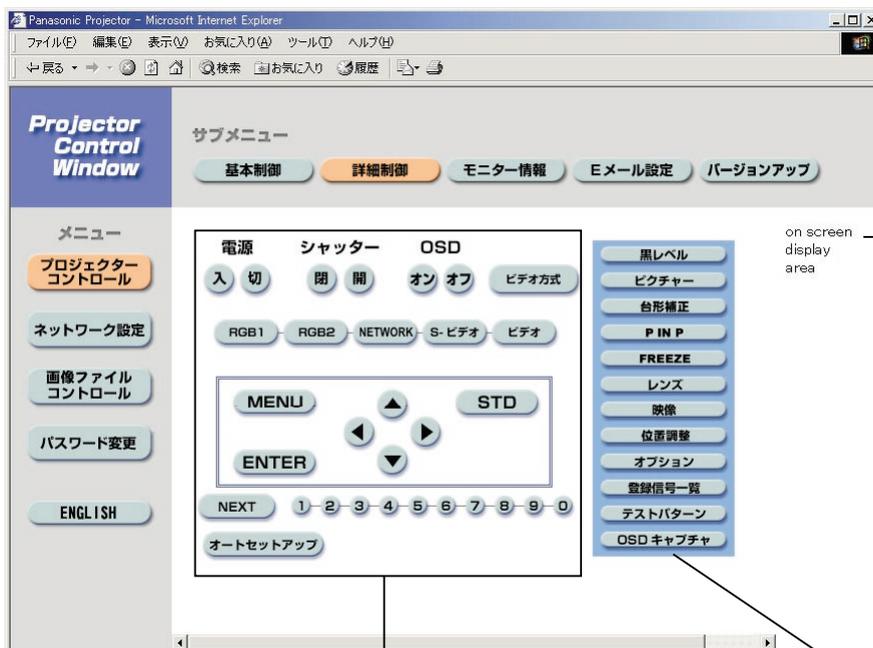
ネットワーク設定ページ



- DHCPクライアント機能を有効にする場合はONにします。
- DHCPサーバーを利用しない場合はIPアドレスを入力します。
- ポート番号を入力します。通常は80のままで使用します。
- DHCPサーバーを利用しない場合はネットマスクを入力します。
- DHCPサーバーを利用しない場合はゲートウェイアドレスを入力します。

プロジェクトの名前を入力します。DHCPサーバーを利用する場合などにホスト名が必要であれば入力してください。

詳細制御ページ



オンスクリーン状態を表示します。プロジェクトのオンスクリーンがオフに設定されていても表示します。

各ボタンを押すことによりプロジェクトを制御します。制御後に制御ページ右側のオンスクリーンを更新します。

制御ページ右側のオンスクリーンを最新の状態に更新します。

応用

ネットワークモジュール（別売品）の使いかた

モニター情報ページ

Projector Control Window

サブメニュー

- 基本制御
- 詳細制御
- モニター情報
- Eメール設定
- バージョンアップ

メニュー

- プロジェクトコントロール
- ネットワーク設定
- 画像ファイルコントロール
- パスワード変更
- ENGLISH

電源 OFF 入力選択 VIDEO

シャッター OFF ランプ選択 デュアル

OSD OFF ランプ出力 標準

吸気センサー温度 34°C / 93°F

光学モジュールセンサー温度 38°C / 100°F

排気センサー温度 41°C / 105°F

ランプ1 使用時間 12 H

ランプ2 使用時間 12 H

プロジェクトタイプ 07600 セット使用時間 28 H

バージョン 0.53 自己診断 正常

入力スロットの状態を表示します。

プロジェクトの吸気温度状態を表示します。

プロジェクトの庫内温度状態を表示します。

プロジェクトの排気温度状態を表示します。

ランプの点灯時間を表示します。

プロジェクトの稼働時間を表示します。

自己診断情報を表示します。

プロジェクトの種類を表示します。

プロジェクト本体のファームウェアバージョンを表示します。

E-メール設定ページ

- 2つまでのメールアドレスに対して自動でメールを送信できます。

Projector Control Window

サブメニュー

- 基本制御
- 詳細制御
- モニター情報
- Eメール設定
- バージョンアップ

メニュー

- プロジェクトコントロール
- ネットワーク設定
- 画像ファイルコントロール
- パスワード変更
- ENGLISH

メールの設定

メールサーバー

許可 Enable Disable

SMTPサーバー名 63文字まで

オプション設定

送信者 プロジェクト名など 63文字まで

メモ 設置場所、設置企業名など 63文字まで

温度警告設定

最短送信間隔 60 分間隔 30分以上999分以下

吸気センサー温度 上限 50° C / 122° F

排気センサー温度 上限 90° C / 194° F

Eメールアドレス 1

Eメールアドレス 1 宛先 63文字まで

エラー発生時 OFF

ランプ1 使用時間 OFF 残り時間 200 H

ランプ2 使用時間 OFF 残り時間 100 H

E-メール機能を使用する場合はEnableを選択してください。

E-メールサーバ(SMTP)のIPアドレスを入力してください。

プロジェクトのE-メールアドレスを入力してください。(半角で63文字まで)

E-メールの発信元がわかりやすいようにプロジェクトの設置場所などを入力することができます。(半角で63文字まで)

温度警告メールの最少時間間隔を変更できます。初期値は60分です。この場合、温度警告メールを送信後60分間は、再び警告温度になってもメールを送信できません。

温度警告メール用の設定温度を変更できます。この値を超えた場合、温度警告メールを送信します。

送信する宛先のE-メールアドレスを入力してください。

E-メールを送信する条件を選択します。

エラー発生時：自己診断でエラーが発生した場合

ランプ1使用時間：ランプ1の点灯残り時間が右側の欄に設定した時間になった場合

ランプ2使用時間：ランプ2の点灯残り時間が右側の欄に設定した時間になった場合

吸気センサー温度：庫内温度が上欄に設定された値になった場合

排気センサー温度：排気温度が上欄に設定された値になった場合

2つのE-メールアドレスを使う場合に、送信する宛先のE-メールアドレスを入力します。

サブメニュー

基本制御 詳細制御 モニター情報 **Eメール設定** バージョンアップ

メニュー

プロジェクトャーコントロール

ネットワーク設定

画像ファイルコントロール

パスワード変更

ENGLISH

ランプ1使用時間 OFF 残り時間 200 H

ランプ1使用時間 OFF 残り時間 100 H

ランプ2使用時間 OFF 残り時間 200 H

ランプ2使用時間 OFF 残り時間 100 H

吸気センサー温度 OFF

排気センサー温度 OFF

定期報告 1日おき 動作時間 9 時から 17 時まで

Eメールアドレス 2

Eメールアドレス 2 宛先 63文字まで

エラー発生時 OFF

ランプ1使用時間 OFF 残り時間 200 H

ランプ1使用時間 OFF 残り時間 100 H

ランプ2使用時間 OFF 残り時間 200 H

ランプ2使用時間 OFF 残り時間 100 H

吸気センサー温度 OFF

排気センサー温度 OFF

定期報告 1日おき 9 時から 17 時まで

Submit

全ての入力を終わったら、Submitボタンを押します。

E-メールを送信する条件を選択します。

エラー発生時：自己診断でエラーが発生した場合

ランプ1使用時間：ランプ1の点灯残り時間が右側の欄に設定した時間になった場合

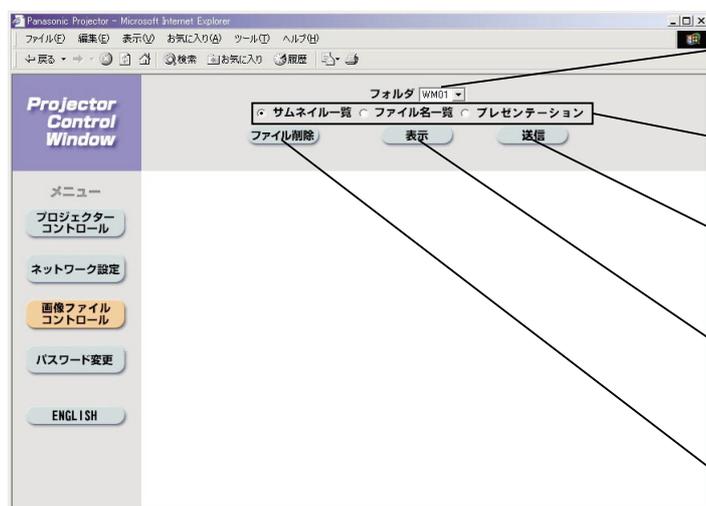
ランプ2使用時間：ランプ2の点灯残り時間が右側の欄に設定した時間になった場合

吸気センサー温度：庫内温度が上欄に設定された値になった場合

排気センサー温度：排気温度が上欄に設定された値になった場合

応用

画像ファイルコントロールページ



フォルダ選択ボタン

画像データを保存するフォルダを指定します

表示選択ボタン

ネットワークモジュールに保存している画像の一覧表示形式を選択します

送信ボタン

パソコンに保存している画像をネットワークモジュールに転送します

表示ボタン

ネットワークモジュールに保存している画像を表示します

ファイル削除ボタン

ネットワークモジュールの指定したフォルダに保存している画像を削除します

お知らせ

- 画像のフォーマットはBMP、JPEG、PNGに対応します。
ただし、JPEG/PNGの画像などではさらに複数のフォーマットが存在するため、表示できない画像もあります。
- 画像の画素数は水平1 024×垂直768ドットに対応します。
- 表示色は65 536色となります。

■ ネットワークモジュールの設定を工場出荷状態に戻す

次の手順でIPアドレスやパスワード、Eメールの設定などネットワークモジュールの全ての設定を工場出荷状態にできます。

設定手順

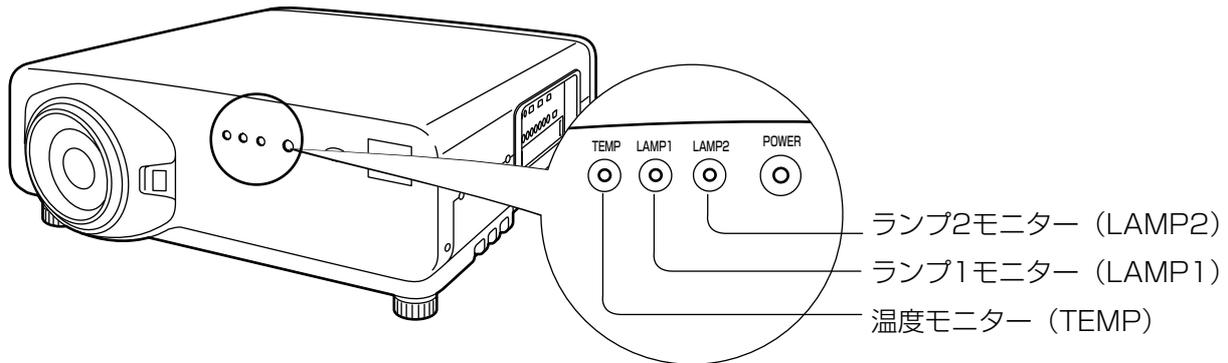
- ① リモコンの電源切(POWER OFF)ボタンで本機の電源をスタンバイ状態にします。
- ② 機能(FUNCTION)スイッチを先の細いもので3秒間押ししたままにします。オンライン(ON-LINE)ランプが点滅し、約30秒後に消えます。
- ③ 主電源(MAIN POWER)をオフにします。
- ④ 機能(FUNCTION)スイッチを先の細いもので押ししたまま主電源(MAIN POWER)を入れます。
- ⑤ オンライン(ON-LINE)ランプが点灯したら作業は完了です。

お知らせ

- 機能スイッチは、鉛筆などの折れやすいものは使用しないでください。

モニターランプの表示について

本体前面上部には、ランプの交換時期、内部温度の異常を知らせる3つのモニターランプがついています。これらのランプは異常等を点滅や点灯で表示します。電源を切り下記の処置をしてください。



モニターランプ名	ランプ表示	現象	ここをお調べください	処置のしかた
温度モニター TEMP 	赤色点灯	ウォームアップ状態	<ul style="list-style-type: none"> 気温が低い(0℃付近)状況で電源を「入」にしませんでしたか 	<ul style="list-style-type: none"> このままの状態でも5分ほどお待ちください。 周囲温度0℃～40℃の場所に設置してください。
		内部が高温になっている(警告)	<ul style="list-style-type: none"> 通風孔がふさがれていませんか 気温の高いところで使用していませんか エアフィルターがめづまりしていませんか 	<ul style="list-style-type: none"> 通風孔をふさいでいるものを取り除いてください。 周囲温度0℃～40℃、周囲湿度20%～80%(非結露)の場所に設置してください。 38ページの手順で主電源(MAIN POWER)スイッチを切り、エアフィルターの掃除を行ってください。(98ページ)
	赤色点滅(2回)	内部が高温になっている(スタンバイ状態)		<ul style="list-style-type: none"> 38ページの手順で主電源(MAIN POWER)スイッチを切り、販売店にご相談ください。
ランプモニター LAMP1 LAMP2  	赤色点灯	ランプユニットの交換時期を表示している	<ul style="list-style-type: none"> 本機の電源を入れたときに「ランプ交換」という表示が出ませんでしたか 	<ul style="list-style-type: none"> ランプユニットの使用時間が1 300時間(ロングライフランプユニット使用時は、3 800時間)に達すると点灯します。ランプユニットの交換を販売店にご依頼ください。
	赤色点滅(3回)	ランプ回路の異常を検知している	<ul style="list-style-type: none"> ランプ回路に異常が発生しています 電源電圧が変動(低下)していませんか 	<ul style="list-style-type: none"> 38ページの手順で主電源(MAIN POWER)スイッチを切り、販売店にご相談ください。

応用

その他

お願い • 温度モニター(TEMP)ランプ、ランプモニター(LAMP)ランプの表示により処置を行うときの電源操作は37、38ページの〈電源の「入」「切」のしかた〉の手順を必ずお守りください。

エアフィルターの清掃と交換

エアフィルターにほこりがたまり過ぎると、本体内部温度が高温になり、温度モニター(TEMP)ランプが点滅し、電源が切れます。

使用場所により異なりますが、エアフィルター部の清掃は約100時間を目安に行ってください。

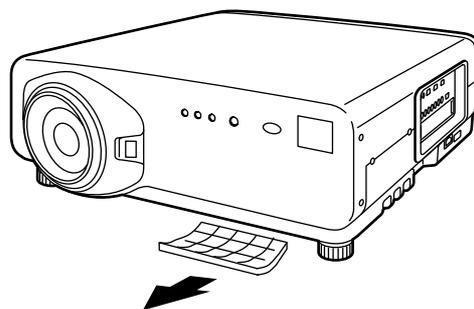
■ 清掃手順

① 主電源を切り電源プラグをコンセントから抜く。

38ページの「電源の切りかた」の手順を守り、電源を切ってから電源プラグを抜いてください。

② エアフィルターを外す。

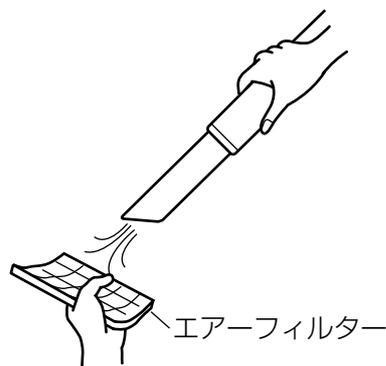
エアフィルターの底部に手を入れ、手前へ引っ張りながら本体から外します。



③ エアフィルターを掃除する。

たまったほこりを掃除機で吸い取ります。

お願い ・エアフィルターを吸い込まないようにご注意ください。



④ エアフィルターを取り付ける。

エアフィルターをセットして、②と逆の方法でフィルターを取り付けます。

お願い ・エアフィルターは必ず取り付けてご使用ください。
エアフィルターを取り付けずに使用すると、ごみやほこりを吸い込み、故障の原因となります。

お知らせ ・掃除をしてもほこりがとれなくなったらエアフィルターの交換時期です。販売店にご相談ください。また、ランプユニットの交換の際は、あわせてエアフィルターも交換ください。

ランプユニットの交換

⚠ 注意



ランプユニットの交換は、ランプが十分に冷えてから行ってください

ランプユニット交換上のお願ひ

- 光源ランプは内部気圧が高く、堅い物に当てたり、落下させると破裂する場合があります。取り扱いにはご注意ください。
- 取り外した古いランプユニットは、乱雑に取り扱くと破裂する場合があります。処分は産業廃棄物処理業者にご依頼ください。
- 新しいランプユニットに交換した場合以外は、積算時間をリセットしないでください。
- 交換時期を超えたランプを使用し続けると、ランプが破裂する場合があります。
- ランプユニットの交換にはプラスドライバーが必要です。ドライバー使用時は手をすべらせないようにご注意ください。

お願ひ

- ランプユニットは別売部品です。販売店にご相談ください。(サービス部品扱い)

交換用ランプユニット品番：ET-LAD7700 (1灯) ET-LAD7700W (2灯)

定格 300 W

ロングライフランプユニット品番：ET-LAD7700L (1灯) ET-LAD7700LW (2灯)

定格 160 W

- 上記以外のランプを使用することはできません。必ず指定のランプを使用してください。

■ ランプユニットの交換時期

光源として使用しているランプには、寿命があります。本体に使用している光源ランプの寿命は1 500時間^{*1} (ランプ出力…高、ランプ選択…デュアル設定時)ですが、ランプ個々の特性や使用条件(ランプは点灯回数や再点灯までの間隔等の影響を受け寿命を低下させる恐れがあります)により、1 500時間^{*1}前に点灯しなくなる場合がありますので、交換用ランプの準備をおすすめします。

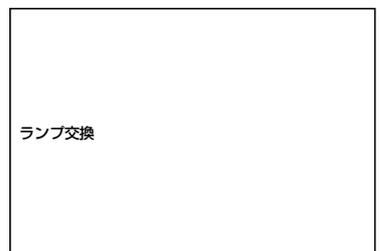
1 300時間^{*2}(ランプ出力「高」設定時)を過ぎてもランプユニットが交換されない場合には1 500時間^{*1}で自動的に電源が切れ、スタンバイ状態になります。1 500時間^{*1}以降は、電源を入れても約10分間で自動的に電源が切れ、スタンバイ状態になります。

● 1 300時間^{*2}(ランプ出力「高」設定時)以降の表示

ランプユニットの使用時間が1 300時間^{*2}に達するとランプモニター(LAMP1またはLAMP2)が、スタンバイ状態も含めて点灯します。

また、右図のようなランプユニットの交換を促すオンスクリーンを約30秒表示します。(右図の表示は約30秒経過または本体後面操作ボタン、リモコンのボタンのいずれかを操作すると消えます。)

このオンスクリーン表示は1 500時間^{*1}に達すると、以降はメニュー(MENU)ボタンなどを操作しない限り消えません。



※1 ロングライフランプユニット使用時は、4 000時間になります。

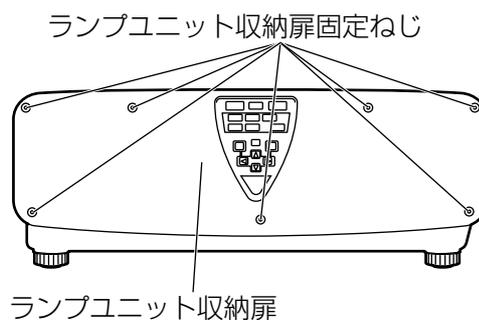
※2 ロングライフランプユニット使用時は、3 800時間になります。

■ ランプユニットの交換手順

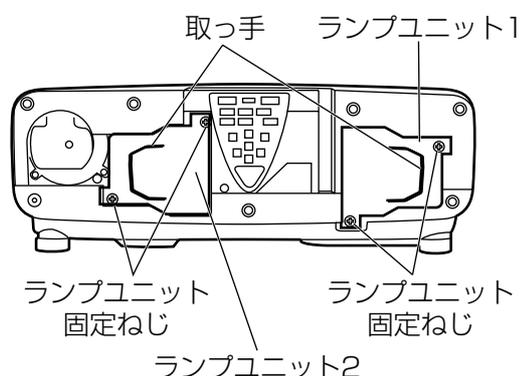
お願い ・ランプユニットの交換を1 500時間(ロングライフランプユニット使用時は、4 000時間)を過ぎてから行った場合は、電源を入れてから約10分間のみ本機を動作させることができます。
手順⑨～⑮の操作を10分以内に行ってください。

- ① 37～38ページの<電源の「入」「切」のしかた>の手順を守り、主電源を切ったあと、コンセントから電源プラグを抜き、ランプユニット近辺が冷えていることを確認する

- ② 本体後面のランプユニット収納扉固定ねじ(7本)をプラスドライバーを使って取り外す
③ ランプユニット収納扉を本機から取り外す



- ④ 取り換えたいランプユニットの固定ねじ(各2本)をプラスドライバーで空回りするまで回す
ランプユニットの取っ手を起こして、ゆっくりと本機から引き出す



⚠ 注意



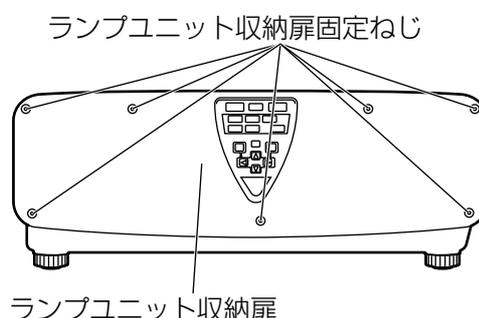
使用直後のランプユニットは高温なので注意する
触るとやけどの原因になります。

- ⑤ 新しいランプユニットを挿入方向に注意して押し込む

- ⑥ ランプユニット固定ねじ(各2本)をプラスドライバーでしっかりと締めつける

- ⑦ ランプユニット収納扉を本機に取り付け、ランプユニット収納扉固定ねじ(7本)をプラスドライバーでしっかりと締めつける

お願い ・ランプユニットやランプユニット収納扉は確実に取り付けてください。ランプユニットやランプユニット収納扉の取り付けが不完全だと保護回路が動作し電源が入りません。



⑧ 電源プラグをコンセントに差し込み、主電源(MAIN POWER)スイッチを入れる

お願い

・主電源(MAIN POWER)スイッチを「|」側にしても電源が入らない(電源表示ランプ(赤)が点灯しない)場合は、一度主電源(MAIN POWER)スイッチを「○」側にし、ランプユニットや収納扉の取り付けを確認後、再度「|」側にしてください。

⑨ 電源入(|)ボタンを押し、映像投写を開始する

⑩ メニュー(MENU)ボタンを押し「メインメニュー」画面を表示させ、▲▼ボタンで「オプション」の項目へ移動する

メインメニュー	
映像	
位置調整	
アドバンスドメニュー	
表示言語(LANGUAGE)	
オプション	
テストパターン	
登録信号一覧	
セキュリティ	

⑪ エンター(ENTER)ボタンを押し「オプション」画面を表示させ、▲▼ボタンで「システム情報」を選択する

オプション	
プロジェクターID	2
設置設定	フロント・床置
ランプ選択	デュアル
ランプ出力	高
RS232C設定	
オンスクリーン位置	2
システム情報	
カラーマッチング	オフ
ビデオ設定	
自動調整	

▲▼:項目選択 ENTER:サブメニュー

⑫ エンター(ENTER)ボタンを押し「システム情報」画面を表示します。

システム情報	
ROMバージョン:	1.00
セット使用時間:	1433h
ランプ1	タイプ: LAD7700
	低: 0h
	高: 1433h
	合計: 1433h
ランプ2	タイプ: LAD7700
	低: 0h
	高: 1100h
	合計: 1100h

⑬ 本体またはリモコンのエンター(ENTER)ボタンを約3秒間押し続ける「ランプリセット」画面を表示します。

ランプリセット	
ランプ1	
LAD7700	1433h
LAD7700L	0h
ランプ2	
LAD7700	1100h
LAD7700L	0h

▲▼:選択 ENTER:実行

⑭ ▲▼ボタンで、交換したランプを選択する

「ランプ1」:ランプユニット1を交換したとき
「ランプ2」:ランプユニット2を交換したとき

⑮ エンター(ENTER)ボタンを押し「よろしいですか?」の表示がされたら再度エンター(ENTER)ボタンを押し

指定したランプユニットの積算時間が0にリセットされます。
複数のランプを交換する場合は、上記手順⑭以降を行ってください。

ランプリセット		よろしいですか?
ランプ1		
LAD7700	1433h	
LAD7700L	0h	
ランプ2		
LAD7700	1100h	
LAD7700L	0h	

その他

修理を依頼される前に…もう一度次の点をお調べください。

こんなとき	ここをお調べください
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> ・電源コードがコンセントにしっかり差し込まれていますか。 ・主電源(MAIN POWER)スイッチが「○」側になっていませんか。 ・コンセントに電源がきていますか。 ・本機前面の温度モニター(TEMP)ランプが点灯または点滅していませんか。(97ページ参照) ・本機前面のランプモニター(LAMP)ランプが点灯または点滅していませんか。(97ページ参照) ・ランプユニット収納扉は完全に取り付けられていますか。 ・ID設定の操作を間違えていませんか。(16、69ページ参照)
映像が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ・映像入力は正しく接続されていますか。 ・入力切り換えの設定が正しくなっていますか。(10、67ページ参照) ・本機に接続している機器は正常に動作していますか。 ・シャッター機能を使用していませんか。(46ページ参照)
映像がボヤけている	<ul style="list-style-type: none"> ・レンズのフォーカスは合っていますか。(39ページ参照) ・投写距離は適切ですか。(19、20ページ参照) ・レンズが汚れていませんか。 ・本機がスクリーンに対して直角に設置されていますか。(19ページ参照)
色が薄い／色あいが悪い	<ul style="list-style-type: none"> ・色の濃さ、色あいは正しく調整されていますか。(50ページ参照) ・本機に接続している機器は正しく調整されていますか。
リモコンが働かない	<ul style="list-style-type: none"> ・乾電池が消耗していませんか。 ・極性は正しくセットされていますか。(15ページ参照) ・リモコンと本機のリモコン受光部の間に障害物はありませんか。(15ページ参照) ・リモコン有効範囲をこえた場所でリモコンを操作していませんか。(15ページ参照) ・リモート2(REMOTE2)端子を使って外部制御を行っていませんか。(82ページ参照) ・外光などの影響をうけていませんか。 ・ID設定の操作を間違えていませんか。(16、69ページ参照)
正常な映像が映らない	<ul style="list-style-type: none"> ・入力切り換えが正しく行われていますか。(67ページ参照) ・信号方式の選択は正しく行われていますか。(67、79ページ参照) ・ビデオテープ等ソース側に異常はありませんか。 ・本機が対応できない信号を入力していませんか。(105ページ参照)
パソコンからの映像が映らない	<ul style="list-style-type: none"> ・ケーブルが長すぎませんか。 ・ノートパソコンの映像信号出力先が正しく設定されていますか。 Fn+F3キーで設定します。(詳しくはパソコンの取扱説明書をご参照ください)

仕様

品番	TH-D7700																																					
使用電源	AC100 V 50 Hz/60 Hz																																					
消費電力	800 W(スタンバイ時約12 W ただし、ファン停止時)																																					
DLP™ パネル	パネルサイズ	0.95 型(アスペクト比 4:3)																																				
	表示方式	DMD™素子 3 枚 DLP™方式																																				
	画素数	1 470 000 画素(1 400×1 050 ドット)×3 枚																																				
レンズ	電動ズーム 電動 フォーカスレンズ	オプション																																				
光源ランプ	300 W UHMランプ×2 灯																																					
光出力	7 000 lm																																					
対応 走査 周波数	ビデオ信号時 (Sビデオ含む)	水平 15.73 kHz/15.63 kHz 垂直 59.94 Hz/50 Hz																																				
	RGB信号時	水平 15 kHz~100 kHz 垂直 24 Hz~120 Hz PIAS(Panasonic Intelligent Auto Scanning)方式 ドットクロック周波数 20 MHz~162 MHz																																				
	DVI-D信号時	(別売品のDVIモジュール装着時) VGA~SXGA ドットクロック 25 MHz~112 MHz																																				
	YPbPr信号時	<table border="0"> <tr> <td>[480i]</td> <td>水平 15.73 kHz</td> <td>垂直 59.94 Hz</td> <td>[576i]</td> <td>水平 15.63 kHz</td> <td>垂直 50 Hz</td> </tr> <tr> <td>[480p]</td> <td>水平 31.5 kHz</td> <td>垂直 59.94 Hz</td> <td>[576p]</td> <td>水平 31.25 kHz</td> <td>垂直 50 Hz</td> </tr> <tr> <td>[1035/60i]</td> <td>水平 33.75 kHz</td> <td>垂直 60 Hz</td> <td>[720/60p]</td> <td>水平 45 kHz</td> <td>垂直 60 Hz</td> </tr> <tr> <td>[1080/50i]</td> <td>水平 28.13 kHz</td> <td>垂直 50 Hz</td> <td>[1080/60i]</td> <td>水平 33.75 kHz</td> <td>垂直 60 Hz</td> </tr> <tr> <td>[1080/24p]</td> <td>水平 27 kHz</td> <td>垂直 24 Hz</td> <td>[1080/25p]</td> <td>水平 28.13 kHz</td> <td>垂直 25 Hz</td> </tr> <tr> <td>[1080/30p]</td> <td>水平 33.75 kHz</td> <td>垂直 30 Hz</td> <td>[1080/24sF]</td> <td>水平 27 kHz</td> <td>垂直 48 Hz</td> </tr> </table> <p>※HD/SYNC、VD端子は、3値SYNCには対応していません。</p>		[480i]	水平 15.73 kHz	垂直 59.94 Hz	[576i]	水平 15.63 kHz	垂直 50 Hz	[480p]	水平 31.5 kHz	垂直 59.94 Hz	[576p]	水平 31.25 kHz	垂直 50 Hz	[1035/60i]	水平 33.75 kHz	垂直 60 Hz	[720/60p]	水平 45 kHz	垂直 60 Hz	[1080/50i]	水平 28.13 kHz	垂直 50 Hz	[1080/60i]	水平 33.75 kHz	垂直 60 Hz	[1080/24p]	水平 27 kHz	垂直 24 Hz	[1080/25p]	水平 28.13 kHz	垂直 25 Hz	[1080/30p]	水平 33.75 kHz	垂直 30 Hz	[1080/24sF]	水平 27 kHz
[480i]	水平 15.73 kHz	垂直 59.94 Hz	[576i]	水平 15.63 kHz	垂直 50 Hz																																	
[480p]	水平 31.5 kHz	垂直 59.94 Hz	[576p]	水平 31.25 kHz	垂直 50 Hz																																	
[1035/60i]	水平 33.75 kHz	垂直 60 Hz	[720/60p]	水平 45 kHz	垂直 60 Hz																																	
[1080/50i]	水平 28.13 kHz	垂直 50 Hz	[1080/60i]	水平 33.75 kHz	垂直 60 Hz																																	
[1080/24p]	水平 27 kHz	垂直 24 Hz	[1080/25p]	水平 28.13 kHz	垂直 25 Hz																																	
[1080/30p]	水平 33.75 kHz	垂直 30 Hz	[1080/24sF]	水平 27 kHz	垂直 48 Hz																																	
カラー方式	7 方式(NTSC/NTSC4.43/PAL/PAL-N/PAL-M/SECAM/PAL60)																																					
投写画面サイズ	70~600 型																																					
画面アスペクト比	4:3																																					
投写方式	フロント/リア/天吊り/床置き(メニュー設定方式)																																					
コントラスト比	4 000:1 (「ダイナミックアイリス」の設定が「3」のとき)																																					
接 続 端 子	入力モジュール 接続スロット	入力モジュール接続スロット1 系統																																				
	R G B 1 入 力 端 子	1系統 BNC×5 [YPbPr入力時] Y : 1.0 V[p-p] 同期信号を含む、PbPr : 0.7 V[p-p] 75 Ω [RGB入力時] 0.7 V[p-p] 75 Ω G-SYNC時 1.0 V[p-p] 75 Ω HD/SYNC 1.4~5 Vp-p 正/負極性自動対応 75 Ω VD 1.4~5 Vp-p 正/負極性自動対応 75 Ω																																				

その他

仕様

接 続 端 子	RGB2入力端子	1系統 高密度D-sub 15p(メス) [YPbPr入力時] Y : 1.0 V[p-p] 同期信号を含む、PbPr : 0.7 V[p-p] 75 Ω [RGB入力時] 0.7 V[p-p] 75 Ω G-SYNC時 1.0 V[p-p] 75 Ω HD/SYNC TTL ハイインピーダンス 正/負極性自動対応 VD TTL ハイインピーダンス 正/負極性自動対応 ※ただし、HD/SYNCおよびVD端子は3値SYNCには対応していません。
	ビデオ入出力端子	1系統 BNC 1.0 V[p-p] 75 Ω(ビデオ出力時はアクティブスルー)
	Sビデオ入力端子	1系統 Mini DIN 4p 1.0 V[p-p]、C 0.286 V[p-p] 75 Ω S1信号に対応
	シリアル入出力端子	D-sub 9p(メス) RS-232C準拠 パソコン制御用
	リモート1入出力端子	M3ピンジャック 各1系統 ワイヤードリモコン、連結制御用
	リモート2端子	D-sub 9p(メス) 外部制御用
電源コードの長さ	2.5 m	
キャビネット	樹脂成形品	
外形寸法	横幅 : 530 mm 高さ : 200 mm 奥行 : 569 mm	
質量	22 kg(レンズなし)	
使用環境条件	使用環境温度*1 : 0 °C~40 °C (ただし、ランプ出力「高」、ランプ選択「デュアル」設定時は0 °C~35 °C) 使用環境湿度 : 10 %~80 %(結露のないこと)	
リ モ コ ン	使用電源	DC 3 V(単3形乾電池 2コ)
	操作距離	約7 m(受光部正面)
	質量	110 g(乾電池含む)
	外形寸法	横幅 : 50 mm 厚さ : 31 mm 奥行 : 181 mm
別 売 品	天つり金具(高天井用)	: TY-PKD75
	天つり金具(低天井用)	: TY-PKD75S
	デュアル金具	: TY-DFD75
	キャリングハンドル	: TY-HAD75
	投写レンズ	: TY-D75LE1、TY-D75LE2、TY-D75LE3、 TY-D75LE4、TY-D75LE5
	DVI-D入力モジュール	: TW-MD75DV
	ネットワークモジュール	: TW-MD75NT
	ビデオ信号入力モジュール	: TW-MD95VM2
	RGB信号入力モジュール	: TW-MD95RGB
	シリアルデジタル入力モジュール(SD)	: TW-MD95SD1
	シリアルデジタル入力モジュール(480p)	: TW-MD95SD2
シリアルデジタル入力モジュール(HD)	: TW-MD95SD3	
ワイヤレスマウスレシーバー	: TW-RMRC2	

※ 出荷時における本製品全体の平均的な値を示しており、JIS X 6911:2003 データプロジェクタの仕様書様式に則って記載しています。測定方法、測定条件については附属書2に基づいています。

※ 本機を使用できるのは、日本国内のみで外国では電源電圧が異なりますので使用できません。

(This DLP™ based Projector is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.)

※1 高地(1 400 m~2 700 m)で使用する場合、使用環境温度は5 °C低くなります。

付録

〈RGB/YPbPr信号一覧〉

本機に入力できるRGB/YPbPr信号は下表のとおりです。

他にもRGB信号は $f_H=15\text{ kHz}\sim 100\text{ kHz}$ 、 $f_V=24\text{ Hz}\sim 120\text{ Hz}$ 、ドットクロック=20 MHz~162 MHzの範囲で入力可能です。

表示モード	入力可能信号データ		
	表示ドット数	水平走査周波数 (kHz)	垂直走査周波数 (Hz)
VGA400	640 × 400	24.8	56.4
	640 × 400	31.5	70.1
VGA480	640 × 480	31.5	59.9
	640 × 480	35.0	66.7
	640 × 480	37.9	72.8
	640 × 480	37.5	75.0
	640 × 480	43.3	85.0
	640 × 480	43.3	85.0
SVGA	800 × 600	32.1	51.0
	800 × 600	35.2	56.3
	800 × 600	37.9	60.3
	800 × 600	48.1	72.1
	800 × 600	46.9	75.0
	800 × 600	53.7	85.1
XGA	1 024 × 768	48.4	60.0
	1 024 × 768	56.5	70.1
	1 024 × 768	60.0	75.0
	1 024 × 768	65.5	81.6
	1 024 × 768	68.7	85.0
	1 024 × 768i	35.5	86.8
	1 024 × 768	80.7	100.8
	1 024 × 768	94.0	120.0
MXGA	1 152 × 864	63.9	70.0
	1 152 × 864	67.5	75.0
	1 152 × 864	77.1	85.0
	1 120 × 750	50.1	60.1
	1 120 × 750i	32.6	80.0
SXGA	1 280 × 1 024	52.4	50.0
	1 280 × 1 024	64.0	60.0
	1 280 × 1 024	78.2	71.7
	1 280 × 1 024	80.0	75.0
	1 280 × 1 024	91.2	85.0
	1 280 × 1 024i	46.2	86.0
	1 280 × 1 024i	47.6	88.9
SXGA+	1 400 × 1 050	65.2	60.0
	1 400 × 1 050	78.8	72.0
	1 400 × 1 050	82.2	75.0
UXGA	1 600 × 1 200	75.0	60.0
MAC16	832 × 624	49.7	74.6
MAC21	1 152 × 870	68.6	75.0
1 080/60i	1 920 × 1 080i	33.75	60.0
720/60p	1 280 × 720	45.0	60.0
480i	768 × 480i	15.7	59.9
576i	768 × 576i	15.6	50.0
480p	720 × 483	31.5	59.9
576p	768 × 576	31.25	50.0

お知らせ • TH-D7700の表示ドット数は1 400×1 050です。上記データで表示ドット数が異なる信号は1 400×1 050ドットに変換されて表示します。

- 表示ドット数の後ろの「i」はインターレース信号を意味します。
- インターレース信号接続時は映像にチラツキ(ラインフリッカー)が発生します。

保証とアフターサービス (よくお読みください)

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は・・・
まず、お買い上げの販売店へお申し付けください。

1.保証書 (別添付)

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

2.保証期間

お買い上げ日から本体1年間。
ただし、光源ランプは6ヵ月または600時間の早い方。

3.修理を依頼されるとき

102ページ「修理を依頼される前に」の表や、組み合わせをされた機器の「取扱説明書」もよくお読みのうえ調べていただき、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

●保証期間中は

保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。

●保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理をさせていただきます。ただし、プロジェクターの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後8年です。

注) 補修用性能部品とは、その製品の性能を維持するために必要な部品です。

●修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

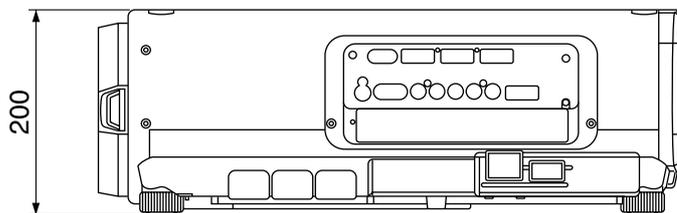
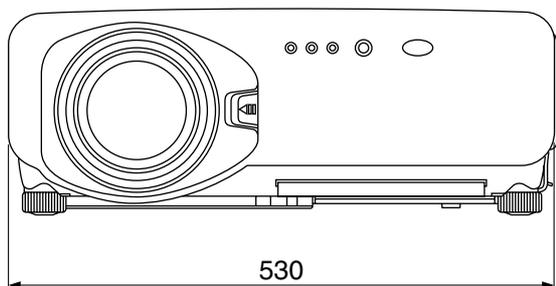
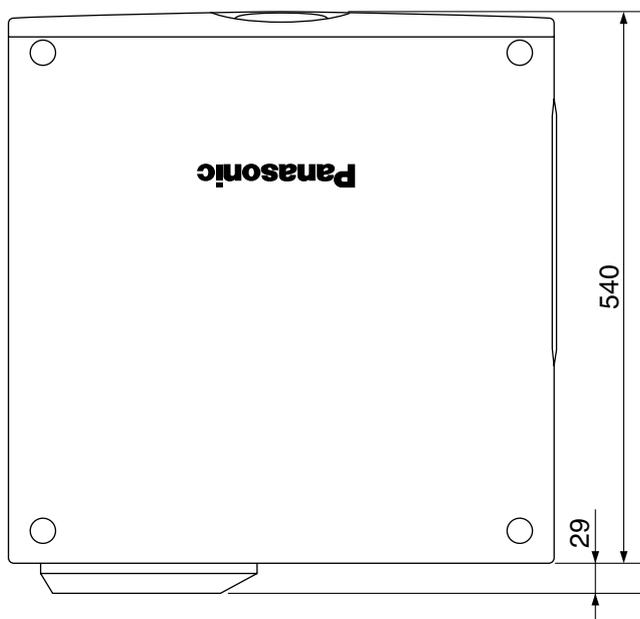
部品代は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

修理を依頼されるときにご連絡いただきたい内容	
ご 氏 名	
ご 住 所	付近の見取図、目印など。
電 話 番 号	呼び出しでもけっこうです。
製 品 名 ・ 品 番 お 買 い 上 げ 日	お手持の保証書をご覧ください。 なお、製品品番については、TH-D7700でご連絡ください。
故 障 ま た は 異 常 の 内 容	自己診断機能表示ランプの内容も含め、できるだけ詳しくお願いします。
訪 問 ご 希 望 日	ご都合の悪い日もあわせて。

外形寸法図

〈単位：mm〉



その他

「JIS C 61000-3-2 適合品」：

JIS C 61000-3-2適合品とは、日本工業規格「電磁両立性—第3-2部：限度値—高調波電流発生限度値（1相当当たりの入力電流が20A以下の機器）」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。

注意

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

注意

お客様は、本ソフトウェア（プロジェクターに内蔵されているマイコン、ROMなどに記録された情報のことをいいます）の使用権を得ることはできませんが、著作権がお客様に移転するものではありません。

本ソフトウェアの解析、変更または改造を行わないでください。お客様の解析、変更または改造により、何らかの欠陥が生じたとしても、弊社では一切の保証を致しません。

商標について

- VGA、XGAは米国International Business Machines Corporationの商標です。
 - Macintoshは米国アップルコンピュータ社の登録商標です。
 - S-VGAはVideo Electronics Standards Associationの商標または登録商標です。
 - Microsoft Windows は米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標です。
 - Netscape 及びNetscape NavigatorはNetscape Communocationの米国及びその他の国における登録商標です。
 - Digital Light Processing, DLP、Digital Micromirror Device, DMDはTexas Instrumentsの商標です。
- なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

便利メモ おぼえのため記入 されると便利です。	お買い上げ日	年 月 日	品 番	TH-D7700
	販売店名	☎ () —	事業部お客様ご相談窓口	
			☎ (06) 6906-2894	

松下電器産業株式会社 システム事業グループ

〒571-8503 大阪府門真市松葉町2番15号 ☎ (06) 6901-1161

© 2004 Matsushita Electric Industrial Co., Ltd. (松下電器産業株式会社) All Rights Reserved.

M0704-0